公 園 緑 地 工 事 数 量 算 出 要 領

令 和 7 年 5 月

国土交通省　都市局　公園緑地・景観課

目　　次

序章　基本事項 ---------- 1

１章　基盤整備 ---------- 7

２章　植　　栽 ---------- 35

３章　緑地育成 ---------- 54

４章　施設整備 ---------- 74

５章　グラウンド・コート整備 ---------- 153

６章　自然育成 ---------- 167

別添資料　　別表-1

（注）「令和７年度 土木工事数量算出要領」（国土交通省　令和７年３月）を本文中で引用する場合は、当該数量算出要領の名称を省略し、記載する。

序章　基本事項

１．１ 適用範囲

公園緑地工事に係る工事数量の計算等にあたっては、本要領を適用する。

１．２ 数量計算方法

数量の単位は、計量法によるものとする。

長さ・面積・断面積等の計算は数学公式によるほか、スケールアップ、プラニメーター等、平均面積（断面）法等により行うものとする。また、CAD ソフトによる算出結果について、適宜結果の確認をした上で適用できるものとする。

算式計算の乗除は、記載の順序によって行ない、四捨五入して位止めするものとする。

１．数量の単位

数量の単位は、すべて計量法によるものとする。

２．長さの計算

長さの計算は数学公式によるほか、スケールアップによることができる。

スケールアップによるときは、２回以上の実測値の平均値とする。

３．面積の計算

（１）面積の計算は数学公式によるほか、３斜誘致法、又はプラニメーターによって算出する。

プラニメーター等を使用するときは、３回以上測ったもののうち、正確と思われるもの３回の平均値とする。

（２）面積計算で各法長が一定でないときは、両辺長を平均したものにその断面間の距離を乗ずる平均面積法により算出する。

（３）上記（１）、（２）によることを原則とするが、CAD ソフトによる算出結果について、適宜結果の確認をした上で適用できるものとする。

４．体積の計算

（１）体積の計算は数学公式によるほか、両断面積の平均数量に距離を乗じる平均断面法により算出する。

（２）上記（１）によることを原則とするが、CIM 試行においては、CAD ソフト等による算出結果について、適宜結果の確認をしたうえで適用できるものとする。

５．構造物の計算に用いる角度は「分」までとし、円周率、法長、乗率、三角関数及び弧度は四捨五入して小数第３位とする。

６．算式計算の乗除は、記載の順序によって行ない、分数は約分せず分子分母にその値を求めた後に除法を行なうものとし、四捨五入により位止めするものとする。

１．３ 構造物の数量から控除しないもの

構造物中の鉄筋・水抜き穴等で、その容積又は面積が僅少なものは、構造物の数量から控除しなくてよいものとする。

次に掲げる種類の容積または面積は、原則として構造物の数量から控除しなくてよいこととす

る。

１．コンクリート中の鉄筋・鋼矢板・土留材等

２．コンクリート中の基礎杭頭

３．コンクリート中の支承座面の箱抜

４．床版コンクリート中の主桁上フランジ

５．鋼材中のボルト孔及び隅欠き

６．コンクリート構造物の面取り及び水切

７．コンクリート構造物の伸縮継目の間隔及び止水板

８．コンクリート構造物内の内径 30 ㎝以下の管類、水抜孔等

９．基礎材（均しコン含む）中の径 30㎝ 以下の杭及び胴木

10．法沿い堅排水工、地下排水工等の容積及びこれに類似のもの

11．コンクリート構造物中のモルタル注入孔及び埋込金具等の容積

12．舗装工、床版工中の１箇所 1.0 ㎡未満の建造物

13．盛土中で現地盤線以上の断面積が 1.0 ㎡未満の建造物

14．ガードレール、ガードパイプ等防護柵の支柱の箱抜き

15．その他面積又は体積が前項に示す値以下で全体数量に及ぼす影響が僅少なもの

ただし、現場打杭及び杭頭部の結合方式方法Ａの場合のフーチングコンクリートについて、控除する。

16．上記１～15 に準ずるものと判断されるもの

１．４ 構造物の数量に加算しないもの

施工時において、発注者が不適当と認めて解体・除去を命じた構造物、材料の損失等については、構造物数量には加算しないものとする。

施工時に数量を算出する必要がある場合、次に揚げる内容については、構造物の数量に加算しないものとする。

１．品質・形状等が不適当と発注者が認め、解体・除去を命じた構造物

２．型枠の余裕面積

３．コンクリート・鉄筋等材料の損失量

４．鉄筋の組立・据付に使用したタイクリップ等

５．仮締切、支保、足場工等における仮設基礎コンクリート等

６．上記１～５に準ずるものと判断されるもの

１．５ 数量計算の単位及び数位

数量計算に用いる単位及び数位は、出来形管理値を参考に別途定めるものとする。

数量計算に用いる単位及び数位は表－１～３のとし、数位以下の数値は、有効数位１位(有効数位２位を四捨五入)を数値とするものとする。

なお、表にないものは表－１に準ずるものとする。

表－１　数量計算の単位及び数位一覧表

計算書名	種別	単位	数位	摘要
土工量	距離	m	小数位以下１位止	２位四捨五入
	高	m	〃　１　〃　〃	２　〃
	幅	m	１　〃　〃	２　〃
	断面積	㎡	１　〃　〃	２　〃
	平均断面積	㎡	２　〃　〃	３　〃
	土量	㎥	１　〃	２　〃
法面積	距離	m	小数位以下１位止	２位四捨五入
	法長	m	〃　１　〃　〃	２　〃
	平均法長	m	２　〃　〃	３　〃
	面積	㎡	１　〃	２　〃
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ(石)積(張)面積	距離	m	小数位以下１位止	２位四捨五入
	法長	m	〃　１　〃　〃	２　〃
	平均法長	m	２　〃　〃	３　〃
	面積	㎡	１　〃	２　〃
コンクリート・アスファルト体積	幅	m	小数位以下２位止	３位四捨五入
	高	m	〃　２　〃　〃	３　〃
	長	m	２　〃　〃	３　〃
	体積	㎥	１　〃	２　〃
型枠面積	幅	m	小数位以下２位止	３位四捨五入
	高	m	〃　２　〃　〃	３　〃
	長	m	２　〃　〃	３　〃
	体積	㎥	１　〃	２　〃
鉄筋質量	φ径	㎜	整数	
	単位質量	kg/m	小数位以下３ 有効数字３桁	１本当り質量は小数２位止め四捨五入
	質量	kg	整数位止	１位四捨五入
足場・支保	幅	m	数位以下１位止　〃	２位四捨五入
	高	m	１　〃　〃　１　〃	２　〃
	距離	m	整数位止	２　〃
	面積	掛㎡	〃	１位四捨五入
	体積	空㎥		１　〃
粗朶沈床等面積	幅	m	小数位以下１位止　〃	２位四捨五入
	高	m	１　〃　〃	２　〃
	面積	㎡	１　〃	２　〃
舗装面積	幅	m	小数位以下２位止　〃	３位四捨五入
	距離	m	１　〃　〃	２　〃
	面積	㎡	１　〃	２　〃
区画線	長	m	小数位以下２位止　〃	３位四捨五入
	延長	m	１　〃	２　〃
トンネル断面積	幅	m	小数位以下２位止	３位四捨五入
	高	m	〃　２　〃　〃	３　〃
	長	m	２　〃　〃	３　〃
	断面積	㎡	１　〃	２　〃
鋼材質量	幅	m	小数位以下３位止	４位四捨五入
	高	m	〃　３　〃　〃	４　〃
	長	m	３　〃	４　〃
				但し鉄筋は、㎝止め(四捨五入)とする
	質量	kg	整数位止	１位四捨五入
ボルト質量	単位質量	g/本	整数位止	１位四捨五入
	本数	本	整数	
	質量	kg	整数位止	１位四捨五入
塗装面積	幅	m	小数位以下３位止	４位四捨五入
	高	m	〃　３　〃　〃	４　〃
	長	m	３　〃　〃	４　〃
	体積	㎥	１　〃	２　〃

表－２　鋼板の質量

計算順序	計　算　方　法	結果のけた数
基本質量 kg/㎜/㎡	7.85（厚さ/㎜、面積/㎡の質量）	
単位質量 kg/㎡	基本質量(kg/㎜/㎡) ×板の厚さ(㎜)	有効数字４けたの数値に丸める。
面　積 ㎡	幅（m）×長さ（m）	有効数字４けたの数値に丸める。
１枚の質量 kg	単位質量(kg)×面積(㎡)	有効数字３けたの数値に丸める。但し、100～999kg は小数第１位、1,000kg をこえるものは kg の整数値に丸める。

表－３　平鋼の質量

計算順序	計　算　方　法	結果のけた数
基本質量 kg/㎠/m	0.785（断面積１㎠長さ 1mの質量）	
単位質量 kg/m	基本質量(kg/㎠/m)×断面積	有効数字３けたの数値に丸める。
断　面　積 c㎡	幅(㎜)×厚さ(㎜)×１／１００	有効数字４けたの数値に丸める。
１枚の質量 kg	単位質量(kg/m)×長さ(m)	有効数字３けたの数値に丸める。但し、100～999kg は小数第１位、1,000kg をこえるものは kg の整数値に丸める。

ただし、「建設省土木構造物標準設計」（以下標準設計という。）に記載されている単位当り数量については、記載されている数値を使用するとともに、作業土工等で単位当りの数量を算出する場合は「標準設計」に記載されている数量表示に基づき算出するものとする。

１．６ 設計表示単位及び数位

１．設計表示単位及び数位

設計表示単位数量は、検収区分ごとに定められた単位に、数量計算で求めた数量に応じて別表－１に定める数位に四捨五入して求めるものとする。
なお、設計表示数位に満たない数量の変更は設計変更の対象としないものとする。

（１）設計表示単位は、検収区分ごとに別表－１に定める単位により算出する。
（２）設計数量が設計表示数位に満たない場合及び、工事規模、工事内容等により、設計表示数位が不適当と判断される場合は(小規模工事等)有効数位第１位の数量設計表示数位とする。
（３）別表－１以外の項目について、設計表示単位及び数位を定める必要が生じたときは工事規模、工事内容等を勘案して適正に定めるものとする。
（４）設計表示単位及び数位の適用は各細別毎を原則とし、工種・種別は１式を原則とする。

２．数量の丸め

検収区分の内訳数量の丸め方法は、設計表示単位の１位下位の単位で丸めるものとし、調整は内訳内の最大数量で調整するものとする。

１．７ 図面表示単位

図面に表示する寸法単位は、㎜とする。これ以外については単位を記入するものとする。
鋼材ＪＩＳは、国際単位系（ＳＩ）とする。

１．８ 単位体積質量

単位体積質量は、試験等を実施し定める他、各種示方書・指針に使用されている数値を用いるものとする。

数量計算に用いる１m^3当り単位体積質量は、表－４が一般的であるが、積算に用いる単価と合致するよう充分留意されたい。

表－４ 単位体積質量

名　　称		規　格	単位	単 位 質 量	備　　考
土　砂			kg	１，８００	
軟　岩			〃	２，２００	
硬　岩			〃	２，５００	
コンクリート		無　筋	〃	２，３５０	
		鉄　筋	〃	２，５００	
ｱｽﾌｧﾙﾄ合材	車道用	密　粒	〃	２，３５０	
		粗　粒	〃	２，３５０	
		細　粒	〃	２，３００	
		モルタル	〃	２，１００	
		安定処理	〃	２，３５０	
	歩道用	密　粒	〃	２，２００	
		粗　粒	〃	２，２００	
		細　粒	〃	２，１５０	
砂			〃	１，７４０	
切込砂利			〃	２，０２０	
ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ			〃	２，０４０	
粒度調整砕石			〃	２，１００	
水硬性スラグ			〃	２，０８０	
粒調スラグ			〃	２，０６０	
ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝｽﾗｸﾞ			〃	２，０６０	
セメント			〃	３，０００	
ソイルセメント			〃	２，１００	
鋼　材			〃	７，８５０	
水			〃	１，０００	
木　材			〃	８００	
石　材			〃	２，６００	

１．９ 数量の算出

各工種の数量は、各章の記載内容により算出するものとする。

各工種の数量は、各章の記載内容により算出するものとする。
また、数量は、施工箇所、構造物ごとに数量を取りまとめるものとする。

なお、各章における「数量算出項目及び区分一覧表」に記載されている「○」、「×」が意味する内容は次のとおりである。

「○」…… 数量算出項目の数量を算出するにあたって、○の区分については考慮する必要があることを示す。

「×」…… 数量算出項目の数量を算出するにあたって、×の区分については考慮する必要がないことを示す。

1章　　基 盤 整 備

1.1　敷地造成工
　1.1.1　表土保全工
　1.1.2　整地工
　1.1.3　掘削工
　1.1.4　盛土工
　1.1.5　路床盛土工
　1.1.6　法面整形工
　1.1.7　防草ｺﾝｸﾘｰﾄ
　1.1.8　路床安定処理工
　1.1.9　置換工
　1.1.10 サンドマット工
　1.1.11 バーチカルドレーン工
　1.1.12 残土処理工

1.2　公園土工
　1.2.1　小規模造成工
　1.2.2　残土処理工

1.3　植栽基盤工
　1.3.1　透水層工
　1.3.2　土層改良工
　1.3.3　土性改良工
　1.3.4　表土盛土工
　1.3.5　人工地盤工
　1.3.6　造形工

1.4　法面工
　1.4.1　法面ネット工
　1.4.2　植生工
　1.4.3　法枠工
　1.4.4　編柵工
　1.4.5　かご工

1.5　軽量盛土工
　1.5.1　作業土工
　1.5.2　軽量盛土工

1.6　擁壁工
　1.6.1　作業土工
　1.6.2　場所打擁壁工（構造物単位）
　1.6.3　場所打擁壁工
　　①公園基礎材
　　②公園均しコンクリート
　　③擁壁高さ調整
　1.6.4　プレキャスト擁壁工
　1.6.5　帯鋼補強土壁・ｱﾝｶｰ補強土壁工、ジオテキスタイル補強土壁、補強盛土工
　1.6.6　コンクリートブロック工（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積）
　1.6.7　コンクリートブロック工（間知ﾌﾞﾛｯｸ張）
　1.6.8　コンクリートブロック工(平ﾌﾞﾛｯｸ張)
　1.6.9　コンクリートブロック工（連節ﾌﾞﾛｯｸ張）
　1.6.10 コンクリートブロック工（緑化ﾌﾞﾛｯｸ積）
　1.6.11 石積工
　1.6.12 土留め工

1.7　公園カルバート工
　1.7.1　作業土工
　1.7.2　場所打函渠工（構造物単位）
　1.7.3　場所打函渠工
　1.7.4　プレキャストカルバート工

1.8　公園施設等撤去・移設工
　1.8.1　公園施設撤去工
　1.8.2　移設工
　1.8.3　樹木伐採・抜根工
　1.8.4　工事支障木対策工
　1.8.5　発生材再利用工

１．１　敷地造成工

１．１．１　表土保全工

１．適用

公園緑地工事において、現況地形の表面に堆積する良質土の保全等に係わる表土保全工に適用する。

２．数量算出項目

表土掘削、表土運搬等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、規格、種類とする。

（１）　数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	規格	種類	単位	数量	備考
表土掘削	○	○	m^3		
表土運搬	○	○	m^3		

（２）材料数量算出項目及び表土保全工区分一覧表

表土保全工区分 / 項目	表土掘削	表土運搬	単位	数量	備考
掘削	○	×	m^3		
運搬	○	○	m^3		
整地	○	×	m^2		
積込	×	○	m^3		
養生	×	○	m^2		

注）１．土砂を自工区流用場・仮置場へ運搬または、工事区間外へ搬出する場合は、運搬距離についても算出する。

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）掘削の量

掘削の量は、必要に応じて土砂オープン掘削、土砂片切掘削、土砂人力掘削等に分け算出する。

１．１．２　整地工

１．適用

公園緑地工事において、現況または造成後の地形表面の整地等に係わる整地工に適用する。

２．数量算出項目

公園整地等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	規　　格	単位	数　量	備　　考
公園整地	○	㎡		

（2）材料数量算出項目及び整地工区分一覧表

公園整地工区分 項　目	整　　地	単位	数　量	備　　考
敷均し面積	○	㎡		
敷均し量	○	m^3		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）敷均し面積、敷均し量

敷均し面積・敷均しの量は、必要に応じて規格等に分け算出する。

1．1．3　掘削工

1．適用

公園緑地工事における敷地造成の掘削工に適用する。
ただし、掘削を施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工」を適用する。

1．1．4　盛土工

1．適用

公園緑地工事における敷地造成の盛土工に適用する。
ただし、盛土を施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工」を適用する。

1．1．5　路床盛土工

1．適用

公園緑地工事における敷地造成の路床盛土工に適用する。
ただし、路床盛土を施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工」を適用する。

1．1．6　法面整形工

1．適用

公園緑地工事における敷地造成の盛土法面整形工及び切土法面整形工に適用する。
ただし、法面整形を施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．３ 法面整形工」を適用する。

1．1．7　防草コンクリート

1．適用

公園緑地工事における敷地造成の防草コンクリートに適用する。
ただし、防草コンクリートを施工する場合は「第１編（共通編）４章コンクリート工４．４張りコンクリート工」を適用する。

１．１．８　路床安定処理工

１．適用

公園緑地工事における敷地造成の路床安定処理工に適用する。
ただし、安定処理を施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．２安定処理工」を適用する。

１．１．９　置換工

１．適用

公園緑地工事における軟弱層を良質土に置き換える置換工に適用する。

１．１．10　サンドマット工

１．適用

公園緑地工事における敷地造成のサンドマット工に適用する。
ただし、サンドマットを施工する場合は「第１編（共通編）８章地盤改良工８．１サンドドレーン工、サンドコンパクションパイル工、サンドマット工」を適用する。

１．１．11　バーチカルドレーン工

１．適用

公園緑地工事における敷地造成のバーチカルドレーン工に適用する。
ただし、サンドドレーン、ペーパードレーンを施工する場合は「第１編（共通編）８章地盤改良工８．１サンドドレーン工、サンドコンパクションパイル工、サンドマット工」を適用する。

１．１．12　残土処理工

１．適用

公園緑地工事における床掘り、埋戻し等で生じた発生土の敷地外への運搬、発生土受入地の整形処理、処分等に係わる残土処理工に適用する。
ただし、残土処理を施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工」を適用する。

１．２　公園土工

１．２．１　小規模造成工

１．適用

公園緑地工事における施工規模が１箇所当たりの施工土量が100m^{3}程度まで、または平均施工幅１m未満の小規模造成工に適用する。

２．数量算出項目

小規模掘削、小規模敷均・締固の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、土質、機種、構造物による障害の有無、施工形態の有無とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	土質	機種	構造物による障害の有無	施工形態	単位	数量	備考
小規模掘削	○	○	○	○	m^3		
小規模敷均・締固	○	○	○	○	m^3		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項による。

1．2．2　残土処理工

1．適用

公園緑地工事における床掘り、埋戻し等で生じた発生土の敷地外への運搬、発生土受入地の整形処理、処分等に係わる残土処理工に適用する。

ただし、残土処理を施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工」を適用する。

1．　3　植栽基盤工

1．3．1　透水層工

1．適用

公園緑地工事において、植栽基盤中の停滞水を排水する透水層等に係わる透水層工に適用する。

2．数量算出項目

開渠排水、暗渠排水、縦穴排水等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、規格、種類とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	規格	種類	単位	数量	備考
開渠排水	○	○	m		
暗渠排水	○	○	m		
縦穴排水	○	○	箇所		

（2）材料数量算出項目及び透水層工区分一覧表

透水層工区分 項　目	開渠排水	暗渠排水	縦穴排水	単位	数　量	備　考
掘削	○	○	○	m^3		
土砂購入	○	○	○	m^3		
遮水・止水シート張	○	×	×	m^2		
板柵設置	○	×	×	m^2		
埋戻し	○	○	○	m^3		
遮断砂	×	○	○	m^3		
排水材	×	○	○	m^3・袋・ℓ		
排水管	×	○	○	m		
透水シート	×	○	○	m^2		
フィルター材	×	○	○	m^3		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）掘削の量

掘削の量は、必要に応じて土砂掘削、土砂片切掘削、小規模土工、土砂人力掘削、縦穴掘削等に分け算出する。

（2）基面整正の量

基面整正の量は必要に応じて算出する。

（3）排水材の量

排水材の量は、必要に応じて種類別に体積・容積・容量等に分け算出する。

（4）排水管の量

排水管の量は、必要に応じて硬質ポリ塩化ビニル有孔管、暗渠排水管、空気管等に分け算出する。

1．3．2　土層改良工

1．適用

公園緑地工事において、植栽基盤の耕起を行い土中の空気量を高めると共に、土壌の過湿等を緩和する土壌改良等に係わる土層改良工に適用する。

2．数量算出項目

普通耕、深耕、混層耕、心土破砕等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、規格、種類とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	規格	種類	単位	数量	備考
普通耕	○	○	㎡		
深耕	○	○	㎡		
混層耕	○	○	㎡		
心土破砕	○	○	㎡		

（2）材料数量算出項目及び土層改良工区分一覧表

土層改良工区分 / 項目	普通耕	深耕	混層耕	心土破砕	単位	数量	備考
土層改良面積	○	○	○	○	㎡		
土層改良量	○	○	○	○	m^3・m		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）土層改良面積、土層改良の量

土層改良面積・土層改良の量は、必要に応じて種類・規格等に分け算出する。

1．3．3　土性改良工

1．適用

公園緑地工事において、植栽基盤土壌の物理性・化学性を改良する土壌改良等に係わる土性改良工に適用する。

2．数量算出項目

土性改良、中和剤施用、除塩、施肥等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	規格	種類	単位	数量	備考
土性改良	○	×	㎡		
中和剤施用	○	○	㎡		
除塩	○	○	㎡		
施肥B	○	○	㎡		

（2）材料数量算出項目及び土性改良工区分一覧表

土性改良工区分 / 項　目	土性改良	中和剤施　用	除塩	施肥	単位	数 量	備　　考
人力かき均し	○	○	○	○	m^3		
土性改良材料	○	×	×	×	m^3		
改良材投入	○	×	×	×	m^3		
土性改良剤施用	×	○	○	×	m^3		
土性改良剤	×	○	○	×	kg・ℓ		
施　肥Ｂ	×	×	×	○	m^2		
肥　料	×	×	×	○	kg・ℓ		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）土性改良材料の量

土性改良材料の量は、有機系改良材、高分子系改良材、パーライト系改良材等に分け算出する。

（2）土性改良剤施用の量

土性改良剤施用の量は、中和剤施用（人力・バックホウ・シャベルローダー）、除塩剤施用（人力・バックホウ・シャベルローダー）等の施用方法に分け算出する。

（3）土性改良剤の量

土性改良剤の量は、種類・規格別に、重量・容積等に分け算出する。

（4）肥料の量

肥料の量は、種類・規格別に、重量・容積等に分け算出する。

1．3．4　表土盛土工

1．適用

公園緑地工事において、植栽基盤を造成する表土盛土等に係わる表土盛土工に適用する。

2．数量算出項目

盛土（流用表土）、盛土（発生表土）、盛土（採取表土）、盛土（購入表土）等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、規格、施工箇所とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 / 項　目	規　　格	施工箇所	単位	数　量	備　　考
盛土（流用表土）	○	○	m^3		
盛土（発生表土）	○	○	m^3		
盛土（採取表土）	○	○	m^3		
盛土（購入表土）	○	○	m^3		

（2）材料数量算出項目及び表土盛土工区分一覧表

表土盛土工区分 ＼ 項　目	盛土（流用表土）	盛土（発生表土）	盛土（採取表土）	盛土（購入表土）	単位	数 量	備　考
敷均し	○	○	○	○	m^3		
盛　土	○	○	○	○	m^3		
集　積	○	×	×	×	m^3		
積　込	○	×	○	×	m^3		
運　搬	×	○	○	×	m^3		
掘　削	×	×	○	×	m^3		
土砂購入	×	×	×	○	m^3		

注）1．土砂を自工区流用場・仮置場から運搬する場合は、運搬距離についても算出する。
　　2．土砂を工事区間外から搬入する場合は、運搬距離についても算出する。

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）盛土の量

盛土の量は、盛土種類（人力、人力＋振動ローラ、人力＋タンパ）等に分け算出する。

1．3．5　人工地盤工

1．適用

公園緑地工事において、屋上等の植栽基盤の造成等に係わる人工地盤工に適用する。

2．数量算出項目

防水、押さえコンクリート、目地板、ｼｰﾙ材、人工地盤排水層、フィルター、防根シート、人工地盤客土等の数量を区分ごとに算出する。

ただし、立排水浸透桝を施工する場合は本数量算出要領4．2．6集水桝・マンホール工を適用する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 ＼ 項　目	規　　格	種　　類	単位	数　量	備　　考
防水	×	○	m^2		
押さえコンクリート	○	○	m^3		
目地板	○	○	m^2		
シール材	×	○	m		
人工地盤排水層	×	○	m^2		
フィルター	×	○	m^2		
防根シート	○	○	m^2		
人工地盤客土	○	○	m^3		

（2）材料数量算出項目及び人工地盤工区分一覧表

人工地盤工区分 ＼ 項　目	防水	押さえコンクリート	目地板	シール材	人工地盤排水層	フィルター	防根シート	人工地盤客土	単 位	数 量	備　考
防水材	○	×	×	×	×	×	×	×	m^3		
押さえコンクリート	×	○	×	×	×	×	×	×	m^3		
目地材	×	×	○	×	×	×	×	×	m^2・m^3		
シール材	×	×	×	○	×	×	×	×	m		
排水材	×	×	×	×	○	×	×	○	m^3		
排水管	×	×	×	×	○	×	×	○	m		
透水シート	×	×	×	×	○	×	×	○	m^2		
フィルター材	×	×	×	×	○	○	×	○	m^2・m^3		
防根シート	×	×	×	×	×	×	○	×	m^2		
表土盛土	×	×	×	×	×	×	×	○	m^3		
土砂購入	×	×	×	×	×	×	×	○	m^3		
客土	×	×	×	×	×	×	×	○	m^3		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）防水材の量

防水材の量は、必要に応じて種類別等に分け算出する。

（2）押さえコンクリートの量

コンクリートの量は、必要に応じて種類別等に分け算出する。

（3）目地材の量

目地材の量は、必要に応じて種類別等に分け算出する。

（4）排水材の量

排水材の量は、必要に応じて種類別等に分け算出する。

（5）排水管の量

排水管の量は、必要に応じて種類別等に分け算出する。

（6）フィルター材の量

フィルター材の量は、種類（フィルター材、根茎調節資材等）別に体積・面積等に分け算出する。

（7）表土盛土の量

表土盛土の量は、種類（盛土（流用表土）、盛土（発生表土）、盛土（採取表土）、盛土（購入表土））等に分け算出する。

１．３．６　造形工

１．適用

公園緑地工事において、造成後、表面に適度な起状を付ける造形等に係わる造形工に適用する。

２．数量算出項目

表面仕上げ、築山等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分／項目	規格	単位	数量	備考
表面仕上げ	○	㎡		
築山	○	㎡		

（２）材料数量算出項目及び造形工区分一覧表

造形工区分／項目	表面仕上げ	築山	単位	数量	備考
仕上げ面積	○	○	㎡		

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）仕上げ面積

仕上げ面積は、必要に応じて規格等に分けて算出する。

１．４　法面工

１．４．１　法面ネット工

１．適用

公園緑地工事において、ネットによって表面の表層部を保護する法面工等に係わる法面ネット工に適用する。

２．数量算出項目

法面ネット等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、種類、規格、施工箇所とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分／項目	種類	規格	施工箇所	単位	数量	備考
法面ネット	○	○	○	㎡		

（2）材料数量算出項目及び法面ネット工区分一覧表

法面ﾈｯﾄ工区分 項　　目	法面ネット	単位	数　量	備　　考
ネット設置面積	○	㎡		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）ネット設置の面積

ネット設置の面積は、必要に応じて種類・規格等に分け算出する。

1．4．2　植生工

1．適用

公園緑地工事において、法面緑化によって法面の表層部を保護する法面工等に係わる植生工に適用する。

ただし、種子散布、客土吹付、植生基材吹付、植生シート、植生マット、植生筋、公園種子帯、公園張芝、公園筋芝、公園市松芝、人工張芝、植生穴、を施工する場合は「第１編（共通編）５章法覆工５．３植生工」を適用する。

1．4．3　法枠工

1．適用

公園緑地工事において、法枠によって表面の表層部を保護する等に係わる法枠工に適用する。

ただし、現場打法枠、プレキャスト法枠、吹付枠を施工する場合は「第１編（共通編）５章法覆工５．１法枠工」を適用する。

2．数量算出項目

金属製法枠等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、規格、種類、施工箇所とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	種　　類	規　　格	施工箇所	単位	数　量	備　　考
金属製法枠	○	○	○	㎡		

（2）材料数量算出項目及び法面ネット工区分一覧表

法枠工区分 項　　目	金属製法枠	単位	数　量	備　　考
施工面積	○	㎡		
法枠延長	○	m		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）法枠の施工面積・延長

法枠の施工面積・延長は、必要に応じて種類・規格・施工場所等に分け算出する。

1．4．4　編柵工

1．適用

公園緑地工事において、竹や樹木で編み込んだ柵によって法面の表層部を保護する法面工等に係わる編柵工に適用する。

2．数量算出項目

編柵等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分／項目	種　類	規　格	単位	数　量	備　考
編　柵	○	○	m		

（2）材料数量算出項目及び法面ネット工区分一覧表

網柵工区分／項　目	網　柵	単位	数　量	備　考
編柵延長	○	m		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）編柵の延長

編柵の延長は、必要に応じて種類・規格等に分け算出する。

1．4．5　かご工

1．適用

公園緑地工事における法面保護及び根固め工としてのじゃかご、ふとんかごに適用する。

ただし、じゃかご、ふとんかごを施工する場合は「第２編（河川・砂防編）１章護岸根固め工１．３かご工」を適用する。

1．　5　軽量盛土工

1．5．1　作業土工

1．適用

公園緑地工事において、目的物を施工するために行う現地盤面の床掘りおよび計画面まで埋戻す土工等に係わる作業土工に適用する。

ただし、床掘り、埋戻しを施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工２．１．２作業土工」を適用する。

１．５．２　軽量盛土工

１．適用

公園緑地工事において、超軽量材としての発泡スチロールを使用する軽量盛土工に適用する。
ただし、軽量盛土（発泡スチロールブロック）、コンクリート床版、基礎コンクリート、支柱、壁面材、裏込砕石を施工する場合は「第１編（共通編）３章発泡スチロールを用いた超軽量盛土工」を適用する。

１．６　擁 壁 工

１．６．１　作業土工

１．適用

公園緑地工事において、目的物を施工するために行う現地盤面の床掘りおよび計画面まで埋戻す土工等に係わる作業土工に適用する。
ただし、床掘り、埋戻しを施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工２．１．２作業土工」を適用する。

１．６．２　場所打擁壁工（構造物単位）

１．適用

公園緑地工事において、場所打により設置する擁壁工で、小型擁壁（A）、小型擁壁（B）、重力式擁壁、もたれ式擁壁、逆Ｔ型擁壁、Ｌ型擁壁、裏込砕石、止水板、化粧型枠、ペーラインコンクリート、排水材設置を施工する場合は「第１編（共通編）６章擁壁工６．４．１場所打擁壁工（１）」を適用する。

１．６．３　場所打擁壁工

１．適用

公園緑地工事において、場所打擁壁工（構造物単位）の適用範囲を外れた擁壁工を施工する場合は「第１編（共通編）６章擁壁工６．４．２場所打擁壁工（２）」を適用する。

参考（場所打揚壁工（１）の適用範囲を外れた擁壁工）
- 重力式擁壁[擁壁平均高さ５mを超えるもの]
- もたれ式擁壁[擁壁平均高さ１mを超え３m未満のもの、或いは８mを超えるもの]
- 逆Ｔ型擁壁[擁壁平均高さ１mを超え３m未満のもの、あるいは 10mを超えるもの]
- Ｌ型擁壁[擁壁平均高さ１mを超え３m未満のもの、あるいは７mを超えるもの]
- 重力式擁壁、もたれ式擁壁、逆Ｔ型擁壁、Ｌ型擁壁以外の形式の現場打擁壁

①公園基礎材

１．適用

公園緑地工事において、コンクリート構造物等の基面に砕石・栗石等の基礎材を敷設する作業等に係わる砕石基礎工に適用する。

２．数量算出項目

公園基礎材等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、基礎材規格、敷厚とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	基礎材規格	敷厚	単位	数量	備考
公園基礎材	○	○	m^3		

（2）材料数量算出項目及び公園基礎材区分一覧表

公園基礎材区分 項目	公園基礎材	単位	数量	備考
基礎砕石	○	m^3		
基礎栗石	○	m^3・m^2		

（3）基礎材の種類区分

項目別の種類による区分は、砕石（クラッシャーラン、高炉スラグ、再生クラッシャーラン、各砕石）、栗石（栗石、割栗石）、発生材流用（軟岩小割、硬岩小割）等に区分して算出する。

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

②公園均しコンクリート

1．適用

公園緑地工事において、一般的な均しコンクリート打設に係わる公園均しコンクリートに適用する。

2．数量算出項目

公園均しコンクリート等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、コンクリート規格、敷厚とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	コンクリート規格	敷厚	単位	数量	備考
公園均しコンクリート	○	○	m^3		

（2）材料数量算出項目及び公園均しコンクリート区分一覧表

公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ区分 項目	公園均しコンクリート	単位	数量	備考
均しコンクリート	○	m^3		
均しコンクリート型枠	○	m^2		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

③擁壁高さ調整

1．適用

公園緑地工事において、場所打ち擁壁に係わるの高さ調整に適用する。

2．数量算出項目

擁壁高さ調整等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、擁壁種類、擁壁平均高さ、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 ＼ 項目		擁壁種類	擁壁平均高さ	規格	単位	数量	備考
擁壁本体コンクリート		○	○	○	m^3		
目地材		○	○	○	m^2		
裏込材		○	○	○	m^3		
型　枠		○	○	○	m^2		
構造物取壊し	無筋	○	○	×	m^3		
	鉄筋	○	○	×	m^3		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

1．6．4　プレキャスト擁壁工

1．適用

公園緑地工事において、プレキャスト擁壁の施工に適用する。 ただし、プレキャスト擁壁を施工する場合は「第１編（共通編）６章擁壁工６．１プレキャスト擁壁工」を適用する。

1．6．5　帯鋼補強土壁・ｱﾝｶｰ補強土壁工、ジオテキスタイル補強土壁、補強盛土工

1．適用

公園緑地工事において、補強土壁の施工に係わる補強土壁工に適用する。 ただし、補強土壁工（帯鋼補強土壁（１）・帯鋼補強土壁（２）・アンカー補強土壁）においてコンクリート製壁面材　(帯鋼補強土壁においては、薄型壁面材を含む)、ジオテキスタイル（ジオグリット、ジオネット、織布、不織布)を用いた補強土壁工及び補強盛土工を施工する場合は「第１編（共通編）６章擁壁工６．２補強土壁工（帯鋼補強土壁，アンカー補強土壁)、６．３補強盛土工」を適用する。

1．6．6　コンクリートブロック工（コンクリートブロック積）

1．適用

公園緑地工事において、コンクリートブロックの施工等に係わるコンクリートブロック工（コンクリートブロック積）に適用する。 ただし、コンクリートブロック基礎、プレキャスト基礎、コンクリートブロック積、大型ブロック積、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材（砕石)、吸出し防止材（全面）設置、遮水シート張、目地板、養生費、天端コンクリート、小口止コンクリートを施工する場合は「第１編（共通編）５章法覆工５．４コンクリートブロック積（張）工」を適用する。基礎材を施工する場合は「第１編（共通編）６章 擁壁工６．２ 補強土壁工（帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁)」を適用する。中詰ｺﾝｸﾘｰﾄを施工する場合は「第２編河川・砂防編１章 護岸根固め工１．５ 護岸基礎ブロック工」を適用する。

１．６．７　コンクリートブロック工（間知ブロック張）

１．適用

公園緑地工事において、コンクリートブロックの施工等に係わるコンクリートブロック工（間知ブロック張）に適用する。

ただし、コンクリートブロック基礎、間知ブロック張、天端コンクリート、小口止コンクリート、止杭を施工する場合は「第１編（共通編）５章法覆工５．４コンクリートブロック積（張）工」を適用する。

１．６．８　コンクリートブロック工（平ブロック張）

１．適用

公園緑地工事において、コンクリートブロックの施工等に係わるコンクリートブロック工（平ブロック張）に適用する。

ただし、コンクリートブロック基礎、平ブロック張、裏込栗石、目地板、天端コンクリート、小口止コンクリートを施工する場合は「第１編（共通編）５章法覆工５．４コンクリートブロック積（張）工」を適用する。

１．６．９　コンクリートブロック工（連節ブロック張）

１．適用

公園緑地工事において、コンクリートブロックの施工等に係わるコンクリートブロック工（連節ブロック張）に適用する。

ただし、コンクリートブロック基礎、プレキャスト基礎、連節ブロック張、裏込栗石、目地板、天端コンクリート、小口止コンクリートを施工する場合は「第１編（共通編）５章法覆工５．４コンクリートブロック積（張）工」を適用する。基礎材を施工する場合は「第１編（共通編）６章 擁壁工６．２ 補強土壁工（帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁）」を適用する。中詰コンクリートを施工する場合は「第 ２ 編 河川・砂防編１章 護岸根固め工１．５ 護岸基礎ブロック工」を適用する。

１．６．１０　コンクリートブロック工（緑化ブロック積）

１．適用

公園緑地工事において、コンクリートブロックの施工等に係わるコンクリートブロック工（緑化ブロック積）に適用する。

ただし、コンクリートブロック基礎、緑化ブロック積、ブロック植栽、天端コンクリート、小口止コンクリートを施工する場合は「第１編（共通編）５章法覆工５．４コンクリートブロック積（張）工」を適用する。

１．６．１１　石積工

１．適用

公園緑地工事において、自然石をそのまま加工して施工する石積擁壁等に係わる石積工に適用する。

２．数量算出項目

崩れ積、面積、玉石積、小端積、こぶだし石積、切石積、間知石積、雑割石積、雑石積、割石積、雑割石張、雑石張、石積高さ調整等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、規格、石材の種類、石材の規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	規　格	石　材 種　類	石　材 規　格	単位	数　量	備　考
崩れ積	○	○	○	m		
面　積	○	○	○	m		
玉石積	○	○	○	m		
小端積	○	○	○	m		
こぶだし石積	○	○	○	m		
切石積	○	○	○	m		
間知石積	○	○	○	m		
雑割石積	○	○	○	m		
雑石積	○	○	○	m		
割石積	○	○	○	m		
雑割石張	○	○	○	㎡		
雑石張	○	○	○	㎡		
石積高さ調整	○	○	○	m		

（２）材料数量算出項目及び石積工区分一覧表

石積工区分 項　目	崩れ積	面積	玉石積	小端積	こぶだし石積	切石積	間知石積	雑割石積	雑石積	割石積	雑割石張	雑石張	石積高さ調整	単位	数量	備考
石積(張)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	㎡		
基礎砕石･栗石	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	m^3		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	m^3		
型枠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	㎡		
鉄筋	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	t		
水抜きパイプ	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	m		
吸出し防止材	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	㎡		
遮水・止水ｼｰﾄ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	㎡		
目地材	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	㎡		
胴込ｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	m^3		
裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	m^3		
モルタル	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	m^3		
支持金物	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	個		

（3）石材の種類・石材の規格区分

項目別の石材の種類・規格による区分は、下記のとおりとする。

石積の種類	石材の種類	石材の規格
崩れ積、面積	野面石	φ300～1000 ㎜
玉石積	玉　石	
小端積	野面小端石	
こぶだし石積	割角石	（石材 JIS A 5003） 12 の 15　厚 12 cm　幅 15 cm 15 の 18　厚 15 cm　幅 18 cm 15 の 21　厚 15 cm　幅 21 cm 15 の 24　厚 15 cm　幅 24 cm 15 の 30　厚 15 cm　幅 30 cm 18 の 30　厚 18 cm　幅 30 cm 長さ　91 cm、100 cm、150 cm
切石積	切角石	（石材 JIS A 5003） 12 の 15　厚 12 cm　幅 15 cm 15 の 18　厚 15 cm　幅 18 cm 15 の 21　厚 15 cm　幅 21 cm 15 の 24　厚 15 cm　幅 24 cm 15 の 30　厚 15 cm　幅 30 cm 18 の 30　厚 18 cm　幅 30 cm 長さ　91 cm、100 cm、150 cm
間知石積	間知石	（石材 JIS A 5003） 35 間知 控 350 ㎜ 表面積 620 cm^2 以上 45 間知 控 450 ㎜ 表面積 900 cm^2 以上 50 間知 控 500 ㎜ 表面積 1220 cm^2 以上 60 間知 控 600 ㎜ 表面積 1600 cm^2 以上
雑割石積、雑割石張	雑割石	控 350 ㎜
雑石積、雑石張	雑　石	控 300 ㎜、350 ㎜、400 ㎜
割石積	割　石	（石材 JIS A 5003） 30 間知 控 300 ㎜ 表面積 620 cm^2 以上 35 間知 控 350 ㎜ 表面積 900 cm^2 以上 40 間知 控 400 ㎜ 表面積 1220 cm^2 以上

（4）規格の区分

項目別の規格による区分は、石積(張)の構造（空石積(張)、練石積(張)）、石積(張)の高さ等に区分して算出する。

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）石材の量

石材の量は、必要に応じて体積・重量または面積等を算出する。

（2）基面整正の量

基面整正の量は、必要に応じて算出する。

（3）笠石・天端石の量

笠石・天端石の量は、必要に応じて体積・重量または延長等を算出する。

１．６．１２　土留め工

１．適用

公園緑地工事において、法面や段差の崩壊を防止する土留め擁壁等に係わる土留め工に適用する。

２．数量算出項目

土留め等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、種類、規格、高さとする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分／項目	種　類	規　格	高　さ	単位	数　量	備　　考
土留め	○	○	○	m		

（２）材料数量算出項目及び土留め工区分一覧表

土留め工区分／項目	土留め	単位	数　量	備　　考
土留め延長	○	m		

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）土留めの延長

土留めの延長は、必要に応じて種類・規格等に分け算出する。

１．７　公園カルバート工

１．７．１　作業土工

１．適用

公園緑地工事において、目的物を施工するために行う現地盤面の床掘りおよび計画面まで埋戻す土工等に係わる作業土工に適用する。

ただし、床掘り（掘削）、床掘り、埋戻し、基面整正、掘削補助機械搬入搬出、転石破砕、積込（ルーズ）、人力積込、人力運搬、押土（ルーズ）、整地、土砂等運搬、土材料を施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工」を適用する。

１．７．２　場所打函渠工（構造物単位）

１．適用

公園緑地工事において、場所打により設置する函渠工で、１層（アーチ等形状は問わない）また１層２連まで、土被り９m以下の場合に適用する。

ただし、函渠、鉄筋を施工する場合は「第１編（共通編）７章函渠工７．１．１函渠工（１）」、「第１編（共通編）４章コンクリート工４．３．１鉄筋工」を適用する。

１．７．３　場所打函渠工

１．適用

公園緑地工事において、場所打により設置する函渠工で、１層（アーチ等形状は問わない）また１層２連まで、土被り９m以下の場合に適用する。
ただし、函渠、鉄筋を施工する場合は「第１編（共通編）７章函渠工７．１．１函渠工（１）」、「第１編(共通編)３章無筋・鉄筋コンクリート１．３．７鉄筋工」を適用する。

参考（函渠工（１）の適用範囲を外れた函渠工）
公園緑地工事で施工する函渠
・ボックスカルバート以外の函渠
・１層または１層２連以外の函渠
・土被りが 9mを超える函渠
・「第６編(河川編)３章樋門・樋管６．６．３函渠工」の適用範囲を外れる函渠

１．７．４　プレキャストカルバート工

１．適用

公園緑地工事において、プレキャストカルバートの施工に適用する。
ただし、プレキャストカルバートを施工する場合は「第１編(共通編)７章函渠工７．１．１函渠工、７．１．３函渠工（３）大型プレキャストボックスカルバート工」を適用する。

１．８　公園施設等撤去・移設工

１．８．１　公園施設撤去工

１．適用

公園緑地工事において、既存施設構造物等の撤去等に係わる公園施設撤去工に適用する。
ただし、コンクリート構造物等の取壊しを施工する場合は「第１編（共通編）１０章１０．１構造物取壊し工」を適用する。

２．数量算出項目

公園施設撤去等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、種類、規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	種類	規格	単位	数量	備考
公園施設撤去	○	○	基		

（２）材料数量算出項目及び公園施設撤去工区分一覧表

公園施設撤去工区分 / 項目	公園施設撤去	単位	数量	備考
構造物取壊し	○	m^3		
鉄筋切断	○	m^3		
公園施設撤去	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）構造物取壊しの量

構造物取壊しの量は、取壊し方法（人力、大型ブレーカ、コンクリートブレーカ、コンクリート圧砕機、コンクリート破砕機、ダイナマイト）等に分け算出する。

また、取り壊し後については、必要に応じてコンクリート殻（有筋、無筋）、アスコン殻等に分け算出する。

（2）鉄筋切断の量

鉄筋切断の量は、必要に応じて切断の仕様、鋼材の規格等に分け算出する。

1．8．2　移設工

1．適用

公園緑地工事において、既存施設構造物等の移設等に係わる移設工に適用する。

2．数量算出項目

遊具移設、小工作物移設、景石移設等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	種類	規格	単位	数量	備考
遊具移設	○	○	基		
小工作物移設	○	○	基		
景石移設	○	○	個		

（2）材料数量算出項目及び公園施設撤去工区分一覧表

移設工区分 / 項目	遊具移設	小工作物移設	景石移設	単位	数量	備考
本体設置	○	○	○	基・t		
砕石・栗石基礎	○	○	○	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	○	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	○	m^2		

（３）移設の種類、規格区分

移設の種類、規格による区分は、下記のとおりとする。

種　　類	規　　格	
遊　　具 移　　設	ブランコ	大型２連ブランコ、大型４連ブランコ、角型椅子ブランコ、 丸型椅子ブランコ
	ｼﾞｬﾝｸﾞﾙｼﾞﾑ	ロケットタワー、グローブジャングル、チェーンネットジャングル、 ジャングルジム、キャスルジム
	滑台	一方式滑台、二方式放射型滑台、二方式富士型滑台、一回転式滑台
	シーソー	復列式シーソー
	鉄棒	２連低鉄棒、３連低鉄棒、３連中鉄棒
	ラダー	太鼓型ラダー、山型ラダー
	はん登棒	傘型はん登棒
	木製遊具	
	複合遊具	
小工作物 移　　設	小工作物	
景石移設	0.5t/個、1.0t/個、1.5t/個、2.0t/個、3.0t/個、4.0t/個、5.0t/個、8.0t/個	

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正の数量は必要に応じて算出する。

１．８．３ 樹木伐採・抜根工

１．適用

公園緑地工事において、既存樹木の伐採等に係わる樹木伐採・抜根工に適用する。

２．数量算出項目

高木伐採、中低木伐採、倒木処理等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、樹木規格、作業条件、人力・機械選択、機械の種類・規格、チェーンソーの規格、ロープワークの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、クレーン車使用の有無、クレーン車の種類・規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 ＼ 項目	樹木規格	作業条件	人力・機械選択	機械の種類・規格	チェーンソーの規格	ロープワークの有無	高所作業車使用の有無	高所作業車の作業床高	クレーン使用の有無	クレーンの種類・規格	単位	数量	備考
高木伐採	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	本		
中低木伐採	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	本		
倒木処理	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	本		
高木抜根	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	本		
中低木抜根	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	本		
堀取り穴埋戻し	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	㎥		

（2）材料数量算出項目及び樹木伐採・抜根工区分一覧表

樹木伐採・抜根工区分 ＼ 項目	高木伐採	中低木伐採	倒木処理	高木抜根	中低木抜根	堀取り穴埋戻し	単位	数量	備考
伐採	○	○	○	○	○	×	本		
抜根	○	○	○	○	○	×	本		
埋戻し土	×	×	×	×	×	○	m3		
ﾁｪｰﾝｿｰ運転	○	○	×	×	×	×	日		
高所作業車運転	○	×	×	×	×	×	日		
ｸﾚｰﾝ車運転	○	×	×	×	×	×	H・日		
支柱撤去	○	○	○	×	×	×	本		
発生木材処理	○	○	○	○	○	×	m3		

（3）樹木の規格区分

樹木の規格による区分は、下記のとおりとする。

樹木規格	
高　木	幹周 20cm 未満
	幹周 20cm 以上 30cm 未満
	幹周 30cm 以上 60cm 未満
	幹周 60cm 以上 90cm 未満
	幹周 90 cm以上 120 cm未満
	幹周 120 cm以上 150 cm未満
	幹周 150 cm以上 200 cm未満
	幹周 200 cm以上 250 cm未満
	幹周 250 cm以上 300 cm未満
中低木	樹高 60 cm未満
	樹高 60cm 以上 100cm 未満
	樹高 100cm 以上 150cm 未満
	樹高 150cm 以上 200cm 未満
	樹高 200cm 以上 300cm 未満

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）支柱撤去の量

支柱撤去の量は、必要に応じて支柱の種類・規格等に分け算出する。

１．８．４　工事支障木対策工

１．適用

公園緑地工事において、工事の支障となる枝や葉の剪定に係わる工事支障木対策工に適用する。

ただし、中木刈込、低木刈込Ａ、低木刈込Ｂを施工する場合は、本数量算出要領３．２．２中木刈込工及び３．２．３低木刈込工を適用する。

２．数量算出項目

枝降ろし、支障枝剪定、中低木移植、樹木運搬、中木刈込、低木刈込Ａ、低木刈込Ｂ等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、樹木規格、作業難易度、チェーンソーの規格、ロープワークの有無、高所作業車使用の有無、ｸﾚｰﾝ使用の有無、支柱の種類、運搬距離、枝透かし量・刈込み量とする。

（１）数量算出項目区分一覧表

区分 ＼ 項目	常落針葉樹の区分	樹木規格	作業難易度	チェーンソーの規格	ロープワークの有無	高所作業車使用の有無	高所作業車の作業床高	クレーン使用の有無	クレーンの種類・規格	支柱の規格	運搬距離	枝透かし量・刈込み量	単位	数量	備考
枝降ろし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	本		
支障枝剪定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	本		
中低木移植	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	本		
樹木運搬	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	本		
中木刈込	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	本		
低木刈込Ａ	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	本		
低木刈込Ｂ	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	㎡		

（２）材料数量算出項目及び工事支障木対策工区分一覧表

工事支障木対策工区分 項　目	枝降ろし	支障枝剪定	中低木移植	樹木運搬	単位	数量	備考
剪定	○	○	×	×	本		
人力刈込	×	×	○	×	本		
掘取	×	×	○	×	本		
中低木植栽	×	×	○	×	本		
ﾛｰﾌﾟﾜｰｸ	○	○	×	×	本		
高所作業車運転	○	○	×	×	本		
ｸﾚｰﾝ車運転	○	○	×	×	本		
支柱	×	×	○	×	本		
運搬	×	×	×	○	本		

（３）樹木の規格区分

項目別の樹木の規格による区分は、以下の通りとする。

工事支障木対策工		
支障枝剪定	高　木	幹周 15㎝ 未満
		幹周 15㎝ 以上 30㎝ 未満
		幹周 30㎝ 以上 45㎝ 未満
		幹周 45㎝ 以上 60㎝ 未満
		幹周 60㎝ 以上 90㎝ 未満
		幹周 90 ㎝以上 120 ㎝未満
		幹周 120 ㎝以上 150 ㎝未満
		幹周 150 ㎝以上 180 ㎝未満
		幹周 180 ㎝以上 210 ㎝未満
		幹周 210 ㎝以上 240 ㎝未満
		幹周 240 ㎝以上 270 ㎝未満
		幹周 270 ㎝以上 300 ㎝未満

（４）樹木の運搬区分

樹木の運搬による区分は、以下のとおりとする。

運搬	高　木	幹周１５㎝ 未満
		幹周１５㎝ 以上２５㎝ 未満
		幹周２５㎝ 以上４０㎝ 未満
		幹周４０㎝ 以上６０㎝ 未満
		幹周６０㎝ 以上９０㎝ 未満
	運　搬 距　離	運搬距離５㎞まで
		運搬距離５㎞を超え５㎞を増すごと

（５）支柱の種類区分

支柱の種類による区分は、以下のとおりとする。

支　柱	高　木	二脚鳥居　添木付	幹周３０㎝未満
		二脚鳥居　添木無	幹周２０㎝以上３０㎝未満
		三脚鳥居	幹周３０㎝以上６０㎝未満
		十字鳥居	幹周３０㎝以上６０㎝未満
		二脚鳥居組合せ	幹周４０㎝以上７５㎝未満
		八ッ掛（三脚）（竹）	幹周２０㎝未満
		八ッ掛（丸太 L=4m）	幹周２０㎝以上３５㎝未満
		八ッ掛（丸太 L=6～7m）	幹周３０㎝以上７５㎝未満
		地下埋設型支柱	

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

（１）掘取の量

樹木の掘取は必要に応じて、下記に分け算出する。

掘取工	高　木	幹周１５㎝未満
		幹周１５㎝以上２５㎝未満
		幹周２５㎝以上４０㎝未満
		幹周４０㎝以上６０㎝未満
		幹周６０㎝以上９０㎝未満

１．８．５　発生材再利用工

１．適用

公園緑地工事において、施設撤去及び伐採等により発生した材料の新しい材料への加工、再生等に係わる発生材再利用工に適用する。

２．数量算出項目

木チップ加工等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	規　　格	単位	数　量	備　　考
木チップ加工	○	m^3		

（２）材料数量算出項目及び発生材再利用工区分一覧表

発生材再利用工 区分 項　目	木チップ加工	単位	数　量	備　　考
丸太割り	○	m^3		
枝粉砕	○	m^3		
枝処理	○	m^3		
集　積	○	m^3		

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

2 章　　植　　栽

2.1　植栽工
2.1.1　高木植栽工
2.1.2　中低木植栽工
2.1.3　特殊樹木植栽工
2.1.4　地被類植栽工
2.1.5　草花種子散布工
2.1.6　播種工
2.1.7　花壇植栽工
2.1.8　樹木養生工
2.1.9　樹名板工
2.1.10 根囲い保護工
2.1.11 芝生保護工
2.1.12 壁面緑化施設工

2.2　移植工
2.2.1　根回し工
2.2.2　高木移植工
2.2.3　根株移植工
2.2.4　中低木移植工
2.2.5　地被類移植工
2.2.6　樹木養生工
2.2.7　樹名板工
2.2.8　根囲い保護工

2.3　公園施設等撤去・移設工
2.3.1　公園施設撤去工
2.3.2　移設工
2.3.3　樹木伐採・抜根工
2.3.4　工事支障木対策工
2.3.5　発生材再利用工

２．１　植 栽 工

２．１．１　高木植栽工

１．適用

公園緑地工事において、樹高３m以上の高木の植栽に係わる高木植栽工に適用する。

２．数量算出項目

高木植栽等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、樹木種類、樹木規格、幹巻の有無、支柱種類とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分／項目	樹木種類	樹木規格	幹巻の有無	支柱種類	単位	数量	備考
高木植栽	○	○	○	○	本		

注）１．単位の「本」は樹木１本当りとする。

（２）材料数量算出項目及び高木植栽工区分一覧表

高木植栽工区分／項目	高木植栽	単位	数量	備考
植栽	○	本		
幹巻	○	本		
支柱	○	本		
客土	○	m^3		
肥料	○	kg・ℓ		

注）１．単位の「本」は樹木１本当りとする。
２．高木とは樹高３m以上とする。また、幹周とは地際よりの高さ１．２mでの幹の周囲長とし幹が枝分かれしている場合の幹周は各々の総和の７０％とする。

（３）樹木の種類区分

樹木の種類による区分は、植物名ごとに取りまとめる。

（４）樹木の規格区分

樹木の規格による区分は、以下のとおりとする。

植栽工			
高木	幹周１５㎝未満	中低木	樹高５０㎝未満
	幹周１５㎝以上２５㎝未満		樹高５０㎝以上１００㎝未満
	幹周２５㎝以上４０㎝未満		樹高１００㎝以上２００㎝未満
	幹周４０㎝以上６０㎝未満		樹高２００㎝以上３００㎝未満
	幹周６０㎝以上９０㎝未満		

（５）支柱の種類区分

支柱の種類による区分は、以下のとおりとする。

支　柱	高　木	二脚鳥居　添木付	幹周３０㎝未満
		二脚鳥居　添木無	幹周２０㎝以上３０㎝未満
		三脚鳥居	幹周３０㎝以上６０㎝未満
		十字鳥居	幹周３０㎝以上６０㎝未満
		二脚鳥居組合せ	幹周４０㎝以上７５㎝未満
		八ッ掛（三脚）（竹）	幹周２０㎝未満
		八ッ掛（丸太 L=4m）	幹周２０㎝以上３５㎝未満
		八ッ掛（丸太 L=6～7m）	幹周３０㎝以上７５㎝未満
		地下埋設型支柱	
	中　木	二脚鳥居　添木付	樹高２５０㎝以上
		二脚鳥居　添木無	樹高２５０㎝以上
		八ッ掛（竹）	樹高１００㎝以上
		添柱形（１本形）	樹高１００㎝以上
		布掛（竹）	樹高１００㎝以上
		生垣形	樹高１００㎝以上
		生垣形	樹高６０㎝以上１００㎝未満
		地下埋設型支柱	

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）客土の量

客土の量は、必要に応じて体積を算出する。

（２）肥料の量

肥料の量は、必要に応じて体積または、重量等を算出する。

２．１．２　中低木植栽工

１．適用

公園緑地工事において、樹高３ｍ未満の中低木の植栽に係わる中低木植栽工に適用する。
ただし、中低木植栽を施工する場合は「第４編（公園編）１章公園植栽工１．１公園植栽工」を適用する。

２．１．３　特殊樹木植栽工

１．適用

公園緑地工事において、一般の樹形と異なる特殊樹木の植栽に係わる特殊樹木植栽工に適用する。

２．数量算出項目

特殊樹木植栽等を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、樹木種類、樹木規格、幹巻の有無、支柱種類とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	樹木 種類	樹木 規格	幹巻の 有無	支柱種類	単位	数量	備考
特殊樹木植栽	○	○	○	○	本		

注）１．単位の「本」は樹木１本当りとする。

（2）材料数量算出項目及び特殊樹木植栽工区分一覧表

特殊樹木植栽工区分 項目	特殊樹木植栽	単位	数量	備考
植栽	○	本		
幹巻	○	本		
支柱	○	本		
客土	○	m^3		
肥料	○	kg・ℓ		

注）１．単位の「本」は樹木１本または１株当りとする。
２．高木とは樹高３m以上，中木とは樹高６０㎝ 以上３m未満，低木とは樹高６０㎝ 未満とする。また、幹周とは地際よりの高さ１．２mでの幹の周囲長とし幹が枝分かれしている場合の幹周は各々の総和の７０％とする。

（3）樹木の種類区分
樹木の種類による区分は、植物名ごとに取りまとめる。

（4）樹木の規格区分
樹木の規格による区分は、以下のとおりとする。

植栽工	高木	幹周１５㎝未満
		幹周１５㎝以上２５㎝未満
		幹周２５㎝以上４０㎝未満
		幹周４０㎝以上６０㎝未満
		幹周６０㎝以上９０㎝未満
植栽工	中低木	樹高５０㎝未満
		樹高５０㎝以上１００㎝未満
		樹高１００㎝以上２００㎝未満
		樹高２００㎝以上３００㎝未満

注）低木には、株物、一本立を含む。

（５）支柱の種類区分

支柱の種類による区分は、以下のとおりとする。

支　柱	高　木	二脚鳥居　添木付	幹周３０㎝未満
		二脚鳥居　添木無	幹周２０㎝以上３０㎝未満
		三脚鳥居	幹周３０㎝以上６０㎝未満
		十字鳥居	幹周３０㎝以上６０㎝未満
		二脚鳥居組合せ	幹周４０㎝以上７５㎝未満
		八ッ掛（三脚）（竹）	幹周２０㎝未満
		八ッ掛（丸太 L=4m）	幹周２０㎝以上３５㎝未満
		八ッ掛（丸太 L=6～7m）	幹周３０㎝以上７５㎝未満
		地下埋設型支柱	
	中　木	二脚鳥居　添木付	樹高２５０㎝以上
		二脚鳥居　添木無	樹高２５０㎝以上
		八ッ掛（竹）	樹高１００㎝以上
		添柱形（１本形）	樹高１００㎝以上
		布掛（竹）	樹高１００㎝以上
		生垣形	樹高１００㎝以上
		生垣形	樹高６０㎝以上１００㎝未満
		地下埋設型支柱	

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）客土の量

客土の量は、必要に応じて体積を算出する。

（２）肥料の量

肥料の量は、必要に応じて体積または、重量等を算出する。

２．１．４　地被類植栽工

１．適用

公園緑地工事において、丈が低く花卉や低木に属さない地被類の植栽に係わる地被類植栽に適用する。

２．数量算出項目

地被類植栽等を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、地被類種類、地被類種別、コンテナ径、芝種類、目地の有無とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分／項目	地被類種類	地被類規格	ｺﾝﾃﾅ径	芝種類	目地の有無	単位	数量	備考
地被類植栽	○	○	○	○	○	鉢		

（２）材料数量算出項目及び地被類植栽工区分一覧表

項　目＼地被類植栽工区分	地被類植栽	単位	数　量	備　　考
植栽	○	鉢		
客土	○	m^3		
肥料	○	kg・ℓ		

（3）地被類の種類区分

地被類の種類による区分は、植物名ごとに取りまとめる。

（4）地被類種別の区分

地被類の種別による区分は、下記のとおりとする。

地被類種別	オカメザサ、クマザサ、チゴザサ、リュウノヒゲ、オロシマチク、コグマザサ、ミヤコザサ
	その他の地被類
	張芝

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）張芝の量

目地張りの張芝の量は、目地幅に応じて芝の面積を算出する。

また、施工場所により、張芝の芝串が必要な法面と平面ごとに取りまとめる。

2．1．5　草花種子散布工

1．適用

公園緑地工事において、緑化によって表層部を保護するための植栽に係わる草花種子散布工に適用する。

2．数量算出項目

草花種子散布、草花植生マット等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、施工方法、施工場所、種子種類、肥料の有無、養生材の有無、マットの種類、マット規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

項目＼区分	施工方法	施工場所	種子種類	肥料の種類	養生材種類	マットの種類	マットの規格	単位	数量	備　考
草花種子散布	○	○	○	○	○	×	×	㎡		
草花植生マット	○	○	×	×	×	○	○	㎡		

（2）材料数量算出項目及び草花種子散布工区分一覧表

項　目＼草花種子散布工区分	草花種子散布	草花植生マット	単位	数　量	備　　考
草花種子散布	○	×	㎡		
種　子	○	×	kg		

肥　料	○	×	kg・ℓ		
養 生 材	○	×	kg・ℓ		
植生ﾏｯﾄ	×	○	㎡		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）肥料の量

肥料の量は、必要に応じて体積または、重量等に分け算出する。

（2）養生材の量

養生材の量は、必要に応じて体積または、重量等に分け算出する。

2．1．6　播種工

1．適用

公園緑地工事において、植物の種を播いて繁殖・育成する播種に係わる播種工に適用する。

2．数量算出項目

播種等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、施工方法、施工場所、種子種類、肥料の有無、養生材の有無とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	施工方法	施工場所	種子種類	肥料の種類	養生材種類	単位	数量	備考
播種	○	○	○	○	○	㎡		

（2）材料数量算出項目及び播種工区分一覧表

播種工区分 / 項目	播種	単位	数量	備考
播　種	○	㎡		
種　子	○	kg		
肥　料	○	kg・ℓ		
養生材	○	kg・ℓ		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記に方法によるものとする。

（1）肥料の量

肥料の量は、必要に応じて体積または、重量等に分け算出する。

（2）養生材の量

養生材の量は、必要に応じて体積または、重量等に分け算出する。

2．1．7　花壇植栽工

1．適用

公園緑地工事において、花卉植物を用い花壇等の植栽に係わる花壇植栽工に適用する。

２．数量算出項目

花壇植栽等を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、花壇植物の種類、規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	花壇植物 種類	花壇植物 規格	単位	数量	備考
花壇植栽	○	○	鉢		

（２）材料数量算出項目及び花壇植栽工区分一覧表

花壇植栽工区分 項目	花壇植栽	単位	数量	備考
植付	○	鉢		
花壇植物	○	鉢		

（２）花壇植物の種類区分

花壇植物の種類による区分は、植物名ごとに取りまとめる。

（３）花壇植物の規格区分

花壇植物の規格による区分は、花壇植物のコンテナ径ごとに取りまとめる。

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

２．１．８　樹木養生工

１．適用

公園緑地工事において、植付後の活着と成長促進を目的とした樹木の養生に係わる樹木養生工に適用する。

ただし、養生柵を施工する場合は本数量算出要領４．９．６柵工を適用し、支柱設置を施工する場合は本数量算出要領２．１植栽工を適用する。

２．数量算出項目

防風ネット、寒冷紗巻き、植穴透水層、空気管設置、マルチングA、マルチングB、防根シート、養生柵設置、支柱設置の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分／項目	種類	規格	単位	数量	備考
防風ネット	○	○	m		
寒冷紗巻き	○	○	本		
植穴透水層	○	○	本		
空気管設置	○	×	箇所		
マルチングA	○	○	㎡		
マルチングB	○	○	本		
防根シート	○	○	㎡		
養生柵設置	○	○	m		
支柱設置	○	×	基		

（2）材料数量算出項目及び樹木養生工区分一覧表

樹木養生工区分／項目	防風ネット	寒冷紗巻き	植穴透水層	空気管	マルチングA	マルチングB	防根シート	養生柵設置	支柱	単位	数量	備考
防風ネット	○	×	×	×	×	×	×		×	m		
寒冷紗巻き	×	○	×	×	×	×	×		×	本		
植穴透水層	×	×	○	×	×	×	×		×	本		
空気管設置	×	×	×	○	×	×	×		×	箇所		
マルチングA	×	×	×	×	○	×	×		×	㎡		
マルチングB	×	×	×	×	×	○	×		×	本		
防根シート	×	×	×	×	×	×	○		×	㎡		
養生柵設置	×	×	×	×	×	×	×	○	×	m		
支柱設置	×	×	×	×	×	×	×		○	基		

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

２．１．９　樹名板工

１．適用

公園緑地工事において、植物名称を解説する樹名板等に係わる樹名板工に適用する。

2．数量算出項目

埋込型樹名板、幹巻型樹名板等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分／項目	種類	規格	単位	数量	備考
埋込型樹名板	○	○	基		
幹巻型樹名板	○	○	枚		

（2）材料数量算出項目及び樹名板工区分一覧表

樹名板工区分／項目	埋込型樹名板	幹巻型樹名板	単位	数量	備考
樹名板設置	○	○	基・枚		
コンクリート	○	×	m^3		
基礎ブロック設置	○	×	個		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）等の数量は、必要に応じて算出する。

2．1．10　根囲い保護工

1．適用

公園緑地工事において、雨水の流入と踏圧防止を目的とした樹木の根回り養生等に係わる根囲い保護工に適用する。

2．数量算出項目

根囲い保護等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分／項目	種類	規格	単位	数量	備考
根囲い保護	○	○	基		

（2）材料数量算出項目及び根囲い保護工区分一覧表

項目＼根囲い保護工区分	根囲い保護	単位	数量	備考
根囲い保護設置	○	基		
基礎砕石・栗石	○	m^3		
均しコンクリート	○	m^3		
均しコンクリート型枠	○	m^2		
コンクリート	○	m^3		
型枠	○	m^2		
基礎ブロック設置	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は、必要に応じて算出する。

2．1．11　芝生保護工

1．適用

公園緑地工事において、雨水の流入と踏圧防止を目的とした芝生養生等に係わる芝生保護工に適用する。

2．数量算出項目

芝生プロテクター等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

項目＼区分	種類	規格	単位	数量	備考
芝生プロテクター	○	○	m^2		

（2）材料数量算出項目及び根囲い保護工区分一覧表

項目＼芝生保護工区分	芝生プロテクター	単位	数量	備考
芝生プロテクター設置	○	m^2		
基礎砕石	○	m^3		
モルタル	○	m^3		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

2．1．12　壁面緑化施設工

1．適用

公園緑地工事において、緑化資材による良好な景観や環境の整備及び施設の仕切、区画、保安等を目的とした施設の設置等に係わる壁面緑化施設工に適用する。

2．数量算出項目

壁面緑化フェンス、壁面緑化パネル、登はん補助資材、壁面緑化設備等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	種類	規格	単位	数量	備考
壁面緑化フェンス	○	○	m		
壁面緑化パネル	○	○	基		
登はん補助資材	○	○	㎡		
壁面緑化設備	○	○	式		

（2）材料数量算出項目及び壁面緑化施設工区分一覧表

壁面緑化施設工区分 / 項目	壁面緑化フェンス	壁面緑化パネル	登はん補助資材	壁面緑化設備	単位	数量	備考
壁面緑化フェンス	○	×	×	×	m		
壁面緑化パネル	×	○	×	×	基		
登はん補助資材	×	×	○	×	㎡		
壁面緑化設備	×	×	×	○	式		
基礎砕石・栗石	○	○	×	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	×	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	×	×	㎡		
コンクリート	○	○	×	×	m^3		
型枠	○	○	×	×	㎡		
鉄筋	○	○	×	×	t		
モルタル	○	○	×	×	m^3		
塗装仕上げ	○	○	×	×	㎡		
左官仕上げ	○	○	×	×	㎡		
基礎ブロック	○	○	×	×	個		
足場	○	○	○	○	掛㎡		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか 下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は、必要に応じて算出する。

２．２　移植工

２．２．１　根回し工

1．適用

公園緑地工事において、移植後の活着や生育を高めるため、移植に先立ち発根を促す根回し等に係わる根回し工に適用する。

2．数量算出項目

高中木根回し等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、樹木の規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	樹木規格	単位	数量	備考
高中木根回し	○	本		

注）単位の「本」は樹木１本当りとする。

（2）材料数量算出項目及び高中木根回し工区分一覧表

根回し工区分 / 項目	高中木根回し	単位	数量	備考
人力掘削	○	m^3		
埋戻し	○	m^3		
残土処分	○	m^3		
高中木根回し	○	本		

注）単位の「本」は樹木１本当りとする。

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

2．2．2　高木移植工

1．適用

公園緑地工事において、高木または植付時に高さの低い木でも将来高木に成長する樹木の移植等に係わる高木移植工に適用する。

2．数量算出項目

高木移植、樹木運搬、特殊機械掘取、特殊機械運搬等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、樹木規格、支柱種類、幹巻の有無、運搬距離、移植機械種類、移植機械規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	樹木規格	支柱種類	幹巻の有無	運搬距離	移植機械種類	移植機械規格	単位	数量	備考
高木移植	○	○	○	×	×	×	本		
樹木運搬	○	×	×	○	×	×	本		
特殊機械堀取	○	×	×	×	○	○	本		
特殊機械運搬	○	×	×	○	×	×	本		

注）単位の「本」は樹木１本当りとする。

（２）材料数量算出項目及び高木移植工区分一覧表

高木移植工区分 項　目	樹　木 移　植	樹　木 運　搬	移植機 械掘取	移植機 械運搬	単位	数　量	備　　考
掘取	○	×	×	×	本		
高木植栽	○	×	×	×	本		
幹巻	○	×	×	×	本		
支柱	○	×	×	×	本・組		
客土	○	×	×	×	m^3		
肥料	○	×	×	×	kg・ℓ		
運搬	×	○	×	×	本		
特殊機械堀取	×	×	○	×	本		
特殊機械運搬	×	×	×	○	本		

注）樹木を自工区内の本植地・仮植地へ運搬または、工事区間外へ搬出する場合は、運搬距離についても算出する。

（３）樹木の規格区分

樹木の規格による区分は、以下のとおりとする。

植栽工	高　木	幹周１５㎝未満
		幹周１５㎝以上２５㎝未満
		幹周２５㎝以上４０㎝未満
		幹周４０㎝以上６０㎝未満
		幹周６０㎝以上９０㎝未満

（４）樹木の運搬区分

樹木の運搬による区分は、以下のとおりとする。

運搬	高　木	幹周１５㎝未満
		幹周１５㎝以上２５㎝未満
		幹周２５㎝以上４０㎝未満
		幹周４０㎝以上６０㎝未満
		幹周６０㎝以上９０㎝未満
	運　搬 距　離	運搬距離５㎞まで
		運搬距離５㎞を超え５㎞を増すごと

（５）支柱の種類区分

支柱の種類による区分は、以下のとおりとする。

支　柱	高　木	二脚鳥居　添木付　　幹周３０㎝未満
		二脚鳥居　添木無　　幹周２０㎝以上３０㎝未満
		三脚鳥居　　幹周３０㎝以上６０㎝未満
		十字鳥居　　幹周３０㎝以上６０㎝未満
		二脚鳥居組合せ　　幹周４０㎝以上７５㎝未満
		八ッ掛（三脚）（竹）　幹周２０㎝未満
		八ッ掛（丸太 L=4m）　幹周２０㎝以上３５㎝未満
		八ッ掛（丸太 L=6～7m）　幹周３０㎝以上７５㎝未満
		地下埋設型支柱

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）掘取の量

樹木の掘取は必要に応じて、下記に分け算出する。

掘取工	高　木	幹周１５cm未満
		幹周１５cm以上２５cm未満
		幹周２５cm以上４０cm未満
		幹周４０cm以上６０cm未満
		幹周６０cm以上９０cm未満

（２）客土の量

客土の量は、必要に応じて体積を算出する。

（３）肥料の量

肥料の量は、必要に応じて体積または、重量等を算出する。

２．２．３　根株移植工

１．適用

公園緑地工事において、森づくりの視点で早期に自然的で安定した樹林構成を図るため、成木のみならず森を構成する林床の多様な生態的可能性を根株と共にセットで行う移植等に係わる根株移植工に適用する。

ただし、特殊機械掘取、特殊機械運搬を施工する場合は本数量算出要領２．２．２高木移植工を適用する。

２．数量算出項目

根株移植、根株運搬等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、樹木規格、運搬距離とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分／項目	樹木規格	運搬距離	単位	数量	備考
根株移植	○	×	本		
根株運搬	×	○	本		

注）単位の「本」は根株１本当りとする。

（２）材料数量算出項目及び根株移植工区分一覧表

根株移植工区分／項目	根株移植	根株運搬	単位	数量	備考
根株掘取	○	×	本		
根株植栽	○	×	本		
客土	○	×	m^3		
土壌改良材	○	×	kg・ℓ		
運搬	×	○	本		

注）１．単位の「本」は根株１本当りとする。

２．根株を自工区内の本植地・仮植地へ運搬または、工事区間外へ搬出する場合は、運搬距

離についても算出する。

（３）樹木の規格区分

項目別の樹木の規格による区分は、以下のとおりとする。

規　格	高　木	幹周１５cm 未満
		幹周１５cm 以上２５cm 未満
		幹周２５cm 以上４０cm 未満
		幹周４０cm 以上６０cm 未満
		幹周６０cm 以上９０cm 未満

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）客土の量

客土の量は、必要に応じて体積を算出する。

（２）土壌改良材の量

土壌改良材の量は、必要に応じて体積または、重量等に分け算出する。

２．２．４　中低木移植工

１．適用

公園緑地工事において、植付後も中低木の状態で高木に成長しない樹木の移植等に係わる中低木移植工に適用する。

２．数量算出項目

中低木移植、樹木運搬等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、樹木規格、支柱の種類、運搬距離とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	樹木規格	支柱種類	運搬距離	単位	数量	備考
中低木移植	○	○	×	本		
樹木運搬	○	×	○	本		

注）　単位の「本」は樹木１本当りとする。

（２）材料数量算出項目及び中低木移植工区分一覧表

中低木移植工区分 / 項目	中低木移植	樹木運搬	単位	数量	備考
掘取	○	×	本		
中低木植栽	○	×	本		
支柱	○	×	本･m･組		
客土	○	×	m^3		
肥料	○	×	kg・ℓ		
運搬	×	○	本		

注）　樹木を自工区内の本植地・仮植地へ運搬または、工事区間外へ搬出する場合は、運搬距離についても算出する。

（３）樹木の種類区分

樹木の種類による区分は、植物名ごとに取りまとめる。

（４）樹木の規格区分

樹木の規格による区分は、以下のとおりとする。

移植工	中低木	樹高５０㎝未満
		樹高５０㎝以上１００㎝未満
		樹高１００㎝以上２００㎝未満
		樹高２００㎝以上３００㎝未満

注）低木には、株物、一本立を含む。

（５）樹木の運搬区分

樹木の運搬による区分は、以下のとおりとする。

運搬	中低木	樹高５０㎝未満
		樹高５０㎝以上１００㎝未満
		樹高１００㎝以上２００㎝未満
		樹高２００㎝以上３００㎝未満
	運　搬 距　離	運搬距離５㎞まで
		運搬距離５㎞を超え５㎞を増すごと

（６）支柱の種類区分

支柱の種類による区分は、以下のとおりとする。

支　柱	中　木	二脚鳥居　添木付	樹高２５０㎝以上
		八ッ掛（竹）	樹高１００㎝以上
		添柱形（１本形）	樹高１００㎝以上
		布掛（竹）	樹高１００㎝以上
		生垣形	樹高１００㎝以上
		生垣形	樹高６０㎝以上１００㎝未満
		地下埋設型支柱	

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）掘取の量

樹木の掘取は必要に応じて、下記に分け算出する。

移植工	中低木	樹高５０㎝未満
		樹高５０㎝以上１００㎝未満
		樹高１００㎝以上２００㎝未満
		樹高２００㎝以上３００㎝未満

（２）客土の量

客土の量は、必要に応じて体積を算出する。

（３）肥料の量

肥料の量は、必要に応じて体積または、重量等を算出する。

２．２．５　地被類移植工

1．適用

公園緑地において、丈が低く花卉や低木に属さない植物の移植等に係わる地被類移植工に適用する。

2．数量算出項目

地被類移植、地被類運搬等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、植物の種類、植物の規格、運搬距離、客土の有無、土壌改良材の有無とする。

（1）数量算出項目区分一覧表

区分／項目	植物種類	植物規格	客土有無	運搬距離	土壌改良材有無	単位	数量	備考
地被類移植	○	○	○	×	○	本		
地被類運搬	×	○	×	○	×	本		

注）1．単位の「本」は地被類1本当りとする。

（2）材料数量算出項目及び地被類移植区分一覧表

地被類移植工区分／項目	地被類移植	地被類運搬	単位	数量	備考
掘取	○	×	本		
地被類植栽	○	×	本		
客土	○	×	m^3		
土壌改良材	○	×	kg・ℓ		
運搬	×	○	本		

（2）植物の種類区分

項目別の植物の種類による区分は、植物名ごとに取りまとめる。

（3）植物の形状・寸法区分

項目別の植物の形状・寸法による区分は、形状・寸法ごとに取りまとめる。

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

2．2．6　樹木養生工

1．適用

公園緑地工事において、植付後の活着と成長促進を目的とした樹木の養生に係わる樹木養生工に適用する。
ただし、本数量算出要領2．1．8樹木養生工を適用する。

２．２．７　樹名板工

１．適用

公園緑地工事において、植物名称を解説する樹名板等に係わる樹名板工に適用する。
ただし、本数量算出要領２．１．９樹名板工を適用する。

２．２．８　根囲い保護工

１．適用

公園緑地工事において、雨水の流入と踏圧防止を目的とした樹木の根回り養生等に係わる根囲い保護工に適用する。
ただし、本数量算出要領２．１．10 根囲い保護工を適用する。

２．３　公園施設等撤去・移設工

２．３．１　公園施設撤去工

１．適用

公園緑地工事において、既存施設構造物等の撤去等に係わる公園施設撤去工に適用する。
ただし、本数量算出要領１．８．１公園施設撤去工を適用する。

２．３．２　移設工

１．適用

公園緑地工事において、既存施設構造物等の移設等に係わる移設工に適用する。
ただし、本数量算出要領１．８．２移設工を適用する。

２．３．３ 樹木伐採・抜根工

１．適用

公園緑地工事において、既存樹木の伐採等に係わる樹木伐採・抜根工に適用する。
ただし、本数量算出要領１．８．３樹木伐採・伐根工を適用する。

２．３．４　工事支障木対策工

１．適用

公園緑地工事において、工事の支障となる枝や葉の剪定に係わる工事支障木対策工に適用する。
ただし、本数量算出要領１．８．４工事支障木対策工を適用する。

２．３．５　発生材再利用工

１．適用

公園緑地工事において、施設撤去及び伐採等により発生した材料の新しい材料への加工、再生等に係わる発生材再利用工に適用する。
ただし、本数量算出要領１．８．５発生材再利用工を適用する。

3章　　緑 地 育 成

3.1　植栽基盤改良工
　3.1.1　透水層工
　3.1.2　土層改良工
　3.1.3　小規模土性改良工
　3.1.4　残土処理工

3.2　樹木整姿工
　3.2.1　高中木整姿工
　3.2.2　中木刈込工
　3.2.3　低木刈込工
　3.2.4　仕立物刈込工

3.3　樹木育成工
　3.3.1　病害虫防除工
　3.3.2　樹勢回復工
　3.3.3　樹木養生工
　3.3.4　支柱補修工
　3.3.5　樹木矯正工
　3.3.6　樹木伐採・抜根工

3.4　芝生地育成工
　3.4.1　芝生育成工

3.5　樹木冬期対策工
　3.5.1　高木雪囲工
　3.5.2　中低木雪囲工
　3.5.3　樹木防寒工

3.6　発生材等処理工
　3.6.1　発生材処理工
　3.6.2　残土処理工

3.7　公園施設等撤去・移設工
　3.7.1　公園施設撤去工
　3.7.2　移設工
　3.7.3　樹木伐採・抜根工
　3.7.4　工事支障木対策工
　3.7.5　発生材再利用工

３.１　植栽基盤改良工

３．１．１　透水層工

１．適用

公園緑地工事において、植栽基盤中の停滞水を排水する透水層等に係わる透水層工に適用する。

２．数量算出項目

暗渠排水等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、規格、種類とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分／項目	規格	種類	単位	数量	備考
暗渠排水	○	○	m		

（２）材料数量算出項目及び透水層工区分一覧表

透水層工区分／項目	暗渠排水	単位	数量	備考
掘削	○	m^3		
土砂購入	○	m^3		
遮水・止水シート張	×	m^2		
板柵設置	×	m^2		
埋戻し	○	m^3		
遮断砂	○	m^3		
排水材	○	m^3・袋・ℓ		
排水管	○	m		
透水シート	○	m^2		
フィルター材	○	m^3		

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）掘削の量

掘削の量は、必要に応じて土砂掘削、土砂片切掘削、小規模土工、土砂人力掘削、縦穴掘削等に分け算出する。

（２）基面整正の量

基面整正の量は必要に応じて算出する。

（３）排水材の量

排水材の量は、必要に応じて種類別に体積・容積・容量等に分け算出する。

（４）排水管の量

排水管の量は、必要に応じて硬質ポリ塩化ビニル有孔管、暗渠排水管、空気管等に分け算出する。

３．１．２ 土層改良工

１．適用

公園緑地工事において、植栽基盤の耕起を行い土中の空気量を高めると共に、土壌の過湿等を緩和する土壌改良等に係わる土層改良工に適用する。

２．数量算出項目

普通耕、深耕、混層耕等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、規格、種類、深さとする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	規格	種類	深さ	単位	数量	備考
普通耕	○	○	×	m^2		
深耕	○	○	×	m^2		
混層耕	○	○	×	m^2		
土壌入替え	×	×	○	m^3		
エアレーション	○	○	×	m^2		
圧縮空気破砕	○	○	×	m^2		

（２）材料数量算出項目及び土層改良工区分一覧表

土層改良工区分 / 項目	普通耕	深耕	混層耕	土壌入替え	ｴｱﾚｰｼｮﾝ	圧縮空気破砕	単位	数量	備考
土層改良面積	○	○	○	○	○	○	m^3・m^2		
土層改良量	○	○	○	○	×	×	m^3・m^2		

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）土層改良面積、土層改良の量

土層改良面積・土層改良の量は、必要に応じて種類・規格等に分け算出する。

３．１．３　小規模土性改良工

１．適用

公園緑地工事において、植栽基盤土壌の物理性・化学性を改良する土壌改良等に係わる土性改良工に適用する。

２．数量算出項目

施肥等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	規　　格	種　　類	単位	数　量	備　　考
土壌改良材混入	×	○	㎡		
施肥Ｂ	○	○	㎡		

（2）材料数量算出項目及び小規模土性改良工区分一覧表

土性改良工 区分 項　目	土壌改良材混入	施肥Ｂ	単位	数 量	備　　考
人力かき均し	○	○	m^3・㎡		
土性改良材料	○	×	m^3		
改良材投入	○	×	m^3		
施　肥Ｂ	×	○	㎡		
肥　料	×	○	kg・ℓ		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）土性改良材料の量

土性改良材料の量は、有機系改良材、高分子系改良材、パーライト系改良材等に分け算出する。

（2）肥料の量

肥料の量は、種類・規格別に、重量・容積等に分け算出する。

3．1．4 残土処理工

1．適用

公園緑地工事において、植栽基盤土壌の物理性・化学性を改良する土壌改良等に係わる残土処理工に適用する。 ただし、残土処理を施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工」を適用する。

3.2　樹木整姿工

3．2．1　高中木整姿工

1．適用

公園緑地工事において、高中木の徒長した枝や葉を剪定により樹形を整える整姿、枝降ろし等に係わる高中木整姿工に適用する。

2．数量算出項目

落葉樹基本剪定、常緑樹基本剪定、針葉樹基本剪定等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、樹木規格、枝透かし量、作業難易度、チェーンソーの規格、ロープワークの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分／項目	樹木規格	枝透かし量	作業難易度	作業内容	チェーンソーの規格	ロープワークの有無	高所作業車使用の有無	高所作業車の作業床高	クレーン使用の有無	単位	数量	備考
落葉樹基本剪定	○	○	○	×	×	○	○	○	×	本		
常緑樹基本剪定	○	○	○	×	×	○	○	○	×	本		
針葉樹基本剪定	○	○	○	×	×	○	○	○	×	本		
落葉樹整姿剪定	○	○	○	×	×	○	○	○	×	本		
常緑樹整姿剪定	○	○	○	×	×	○	○	○	×	本		
針葉樹整姿剪定	○	○	○	×	×	○	○	○	×	本		
特殊樹木整姿剪定	○	○	○	×	×	○	○	○	×	本		
フジ棚整姿剪定	○	○	○	×	×	×	×	×	×	㎡		
マツ整姿剪定	○	×	×	○	×	×	×	×	×	本		
枝降ろし	○	×	○	×	○	○	○	○	○	本		
胴吹き枝・ヤゴ取り	○	○	×	×	×	×	×	×	×	本		
支障枝剪定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	本		

（２）材料数量算出項目及び高中木整姿工区分一覧表

高中木整姿工区分／項　目	落葉樹基本剪定	常緑樹基本剪定	針葉樹基本剪定	落葉樹整姿剪定	常緑樹整姿剪定	針葉樹整姿剪定	特殊樹木整姿剪定	フジ棚整姿剪定	マツ整姿剪定	枝降ろし	胴吹き枝・ヤゴ取り	支障枝剪定	単位	数量	備考
剪定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本		
ロープワーク	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	本		
高所作業車運転	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	本		
クレーン運転	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	本		

（3）樹木の規格区分

項目別の樹木の規格による区分は、以下の通りとする。

高中木整姿工	高　木	幹周 15cm 未満
		幹周 15cm 以上 30cm 未満
		幹周 30cm 以上 45cm 未満
		幹周 45cm 以上 60cm 未満
		幹周 60cm 以上 90cm 未満
		幹周 90 cm以上 120 cm未満
		幹周 120 cm以上 150 cm未満
		幹周 150 cm以上 180 cm未満
		幹周 180 cm以上 210 cm未満
		幹周 210 cm以上 240 cm未満
		幹周 240 cm以上 270 cm未満
		幹周 270 cm以上 300 cm未満

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

3．2．2　中木刈込工

1．適用

公園緑地工事において、中木や生垣の徒長した枝や葉を刈り込みにより樹形を整える整姿等に係わる中木刈込工に適用する。

2．数量算出項目

中木刈込、中木機械刈込、生垣刈込、生垣機械刈込等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、樹木規格、刈込み量、作業難易度、刈込機種類、刈込機規格とする。

（1）数量算出項目区分一覧表

区分 / 項目	樹木規格	刈込み量	作業難易度	刈込機械種類	刈込機械規格	単位	数量	備考
中木刈込	○	○	○	×	×	本		
中木機械刈込	○	○	○	○	○	本		
生垣刈込	○	×	○	×	×	m		
生垣機械刈込	○	×	○	○	○	m		

（2）材料数量算出項目及び中木刈込工区分一覧表

中木刈込工区分 / 項目	中木刈込	中木機械刈込	生垣刈込	生垣機械刈込	単位	数　量	備　　考
刈込	○	○	○	○	m・本		

（3）樹木の規格区分

項目別の樹木の規格による区分は、以下の通りとする。

中木刈込工	中木刈込 中木機械刈込	樹高 100cm 未満
		樹高 100cm 以上 150cm 未満
		樹高 150cm 以上 200cm 未満
		樹高 200cm 以上 250cm 未満
		樹高 250cm 以上
	生垣刈込 生垣機械刈込	樹高 50cm 未満
		樹高 50cm 以上 100cm 未満
		樹高 100cm 以上 150cm 未満
		樹高 150cm 以上 200cm 未満
		樹高 200cm 以上

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

3．2．3 低木刈込工

1．適用

公園緑地工事において、低木の徒長した枝や葉を刈り込みにより樹形を整える整姿等に係わる低木刈込工に適用する。

2．数量算出項目

低木刈込、低木機械刈込等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、樹木の規格、刈込み量、作業難易度、刈込機械種類・規格とする。

（1）数量算出項目区分一覧表

区分 / 項目	樹木規格	刈込み量	作業難易度	刈込機械種類	刈込機械規格	単位	数量	備考
低木刈込 A	○	○	○	×	×	本		
低木刈込 B	○	○	○	×	×	㎡		
低木機械刈込 A	○	○	○	○	○	本		
低木機械刈込 B	○	○	○	○	○	㎡		

（2）材料数量算出項目及び低木刈込工区分一覧表

低木刈込工区分 / 項目	低木刈込 A	低木刈込 B	低木機械刈込 A	低木機械刈込 B	単位	数量	備考
刈込	○	○	○	○	㎡・本		

（3）樹木の規格区分

項目別の樹木の規格による区分は、以下の通りとする。

低木刈込工	樹高 30cm 未満
	樹高 30cm 以上 60cm 未満
	樹高 60cm 以上 100cm 未満
	樹高 100cm 以上 150cm 未満
	樹高 150cm 以上

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

3．2．4 仕立物刈込工

1．適用

公園緑地工事において、仕立物の徒長した枝や葉を刈り込みにより樹形を整える整姿等に係わる仕立物刈込工に適用する。

2．数量算出項目

仕立物刈込等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、仕立物の種類、樹木規格、刈込機械使用の有無、刈込機械種類・規格、刈込み量、作業難易度とする。

（1）数量算出項目区分一覧表

区分／項目	仕立物の種類	樹木規格	刈込機械使用の有無	刈込機械種類	刈込機械規格	刈込み量	作業難易度	単位	数量	備考
仕立物刈込	○	○	○	○	○	○	○	本		

（2）材料数量算出項目及び仕立物刈込工区分一覧表

中木刈込工区分／項　目	仕立物刈込	単位	数　量	備　考
刈　込	○	本		

（3）樹木の規格区分

項目別の樹木の規格による区分は、以下の通りとする。

仕立物刈込工	樹高 50㎝ 未満
	樹高 50㎝ 以上 100㎝ 未満
	樹高 100㎝ 以上 150㎝ 未満
	樹高 150㎝ 以上 200㎝ 未満
	樹高 200㎝ 以上 250㎝ 未満
	樹高 250㎝ 以上

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

3.3　樹木育成工

3．3．1 病害虫防除工

1．適用

公園緑地工事において、植栽の病害虫の防除等に係わる病害虫防除工に適用する。

2．数量算出項目

被害枝切除、こも巻き、薬剤部分施用等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、樹木規格、チェーンソーの規格、ロープワークの有無、高所作業車使用の有無、薬剤の種類とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	樹木規格	ﾁｪｰﾝｿｰの規格	ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無	高所作業車使用の有無	高所作業車の作業床高	薬剤の種類	単位	数量	備考
被害枝切除	○	○	○	○	○	×	本		
こも巻き	○	×	×	×	×	×	本		
こも巻き撤去	○	×	×	×	×	×	本		
薬剤部分施用	×	×	×	×	×	○	本		
薬剤全面施用 A	×	×	×	×	×	○	本		
薬剤全面施用 B	×	×	×	×	×	○	㎡		

（２）材料数量算出項目及び病害虫防除工区分一覧表

病害虫防除工区分 / 項目	被害枝切除	こも巻き	こも巻き撤去	薬剤部分施用	薬剤全面施用 A	薬剤全面施用 B	単位	数量	備考
樹木規格	○	×	×	×	×	×	本		
ロープワーク	○	×	×	×	×	×	本		
高所作業車運転	○	×	×	×	×	×	本		
こも	×	○	×	×	×	×	枚		
薬剤	×	×	×	○	○	○	ℓ		
展着剤	×	×	×	○	○	○	ℓ		

（3）樹木の規格区分

項目別の樹木の規格による区分は、以下の通りとする。

病害虫防除工	高　木	幹周 15cm 未満
		幹周 15cm 以上 30cm 未満
		幹周 30cm 以上 45cm 未満
		幹周 45cm 以上 60cm 未満
		幹周 60cm 以上 90cm 未満
		幹周 90 cm以上 120 cm未満
		幹周 120 cm以上 150 cm未満
		幹周 150 cm以上 180 cm未満
		幹周 180 cm以上 210 cm未満
		幹周 210 cm以上 240 cm未満
		幹周 240 cm以上 270 cm未満
		幹周 270 cm以上 300 cm未満
	中木	樹高 100cm 未満
		樹高 100cm 以上 150cm 未満
		樹高 150cm 以上 200cm 未満
		樹高 200cm 以上 250cm 未満
		樹高 250cm 以上
	生垣	樹高 50cm 未満
		樹高 50cm 以上 100cm 未満
		樹高 100cm 以上 150cm 未満
		樹高 150cm 以上 200cm 未満
		樹高 200cm 以上
	低木	樹高 30cm 未満
		樹高 30cm 以上 60cm 未満
		樹高 60cm 以上 100cm 未満
		樹高 100cm 以上 150cm 未満
		樹高 150cm 以上

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）薬剤の量

薬剤の量は、薬剤の種類等に分け算出する。

3．3．2 樹勢回復工

1．適用

公園緑地工事において、病気や外傷により衰退した樹木の樹勢回復等に係わる樹勢回復工に適用する。

2．数量算出項目

施肥 A、樹勢回復、樹木修復等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、規格、樹勢回復材の種類、樹木修復の方法とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	肥料の種類	肥料の規格	樹勢回復剤の種類	樹木修復方 法	単位	数　量	備　　考
施肥Ａ	○	○	×	×	本		
施肥Ｂ	○	○	×	×	㎡		
樹勢回復	×	×	○	×	本		
樹木修復	×	×	×	○	本		

（２）材料数量算出項目及び樹勢回復工区分一覧表

樹勢回復工区分 項　目	施肥Ａ	施肥Ｂ	樹木回復	樹木修復	単位	数 量	備　考
人力かき均し	○	○	×	×			
肥料	○	○	○	×	kg・ℓ		
樹勢回復剤	×	×	○	×	kg・ℓ		
樹木修復材	×	×	×	○	本		

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

（１）肥料の量

肥料の量は、種類・規格別に、重量・容積等に分け算出する。

（２）樹勢回復剤の量

樹勢回復剤の量は、種類・規格別に、重量・容積等に分け算出する。

３．３．３ 樹木養生工

１．適用

公園緑地工事において、植付後の活着と成長促進を目的とした樹木の養生に係わる樹木養生工に適用する。ただし、養生柵を施工する場合は本数量算出要領４．９．６柵工を適用し。~~支柱設置を施工する場合は本数量算出要領２．１植栽工を適用する。~~

２．数量算出項目

寒冷紗巻き、空気管設置、マルチング、防根シート、幹巻等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、種類、規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	樹木規格	規　　格	種　　類	単位	数　量	備　　考
寒冷紗巻き	○	○	○	本		
空気管設置	×	○	○	箇所		
ﾏﾙﾁﾝｸﾞ A	×	○	○	㎡		
ﾏﾙﾁﾝｸﾞ B	×	○	○	本		
防根シート	×	○	○	㎡		
幹巻	○	○	○	本		

（２）材料数量算出項目及び樹木養生工区分一覧表

樹木養生工 区分 項　目	寒冷紗巻き	空気管設置	ﾏﾙﾁﾝｸﾞ A	ﾏﾙﾁﾝｸﾞ B	防根シート	幹巻	単位	数 量	備考
寒冷紗巻き	○	×	×	×	×	×	本		
空気管設置	×	○	×	×	×	×	箇所		
ﾏﾙﾁﾝｸﾞ A	×	×	○	×	×	×	㎡・本		
ﾏﾙﾁﾝｸﾞ B	×	×	×	○	×	×	㎡		
防根シート	×	×	×	×	○	×	本		
幹巻	×	×	×	×	×	○	本		

（3）樹木の規格区分

項目別の樹木の規格による区分は、以下の通りとする。

樹木養生工	高　木	幹周 15cm 未満
		幹周 15cm 以上 30cm 未満
		幹周 30cm 以上 45cm 未満
		幹周 45cm 以上 60cm 未満
		幹周 60cm 以上 90cm 未満
		幹周 90 cm以上 120 cm未満
		幹周 120 cm以上 150 cm未満
		幹周 150 cm以上 180 cm未満
		幹周 180 cm以上 210 cm未満
		幹周 210 cm以上 240 cm未満
		幹周 240 cm以上 270 cm未満
		幹周 270 cm以上 300 cm未満
	中木	樹高 100cm 未満
		樹高 100cm 以上 150cm 未満
		樹高 150cm 以上 200cm 未満
		樹高 200cm 以上 250cm 未満
		樹高 250cm 以上
	生垣	樹高 50cm 未満
		樹高 50cm 以上 100cm 未満
		樹高 100cm 以上 150cm 未満
		樹高 150cm 以上 200cm 未満
		樹高 200cm 以上
	低木	樹高 30cm 未満
		樹高 30cm 以上 60cm 未満
		樹高 60cm 以上 100cm 未満
		樹高 100cm 以上 150cm 未満
		樹高 150cm 以上

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

3．3．4 支柱補修工

1．適用

公園緑地工事において、樹木の養生に係わる支柱補修工に適用する。

2．数量算出項目

支柱取替、結束直し、支柱撤去の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	種類	単位	数　量	備　　考
支柱取替	○	基		
結束直し	○	基		
支柱撤去	○	基		

（2）材料数量算出項目及び支柱補修工区分一覧表

支柱補修工 区分 項　目	支柱取替	結束直し	支柱撤去	単位	数 量	備　考
支柱材	○	×	×	基		
支柱結束材	×	○	×	式		
支柱撤去廃材	×	×	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）支柱撤去の量

支柱撤去の量は、必要に応じて支柱の種類・規格等に分け算出する。

3．3．5 樹木矯正工

1．適用

公園緑地工事において、樹木の矯正に係わる樹木矯正工に適用する。

2．数量算出項目

根上がり矯正、倒木復旧、半倒木復旧等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、樹木規格、人力・機械施工の選択、支柱の種類、支柱の規格、幹巻の有無、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類、ｸﾚｰﾝの規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	樹木規格	人力・機械施工の選択	支柱の種類	支柱の規格	幹巻の有無	ｸﾚｰﾝ使用の有無	ｸﾚｰﾝの種類	ｸﾚｰﾝの規格	単位	数量	備考
根上り矯正	×	×	×	×	×	×	×	×	本		
倒木復旧	○	○	○	○	○	○	○	○	本		
半倒木復旧	○	○	○	○	×	○	○	○	本		

（2）材料数量算出項目及び樹木矯正工区分一覧表

樹木矯正工区分 ＼ 項　目	根上り矯正	倒木復旧	半倒木復旧	単 位	数 量	備　考
支柱	×	○	○	本		
ｸﾚｰﾝ車運転	×	○	○	h・日		

（3）樹木の規格区分

項目別の樹木の規格による区分は、以下の通りとする。

樹木矯正工	高　木	幹周 15cm 未満
		幹周 15cm 以上 30cm 未満
		幹周 30cm 以上 45cm 未満
		幹周 45cm 以上 60cm 未満
		幹周 60cm 以上 90cm 未満
		幹周 90 cm以上 120 cm未満
		幹周 120 cm以上 150 cm未満
		幹周 150 cm以上 180 cm未満
		幹周 180 cm以上 210 cm未満
		幹周 210 cm以上 240 cm未満
		幹周 240 cm以上 270 cm未満
		幹周 270 cm以上 300 cm未満
	中木	樹高 100cm 未満
		樹高 100cm 以上 150cm 未満
		樹高 150cm 以上 200cm 未満
		樹高 200cm 以上 250cm 未満
		樹高 250cm 以上

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

3．3．6 樹木伐採・抜根工

1．適用

公園緑地工事において、既存樹木の伐採等に係わる樹木伐採・抜根工に適用する。
ただし、本数量算出要領1．8．3樹木伐採・抜根工を適用する。

3.4　芝生地育成工

3．4．1　芝生育成工

1．適用

公園緑地工事において、芝生を育成に係わる芝生育成工等に適用する。

2．数量算出項目

芝刈り、縁切、目土掛、施肥、ブラッシング、エアレーション、人力抜根除草等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、作業条件、地形条件、刈込回数、使用機材の種類・規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	機材の種類	機材の規格	作業条件	地形条件	密刈込回数	飛散防止措置の有無	単位	数量	備考
芝機械刈り	○	○	○	○	○	○	㎡		
芝人力刈り	×	×	×	○	○	×	㎡		
縁切	×	×	×	×	×	×	m		
目土掛	×	×	×	×	×	×	㎡		
施肥Ｂ	×	×	×	×	×	×	㎡		
ブラッシング	×	×	×	×	×	×	㎡		
エアレーション	○	○	×	×	×	×	㎡		
人力抜根除草	×	×	×	×	×	×	㎡		

（2）材料数量算出項目及び芝生育成工区分一覧表

芝生育成工区分 項　　目	芝機械刈り	芝人力刈り	縁切	目土掛	施肥Ｂ	ブラッシング	エアレーション	人力抜根除草	単位	数量	備考
目土	×	×	×	○	×	×	×	×	㎡		
肥料	×	×	×	×	○	×	×	×	㎡		
使用機材運転	○	×	×	×	×	○	○	×	㎡		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

3.5　樹木冬期対策工

3．5．1 高木雪囲工

1．適用

公園緑地工事において、冬期の積雪による高木の折損、倒伏、傾斜等の被害防止を図る幹吊り等を行う高木雪囲工に適用する。

2．数量算出項目

幹吊り、枝吊り等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、樹木規格、撤去・再利用区分とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	樹木規格	撤去・再利用の区分	単位	数　量	備　　考
幹吊り	○	○	本		
枝吊り	○	○	本		

（2）材料数量算出項目及び高木雪囲工区分一覧表

高木雪囲工区分 項　目	幹吊り	枝吊り	単位	数　量	備　　考
丸太	○	○	本		
梢丸太	○	○	本		
竹	×	○	本		
わら縄	○	○	巻・m		

（3）樹木の規格区分

項目別の樹木の規格による区分は、以下の通りとする。

高木雪囲工	高　木	幹周 15㎝ 未満
		幹周 15㎝ 以上 30㎝ 未満
		幹周 30㎝ 以上 45㎝ 未満
		幹周 45㎝ 以上 60㎝ 未満
		幹周 60㎝ 以上 90㎝ 未満
		幹周 90 ㎝以上 120 ㎝未満
		幹周 120 ㎝以上 150 ㎝未満
		幹周 150 ㎝以上 180 ㎝未満
		幹周 180 ㎝以上 210 ㎝未満
		幹周 210 ㎝以上 240 ㎝未満
		幹周 240 ㎝以上 270 ㎝未満
		幹周 270 ㎝以上 300 ㎝未満

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

3．5．2　中低木雪囲工

1．適用

公園緑地工事において、冬期の積雪による中低木の折損、倒伏、傾斜等の被害防止を図る縄巻き等を行う中低木雪囲工に適用する。

2．数量算出項目

縄巻き、竹囲い、屋根囲い等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、樹木規格、撤去・再利用区分とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	樹木規格	使用材料の種類	撤去・再利用の区分	単位	数　量	備　　考
縄巻き	○	×	×	本		
竹囲い	○	×	○	本		
屋根囲い	○	○	○	㎡		
板囲い	○	×	○	m		

（2）材料数量算出項目及び中低木雪囲工区分一覧表

中低木雪囲工区分 項目	縄巻き	竹囲い	屋根囲い	板囲い	単位	数　量	備　考
角材	○	○	○	○	本・m3		
板材	×	×	○	○	本・m3		
杭丸太	×	○	○	○	本		
竹	○	○	○	×	本		
わら縄	○	○	×	×	巻・m		
ムシロ	○	×	×	×	枚		
わら	○	×	×	×	束		

（3）樹木の規格区分

項目別の樹木の規格による区分は、以下の通りとする。

樹木養生工	中木	樹高 100㎝ 未満
		樹高 100㎝ 以上 150㎝ 未満
		樹高 150㎝ 以上 200㎝ 未満
		樹高 200㎝ 以上 250㎝ 未満
		樹高 250㎝ 以上
	生垣	樹高 50㎝ 未満
		樹高 50㎝ 以上 100㎝ 未満
		樹高 100㎝ 以上 150㎝ 未満
		樹高 150㎝ 以上 200㎝ 未満
		樹高 200㎝ 以上
	低木	樹高 30㎝ 未満
		樹高 30㎝ 以上 60㎝ 未満
		樹高 60㎝ 以上 100㎝ 未満
		樹高 100㎝ 以上 150㎝ 未満
		樹高 150㎝ 以上

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

3．5．3　樹木防寒工

1．適用

公園緑地工事において、冬期の積雪による樹木の折損、倒伏、傾斜等の被害防止を図る藁巻等を行う樹木防寒工に適用する。

2．数量算出項目

藁巻、藁ぼっち等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、樹木規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	規　　格	株立ち本数	単位	数　量	備　　考
藁巻	○	○	本		
藁ぼっち	×	×	本		

（2）材料数量算出項目及び中低木雪囲工区分一覧表

中低木雪囲工区分 ＼ 項目	藁巻き	藁ぼっち	単位	数　量	備　　考
竹	×	○	本		
わら縄	○	○	巻・m		
ムシロ	○	×	枚		
わら	○	○	束		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする

3.6　発生材等処理工

3．6．1　発生材処理工

1．適用

公園緑地工事において、施設撤去及び伐採等により発生した材料の処理等に係わる発生材処理工に適用する。
ただし、殻運搬を施工する場合は「第１編（共通編）１０章 構造物取壊し工 10.5 殻運搬」を適用する。

3．6．2 残土処理工

1．適用

公園緑地工事において、施設撤去及び伐採等により発生した材料の処理等に係わる残土処理工に適用する。
ただし、残土処理を施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工」を適用する。

3．7　公園施設等撤去・移設工

3．7．1　公園施設撤去工

1．適用

公園緑地工事において、既存施設構造物等の撤去等に係わる公園施設撤去工に適用する。
ただし、本数量算出要領１．８．１公園施設撤去工を適用する。

3．7．2　移設工

1．適用

公園緑地工事において、既存施設構造物等の移設等に係わる移設工に適用する。
ただし、本数量算出要領１．８．２移設工を適用する。

3．7．3 樹木伐採・抜根工

1．適用

公園緑地工事において、既存樹木の伐採等に係わる樹木伐採・抜根工に適用する。
ただし、本数量算出要領１．８．３樹木伐採・伐根工を適用する。

３．７．４　工事支障木対策工

１．適用

　公園緑地工事において、工事の支障となる枝や葉の剪定に係わる工事支障木対策工に適用する。
　ただし、本数量算出要領１．８．４工事支障木対策工を適用する。

３．７．５　発生材再利用工

１．適用

　公園緑地工事において、施設撤去及び伐採等により発生した材料の新しい材料への加工、再生等に係わる発生材再利用工に適用する。
　ただし、本数量算出要領１．８．５発生材再利用工を適用する。

4章　　施 設 整 備

4.1　給水設備工
　4.1.1　水栓類取付工
　4.1.2　貯水施設工
　4.1.3　循環設備工
　4.1.4　散水施設工
　4.1.5　消火栓工
　4.1.6　給水設備修繕工
　4.1.7　作業土工
　4.1.8　給水管路工

4.2　雨水排水設備工
　4.2.1　調整池工
　4.2.2　貯留施設工
　4.2.3　作業土工
　4.2.4　側溝工
　　①プレキャストＬ型・Ｖ型側溝
　　②現場打側溝
　4.2.5　管渠工
　　①公園管渠、副管、接続用ソケット、立体網状管、管閉塞、管口フィルター
　　②PC 管、ﾋｭｰﾑ管(B 形管) 、暗渠排水管、鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ台付管、コルゲートパイプ
　4.2.6　集水桝･マンホール工
　　①公園マンホール、浸透マンホール、桝高さ調整、マンホール高さ調整
　4.2.7　地下排水工
　　①化学繊維系管
　　②地下排水
　4.2.8　公園水路工

4.3　汚水排水設備工
　4.3.1　作業土工
　4.3.2　管渠工
　4.3.3　汚水桝・マンホール工
　4.3.4　浄化槽工

4.4　電気設備工
　4.4.1　照明設備工
　4.4.2　放送設備工
　4.4.3　監視カメラ設置工
　4.4.4　電気設備修繕工
　4.4.5　作業土工
　4.4.6　電線管路工

4.5　園路広場整備工
　4.5.1　舗装版撤去工
　4.5.2　舗装準備工
　4.5.3　アスファルト舗装工
　4.5.4　排水性舗装工
　4.5.5　透水性舗装工
　4.5.6　アスファルト系舗装工
　4.5.7　コンクリート系舗装工
　4.5.8　土系舗装工
　4.5.9　レンガ・タイル系舗装工
　4.5.10 木系舗装工
　4.5.11 樹脂系舗装工
　4.5.12 石材系舗装工
　4.5.13 舗装仮復旧工
　4.5.14 園路縁石工
　4.5.15 区画線工
　4.5.16 階段工
　4.5.17 公園橋工
　4.5.18 デッキ工
　4.5.19 視覚障害者誘導用ﾌﾞﾛｯｸ工
　4.5.20 作業土工
　4.5.21 植樹ブロック工

4.6　修景施設整備工
　4.6.1　石組工
　4.6.2　添景物工
　4.6.3　袖垣・垣根工
　4.6.4　花壇工
　4.6.5　トレリス工
　4.6.6　モニュメント工
　4.6.7　小規模水景施設工
　4.6.8　修景施設修繕工
　4.6.9　作業土工
　4.6.10 水景施設工

4.7　遊戯施設整備工
　4.7.1　遊具組立設置工
　4.7.2　小規模現場打遊具工
　4.7.3　遊具施設修繕工
　4.7.4　作業土工
　4.7.5　現場打遊具工

4.8　サービス施設整備工
　4.8.1　時計台工
　4.8.2　水飲み場工

4.8.3　洗い場工
4.8.4　ベンチ・テーブル工
4.8.5　野外炉工
4.8.6　炊事場工
4.8.7　サイン施設工
4.8.8　サービス施設修繕工

4.9　管理施設整備工
4.9.1　リサイクル施設工
4.9.2　ごみ焼却施設工
4.9.3　ごみ施設工
4.9.4　井戸工
4.9.5　門扉工
4.9.6　柵工
4.9.7　車止め工
4.9.8　園名板工
4.9.9　掲揚ポール工
4.9.10　反射鏡工
4.9.11　境界工
4.9.12　管理施設修繕工

4.10 建築施設組立設置工
4.10.1　四阿工
4.10.2　パーゴラ工
4.10.3　シェルター工
4.10.4　キャビン(ロッジ)工
4.10.5　温室工
4.10.6　観察施設工
4.10.7　売店工
4.10.8　荷物預り所工
4.10.9　更衣室工
4.10.10 便所工
4.10.11 倉庫工
4.10.12 自転車置場工
4.10.13 建築施設修繕工

4.11 施設仕上げ工
4.11.1　塗装仕上げ工
4.11.2　加工仕上げ工
4.11.3　左官仕上げ工
4.11.4　タイル仕上げ工
4.11.5　石仕上げ工
①石仕上げ工
②平石張

4.12 公園施設等撤去・移設工
4.12.1　公園施設撤去工
4.12.2　移設工
4.12.3　樹木伐採・抜根工
4.12.4　工事支障木対策工
4.12.5　発生材再利用工

４.１　給水設備工

4.1.1　水栓類取付工

１．適用

公園緑地工事において、給水の引込みに関する施設及び設備等に係わる水栓類取付工に適用する。

２．数量算出項目

メーターボックス、止水栓、止水栓ボックス、不凍水栓、ボックス類高さ調整等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、水栓類種類、規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	水栓類種類	規格	単位	数量	備考
メーターボックス	○	○	個		
止水栓	○	○	個		
止水栓ボックス	×	○	個		
不凍水栓	○	○	個		
ボックス類高さ調整	○	○	箇所		

（２）材料数量算出項目及び水栓類取付工区分一覧表

水栓類取付工区分 / 項目	ﾒｰﾀｰﾎﾞｯｸｽ	止水栓	止水栓ﾎﾞｯｸｽ	不凍水栓	ﾎﾞｯｸｽ類高さ調整	単位	数量	備考
水栓類設置	○	○	○	○	○	個		
基礎砕石・栗石	○	○	○	○	○	m^3		
均しコンクリート	○	○	○	○	○	m^3		
均しコンクリート型枠	○	○	○	○	○	m^2		
コンクリート	○	○	○	○	○	m^3		
型枠	○	○	○	○	○	m^2		
モルタル	○	○	○	○	○	m^3		
左官仕上げ	○	○	○	○	○	m^2		

（３）水栓類の規格区分

水栓類の規格による区分は、下記のとおりとする。

	規格（口径）		
各種水栓（ボックス共）	１５	２０	２５

４．数量算出方法

数量の算出方法は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

4.1.2　貯水施設工

1．適用

公園緑地工事において、上水や中水の一時貯留に関する施設及び設備等に係わる貯水施設工に適用する。

2．数量算出項目

貯水施設、蓋高さ調整等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	種　類	規　格	単位	数　量	備　　考
貯水施設	○	○	箇所		
蓋高さ調整	○	○	箇所		

（2）材料数量算出項目及び貯水施設工区分一覧表

貯水施設工区分 / 項目	貯水施設	蓋高さ調整	単位	数　量	備　　考
貯水施設設置	○	×	箇所		
蓋設置	×	○	箇所		
基礎砕石・栗石	○	×	m^3		
均しコンクリート	○	×	m^3		
均しコンクリート型枠	○	×	m^2		
コンクリート	○	○	m^3		
型枠	○	○	m^2		
鉄筋	○	○	t		
モルタル	○	○	m^3		
左官仕上げ	○	○	m^2		
塗装仕上げ	○	○	m^2		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

4.1.3　循環設備工

1．適用

公園緑地工事において、池や流れ等の水の循環に関する施設及び設備等に係わる循環設備工に適用する。

2．数量算出項目

機械室、貯水槽、噴水装置、濾過装置、滅菌装置、循環設備等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	種類	規格	単位	数量	備考
機械室	○	×	式		
貯水槽	○	○	式		
噴水装置	○	○	式		
濾過装置	○	○	式		
滅菌装置	○	○	式		
循環設備	○	○	式		

（2）材料数量算出項目及び循環設備工区分一覧表

循環設備工区分 / 項目	機械室	貯水槽	噴水装置	濾過装置	滅菌装置	循環設備	単位	数量	備考
循環設備設置	○	○	○	○	○	○	式		
基礎砕石・栗石	○	○	○	○	○	○	m^3		
均しコンクリート	○	○	○	○	○	○	m^3		
均しコンクリート型枠	○	○	○	○	○	○	m^2		
コンクリート	○	○	○	○	○	○	m^3		
型枠	○	○	○	○	○	○	m^2		
鉄筋	○	○	○	○	○	○	t		
モルタル	○	○	○	○	○	○	m^3		
左官仕上げ	○	○	○	○	○	○	m^2		
塗装仕上げ	×	○	○	○	○	○	m^2		
試運転調整	×	×	×	×	×	○	式		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

4.1.4　散水施設工

1．適用

公園緑地工事において、植物への散水に関する施設及び設備等に係わる散水施設工に適用する。

2．数量算出項目

スプリンクラー、ミスト、ドリップパイプ、散水栓、散水栓ボックス、散水栓高さ調整等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	種類	規格	単位	数量	備考
スプリンクラー	○	○	基		
ミスト	○	○	基		
ドリップパイプ	○	○	m		
散水栓	×	○	基		
散水栓ボックス	○	○	基		
散水栓高さ調整	○	○	基		

（2）材料数量算出項目及び散水施設工区分一覧表

散水施設工区分 項目	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ	ﾐｽﾄ	ﾄﾞﾘｯﾌﾟﾊﾟｲﾌﾟ	散水栓	散水栓ﾎﾞｯｸｽ	散水栓高さ調整	単位	数量	備考
散水設備設置	○	○	○	○	○	×	台･m･個		
散水栓設置	×	×	×	×	×	○	基		
基礎砕石・栗石	○	×	×	○	○	○	m^3		
均しコンクリート	○	×	×	○	○	○	m^3		
均しコンクリート型枠	○	×	×	○	○	○	m^2		
コンクリート	○	×	×	○	○	○	m^3		
型枠	○	×	×	○	○	○	m^2		
鉄筋	○	×	×	○	○	○	t		
モルタル	○	×	×	○	○	○	m^3		
左官仕上げ	○	×	×	○	○	○	m^2		

（2）散水栓の規格

散水栓の規格による区分は、下記のとおりとする。

	規格（口径）	
各種水栓 (ボックス共)	１５	２０

４．数量算出方法

数量の算出方法は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

4.1.5　消火栓工

１．適用

公園緑地工事において、防火に関する諸施設及び設備に係わる消火栓工に適用する。

２．数量算出項目

消火栓、屋外消火栓格納箱、消火栓高さ調整等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	種類	規格	単位	数量	備考
消火栓	○	○	基		
屋外消火栓格納箱	○	○	基		
消火栓高さ調整	○	○	基		

（2）材料数量算出項目及び消火栓工区分一覧表

消火栓工区分 項目	消火栓	屋外消火栓格納箱	消火栓高さ調整	単位	数量	備考
消火栓設置	○	×	○	基		
屋外消火栓格納箱設置	×	○	○	基		
基礎砕石・栗石	○	○	○	m^3		
均しコンクリート	○	○	○	m^3		
均しコンクリート型枠	○	○	○	m^2		
コンクリート	○	○	○	m^3		
型枠	○	○	○	m^2		
鉄筋	○	○	○	t		
モルタル	○	○	○	m^3		
左官仕上げ	○	○	○	m^2		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

4.1.6　給水設備修繕工

1．適用

公園緑地工事における給水設備の補修・改修などの修繕に係わる給水設備修繕工に適用する。

4.1.7　作業土工

1．適用

公園緑地工事において、目的物を施工するために行う現地盤面の床掘りおよび計画面まで埋戻す土工等に係わる作業土工に適用する。

ただし、床掘り、埋戻しを施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工２．１．２作業土工」を適用する。

4.1.8　給水管路工

1．適用

公園緑地工事において、上水を使用する施設への給水管路に関する施設及び設備等に係わる給水管路工に適用する。

2．数量算出項目

給水管、埋設標、埋設シート等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格、施工箇所とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	種類	規格	施工箇所	単位	数量	備考
給水管	○	○	○	m		
埋設標	×	○	×	個		
埋設シート	○	○	×	m		

（2）材料数量算出項目及び給水管路工区分一覧表

給水管路工区分 / 項目	給水管	埋設標	埋設シート	単位	数量	備考
給水管延長	○	×	×	m		
埋設標設置箇所	×	○	×	個		
埋設シート延長	×	×	○	m		

（3）給水管の種類、給水管の規格区分

給水管の種類・規格による区分は、下記のとおりとする。

・給水管

種類	水道用鋼管		水道用硬質ポリ塩化ビニル管
施工場所	屋内	屋外	屋外
規格	1/2 インチ（15 ㎜）		１５㎜
	4.4 〃 （20 ㎜）		２０㎜
	1 〃 （25 ㎜）		２５㎜
	1・1/4 〃 （4.2 ㎜）		３０㎜
	1・1/2 〃 （40 ㎜）		４０㎜
	2 〃 （50 ㎜）		５０㎜
	2・1/2 〃 （65 ㎜）		６５㎜
	4.3 （80 ㎜）		７５㎜
	4 〃 （100 ㎜）		
	5 〃 （125 ㎜）		
	6 〃 （150 ㎜）		

・給水管継手

種類		施工場所	
水道用鋼管継手	水道用塩化ビニルライニング鋼管	屋内	屋外
	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管		
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手	水道用硬質ポリ塩化ビニル管		

（4）埋設シートの種類、給水管の規格区分

埋設シートの種類・規格による区分は、下記のとおりとする。

種類	規格
ポリエチレンクロス（シングル）	150 ㎜×50m
ポリエチレンクロス（２倍）	300 ㎜×50m
ポリエチレンクロス（4.5 倍）	400 ㎜×50m

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は、別途算出する。

（２）給水管の延長

給水管の延長は、必要に応じ種類・規格等に分け算出する。

（３）埋設標の設置箇所

埋設標の設置箇所は、必要に応じ種類・規格等に分け算出する。

（４）埋設シートの延長

埋設シートの延長は、必要に応じ種類・規格等に分け算出する。

４.２　雨水排水設備工

4.2.1　調整池工

１．適用

公園緑地工事において、雨水の調整排水を目的とした調整池構造物の設置等に係わる調整池工に適用する。

２．数量算出項目

周囲小堤、余水吐、放流施設等を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、種類、規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	種　類	規　格	単位	数　量	備　　考
周囲小堤	○	○	m		
余 水 吐	○	○	箇所		
放流施設	○	○	箇所		

（２）材料数量算出項目及び調整池工区分一覧表

調整池工区分 / 項　目	周囲小堤	余水吐	放流施設	単位	数　量	備　　考
基礎砕石・栗石	○	○	○	m^3		
均しコンクリート	○	○	○	m^3		
均しコンクリート型枠	○	○	○	m^2		
コ ン ク リ ー ト	○	○	○	m^3		
型枠	○	○	○	m^2		
鉄筋	○	○	○	t		
モ ル タ ル	○	○	○	m^3		
左官仕上げ	○	○	○	m^2		
石　積	○	×	×	m^2		
蓋設置	×	○	○	組		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

（2）石積の量

石積みの量は、必要に応じて種類（雑割練石積、雑割空石積、間知石積）等に分け算出する。

4.2.2　貯留施設工

1．適用

公園緑地工事において、雨水の一時貯留を目的とした貯留施設の設置等に係わる貯留施設工に適用する。

2．数量算出項目

貯留施設、蓋高さ調整等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 ＼ 項目	種類	規格	単位	数量	備考
貯留施設	○	○	箇所		
蓋高さ調整	○	○	箇所		

（2）材料数量算出項目及び貯留施設工区分一覧表

調整池工区分 ＼ 項目	貯留施設	蓋高さ調整	単位	数量	備考
貯留施設設置	○	×	箇所		
蓋設置	×	○	箇所		
基礎砕石・栗石	○	×	m^3		
均しコンクリート	○	×	m^3		
均しコンクリート型枠	○	×	m^2		
コンクリート	○	○	m^3		
型枠	○	○	m^2		
鉄筋	○	○	t		
モルタル	○	○	m^3		
左官仕上げ	○	○	m^2		
単粒度砕石	○	○	m^3		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）　各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は、必要に応じて算出する

4.2.3　作業土工

１．適用

公園緑地工事において、目的物を施工するために行う現地盤面の床掘りおよび計画面まで埋戻す土工等に係わる作業土工に適用する。

ただし、床掘り、埋戻しを施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工２．１．２作業土工」を適用する。

4.2.4　側溝工

①プレキャストＶ型側溝

１．適用

公園緑地工事において、雨水等の排水を目的とした排水構造物（プレキャスト製品）の設置等に係わる雨水排水設備工に適用する。

ただし、雨水排水設備工としてプレキャスト製品によるＬ形側溝、U型側溝（落蓋形、鉄筋コンクリートベンチフリュームを含む)、自由勾配側溝（プレキャスト製品を設置し、底部コンクリートを現場打する)、管（函）渠型側溝、コルゲートフリュームを施工する場合は「第３編（道路編）２章付属施設工２．１排水構造物工２．１．１排水構造物工（プレキャスト製品)」を適用する。

２．数量算出項目

プレキャストＶ型側溝、ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ皿型側溝、特殊円形側溝、公園素掘側溝、U 型側溝小口止め、側溝高さ調整等を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、種類、規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	種　類	規　格	単位	数　量	備　考
プレキャストＶ型側溝	○	○	m		
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ皿型側溝	○	○	m		
特殊円形側溝	○	○	m		
公園素掘側溝	○	×	m		
U 型側溝小口止め	×	○	箇所		
側溝高さ調整	―	―	m		

４．数量算出方法

（２）材料数量算出項目及び側溝工区分一覧表

項目＼側溝工区分	プレキャストV型側溝	プレキャスト皿型側溝	特殊円形側溝	公園素掘側溝	U型側溝小口止め	側溝高さ調整	単位	数量	備考
ﾌﾞﾛｯｸ設置	○	○	○	○	×	×	m		
基礎砕石・栗石	○	○	○	○	×	×	m^3		
均しコンクリート	○	○	○	○	×	×	m^3		
均しコンクリート型枠	○	○	○	○	×	×	m^3		
コンクリート	○	○	○	○	×	×	m^3		
型枠	○	○	○	○	○	○	m^2		

本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１） 各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

②現場打側溝

１．適用

公園緑地工事において、排水構造物として現場打側溝（本体）（落蓋型を含む）を施工する場合は「第３編（道路編）２章付属施設工２．１排水構造物工２．１．２排水構造物工（現場打ち水路）」を適用する。

4.2.5 管渠工

①公園管渠、副管、接続用ソケット、立体網状管、管閉塞、管口フィルター

１．適用

公園緑地工事において、雨水等の排水を目的とした公園管渠、副管、接続用ソケット、立体網状管、管閉塞、管口フィルターの設置等に係わる管渠工に適用する。

２．数量算出項目

公園管渠、副管、接続用ソケット、立体網状管、管閉塞、管口フィルター等を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	種類	規格	単位	数量	備考
公園管渠	○	○	m		
副管	○	○	箇所		
接続用ｿｹｯﾄ	○	○	箇所		
立体網状管	○	○	m		
管閉塞	○	○	箇所		
管口フィルター	○	○	個		

2）材料数量算出項目及び管渠工区分一覧表

管渠工区分 項目	公園管渠	副管	接続用ｿｹｯﾄ	立体網状管	管閉塞	管口ﾌｨﾙﾀｰ	単位	数量	備考
管設置	○	○	○	○	×	×	m		
設置箇所	○	○	×	×	○	○	箇所		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は別途算出する。

（2）管の延長

管の延長は、必要に応じて種類・規格等に分け算出する。

（3）設置個所

設置個所は、必要に応じて種類・規格に分け算出する。

②ﾋｭｰﾑ管、暗渠排水管、鉄筋コンクリート台付管、コルゲートパイプ

1．適用

公園緑地工事において、排水構造物工としてプレキャスト製品によるヒューム管、暗渠排水管（硬質塩化ビニル管、ポリエチレン管等の有孔・無孔管）、鉄筋コンクリート台付管、コルゲートパイプを施工する場合に適用する。

4.2.6　集水桝･マンホール工

1．適用

公園緑地工事において、排水構造物として現場打ちの街渠桝・集水桝（本体）を施工する場合は「第３編（道路編）２章付属施設工２．１排水構造物工２．１．３排水構造物工（現場打ち集水桝・街渠桝）」を適用する。

①浸透桝、塩化ビニル製桝、公園マンホール、浸透マンホール、桝高さ調整、マンホール高さ調整

1．適用

公園緑地工事において、雨水等の排水を目的とした人孔の設置等に係わる集水桝・マンホール工に適用する。

2．数量算出項目

浸透桝、塩化ビニル製桝、公園マンホール、浸透マンホール、桝高さ調整、マンホール高さ調整等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、桝・マンホール種類、桝・マンホール規格、コンクリート規格、蓋種類、蓋規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	桝・マンホール種類	桝・マンホール規格	コンクリート規格	蓋種類	蓋規格	単位	数量	備考
浸透桝	―	―	―	○	○	箇所		
塩化ﾋﾞﾆﾙ製桝	―	○	―	○	―	箇所		
公園マンホール	×	○	○	○	○	箇所		
浸透マンホール	×	○	○	○	○	箇所		
桝高さ調整	○	○	○	×	×	箇所		
ﾏﾝﾎｰﾙ高さ調整	×	○	○	×	×	箇所		

（2）材料数量算出項目及び集水桝・マンホール工区分一覧表

集水桝・マンホール工区分 / 項目	浸透桝	塩化ﾋﾞﾆﾙ製桝	公園ﾏﾝﾎｰﾙ	浸透ﾏﾝﾎｰﾙ	桝高さ調整	ﾏﾝﾎｰﾙ高さ調整	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石			○	○	×	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ			○	○	×	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠			○	○	×	×	m^2		
コンクリート			○	○	○	○	m^3		
型枠			○	○	○	○	m^2		
鉄筋			○	○	×	×	t		
モルタル			○	○	○	○	m^3		
左官仕上げ			○	○	○	○	m^2		
砕石			×	○	×	×	m^3		
遮断砂			○	○	×	×	m^2		
透水シート			×	○	×	×	m^2		
ブロック設置			○	○	○	○	個		
足掛金物			○	×	×	×	本		
副管取付			○	×	×	×	箇所		
蓋設置			○	○	○	○	箇所		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

4.2.7　地下排水工

①透水ｺﾝｸﾘｰﾄ管、化学繊維系管

1．適用

公園緑地工事において、地下水の高い地域での路床及び路盤を対象に設けられる地下排水施設等に係わる地下排水工に適用する。

2．数量算出項目

透水ｺﾝｸﾘｰﾄ管、化学繊維系管等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、種類、規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	種　類	規　格	単位	数　量	備　　考
透水ｺﾝｸﾘｰﾄ管	○	○	m		
化学繊維系管	○	○	m		

（２）材料数量算出項目及び地下排水工区分一覧表

地下排水工区分 項　目	透水ｺﾝｸﾘｰﾄ管	化学繊維系管	単位	数　量	備　　考
管 渠 延 長	○	○	m		
透水シート	○	○	m^2		
砕石	○	○	m^3		

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は別途算出する。

②地下排水

１．適用

公園緑地工事において、排水構造物として暗渠排水管（硬質ポリ塩化ビニル管、ポリエチレン管等の有孔・無孔管）を施工する場合は「第３編（道路編）２章付属施設工２．１排水構造物工」を適用する。

4.2.8　公園水路工

１．適用

公園緑地工事における公園水路に係わる公園水路工に適用する。

２．数量算出項目

現場打水路、プレキャスト水路、水路蓋等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、種類、規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	種　類	規　格	単位	数　量	備　　考
現場打水路	○	○	m		
プレキャスト水路	○	○	m		
水路蓋	○	○	枚		

（2）材料数量算出項目及び公園水路工区分一覧表

公園水路工区分 項　目	現場打 水　路	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ 水　路	水路蓋	単位	数　量	備　　考
基礎砕石・栗石	○	○	×	m^3		
均しコンクリート	○	○	×	m^3		
均しコンクリート型枠	○	○	×	㎡		
コンクリート	○	○	×	m^3		
型枠	○	○	×	㎡		
鉄筋	○	○	×	t		
モルタル	○	○	×	m^3		
左官仕上げ	○	○	×	㎡		
ブロック設置	×	○	×	m		
水　路　蓋	×	×	○	m		

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は別途算出する。

４.３　汚水排水設備工

4.3.1　作業土工

１．適用

公園緑地工事において、目的物を施工するために行う現地盤面の床掘りおよび計画面まで埋戻す土工等に係わる作業土工に適用する。

ただし、床掘り、埋戻しを施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工２．１．２作業土工」を適用する。

4.3.2　管渠工

１．適用

公園緑地工事において、汚水等の排水を目的とした管（函）渠の設置等に係わる管渠工に適用する。

ただし、公園管渠、副管、接続用ｿｹｯﾄ、管閉塞を施工する場合は本数量算出要領４.２.５管渠工①を適用し、プレキャスト製品の排水構造物を施工する場合は「第３編（道路編）２章付属施設工２．１排水構造物工２．１．１排水構造物工（プレキャスト製品）」を適用する。

4.3.3　汚水桝・マンホール工

１．適用

公園緑地工事において、汚水等の排水を目的とした排水管の中継桝である汚水桝・人孔の設置等に係わる汚水桝・マンホール工に適用する。

ただし、塩化ﾋﾞﾆﾙ製桝、公園マンホール、桝高さ調整、マンホール高さ調整、蓋を施工する場合は「第３編（道路編）２章付属施設工２．１排水構造物工２．１．３排水構造物工（現場打ち集水桝・街渠桝）」を適用し、汚水桝、塩化ビニル製桝、マンホール、プレキャストマンホール、集水桝・マンホール基礎を施工する場合は「第３編（道路編）２章 付属施設工２．１ 排水構造物工」を適用する。

2．数量算出項目

インバート等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	種類	規格	単位	数量	備考
インバート	○	○	箇所		

（2）材料数量算出項目及び汚水桝・マンホール工区分一覧表

汚水桝・ﾏﾝﾎｰﾙ工 区分 項目	インバート	単位	数量	備考
コンクリート	○	m^3		
モルタル	○	m^3		
左官仕上げ	○	m^2		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項による。

4.3.4　浄化槽工

1．適用

公園緑地工事において、汚水等の浄化を目的とした浄化槽の設置等に係わる浄化槽工に適用する。

2．数量算出項目

浄化槽等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	種類	規格	単位	数量	備考
浄化槽	○	○	箇所		

（2）材料数量算出項目及び浄化槽工区分一覧表

浄化槽工区分 項　目	浄化槽	単位	数　量	備　　考
基礎砕石・栗石	○	m^3		
均しコンクリート	○	m^3		
均しコンクリート型枠	○	m^2		
コンクリート	○	m^3		
型枠	○	m^2		
モルタル	○	m^3		
左官仕上げ	○	m^2		
浄化槽本体	○	箇所		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.4　電気設備工

4.4.1　照明設備工

1．適用

公園緑地工事において、夜間照明等の電気設備の設置等に係わる照明設備工に適用する。
ただし、ハンドホールを施工する場合は「第３編（道路編）10 章共同溝工 10．４情報ボックス工 10．４．6 ハンドホール設置」を適用する。

2．数量算出項目

ハンドホール高さ調整、引込柱、分電盤、分電盤高さ調整、照明灯基礎、照明灯、遮光板等を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格、砕石規格、コンクリート規格、電球種類、電球規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	種類	規格	砕石規格	ｺﾝｸﾘｰﾄ規　格	電球種類	電球規格	単位	数　量	備　　考
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ高さ調整	×	○	×	×	×	×	箇所		
引込柱	○	○	×	×	×	×	基		
分電盤	×	○	×	×	×	×	面		
分電盤高さ調整	×	○	×	×	×	×	式		
照明灯基礎	×	×	○	○	×	×	基		
照明灯	×	○	×	×	○	○	基		
遮光板	○	○	×	×	×	×	個		

（2）材料数量算出項目及び照明設備工区分一覧表

照明設備工区分 ＼ 項　目	ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ高さ調整	引込柱	分電盤	分電盤高さ調整	照明灯基礎	照明灯	遮光板	単位	数　量	備　　考
本体設置	○	○	○	×	×	○	○	組･本･面・灯		
基礎砕石・栗石	○	○	○	×	○	×	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	○	×	○	×	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	○	×	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	○	○	○	○	×	×	m^3		
型枠	○	○	○	○	○	×	×	m^2		
スパイラルダクト	×	○	○	○	○	×	×	m		
モ ル タ ル	×	○	○	○	○	○	×	m^3		
左官仕上げ	×	○	○	○	×	○	×	m^2		
塗装仕上げ	×	×	×	×	×	○	×	m^2		
接地	×	×	○	×	×	○	×	箇所		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

4.4.2　放送設備工

1．適用

公園緑地工事において、利用者に対する案内等を目的とした放送設備の設置等に係わる放送設備工に適用する。

ただし、ハンドホールを施工する場合は「第３編（道路編）10 章共同溝工 10．４情報ボックス工 10．４．６ハンドホール設置」を適用し、ハンドホール高さ調整を施工する場合は本数量算出要領４.４.１照明設備工を適用する。

2．数量算出項目

放送設備、スピーカー柱基礎、スピーカー柱等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格、砕石規格、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、ｽﾋﾟｰｶｰ種類、ｽﾋﾟｰｶｰ規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 ＼ 項　目	種類	規格	砕石規格	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	ｽﾋﾟｰｶｰ種類	ｽﾋﾟｰｶｰ規格	単位	数 量	備　考
放 送 設 備	○	×	×	×	×	×	式		
スピーカー柱基礎	×	×	○	○	×	×	基		
スピーカー柱	×	○	×	×	○	○	基		

（2）材料数量算出項目及び放送設備工区分一覧表

放送設備工区分 ＼ 項　目	放送設備	ｽﾋﾟｰｶｰ柱基礎	ｽﾋﾟｰｶｰ柱	単位	数　量	備　　考
本体設置	×	×	○	基		
基礎砕石・栗石	×	○	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	×	○	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	×	○	×	m^2		
コンクリート	×	○	×	m^3		
型枠	×	○	×	m^2		
スパイラルダクト	×	○	×	m		
モ ル タ ル	×	○	○	m^3		
左官仕上げ	×	×	○	m^2		
塗装仕上げ	×	×	○	m^2		
放 送 設 備	○	×	×	式		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）　各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

4.4.3　監視カメラ設置工

1．適用

公園緑地工事において、利用者に対する安全確保を目的とした監視設備等の設置に係わる監視カメラ設備工に適用する。

ただし、ハンドホールを施工する場合は「第３編（道路編）10 章共同溝工 10．４情報ボックス工 10．４．6 ハンドホール設置」を適用し、ハンドホール高さ調整を施工する場合は本数量算出要領４．４．１照明設備工を適用する。

2．数量算出項目

監視カメラ設備、監視カメラ柱基礎、監視カメラ柱等を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格、砕石規格、コンクリート規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 ＼ 項　目	種類	規格	砕石規格	ｺﾝｸﾘｰﾄ規 格	単位	数 量	備　考
監視カメラ設備	○	○	×	×	式		
監視カメラ柱基礎	×	×	○	○	基		
監 視 カ メ ラ 柱	×	○	×	×	基		

（2）材料数量算出項目及び監視カメラ設置工区分一覧表

放送設備工区分 項　目	監視カメラ設備	監視カメラ柱基礎	監視カメラ柱	単位	数　量	備　考
本体設置	×	×	○	基		
基礎砕石・栗石	×	○	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	×	○	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	×	○	×	m^2		
コンクリート	×	○	×	m^3		
型枠	×	○	×	m^2		
スパイラルダクト	×	○	×	m		
モルタル	×	○	○	m^3		
左官仕上げ	×	○	○	m^2		
塗装仕上げ	×	×	○	m^2		
監視カメラ設備	○	×	×	式		

４．数量算出方法

数量の算出方法は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

4.4.4　電気設備修繕工

１．適用

公園緑地工事における電気設備の補修・改修などの修繕に係わる電気設備修繕工に適用する。

4.4.5　作業土工

１．適用

公園緑地工事において、目的物を施工するために行う現地盤面の床掘りおよび計画面まで埋戻す土工等に係わる作業土工に適用する。

ただし、床掘り、埋戻しを施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工２．１．２作業土工」を適用する。

4.4.6　電線管路工

１．適用

公園緑地工事において、電気設備を設置した施設への送電を目的とした電線管路等に係わる電線管路工に適用する。

ただし、埋設標、埋設シートを施工する場合は本数量算出要領４．１．８給水管路工を適用する。

２．数量算出項目

電線管、電線等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	種類	規格	単位	数量	備考
電線管	○	○	m		
電線	○	○	m		

（2）材料数量算出項目及び電線管路工区分一覧表

電線管路工区分 項目	電線管	電線	単位	数量	備考
延長	○	○	m		

4．数量算出方法

数量の算出方法は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は別途算出する。

（2）延長

各項目の延長は、必要に応じて種類・規格等に分け算出する。

4.5 園路広場整備工

4.5.1 舗装版撤去工

1．適用

公園緑地工事における舗装撤去工に適用する。

ただし、舗装版切断を施工する場合は「第３編（道路編）３章道路維持修繕工 4.3 舗装版切断工」、舗装版破砕を施工する場合は「第３編（道路編）３章道路維持修繕工 4.2 舗装版破砕工」、路面切削を施工する場合は「第３編（道路編）３章道路維持修繕工 4.1 路面切削工」、殻運搬を施工する場合には「第１編（共通編）第１０章構造物取壊し工１０．５殻運搬を適用する。

2．数量算出項目

殻処分等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、運搬距離とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	種類	運搬距離	単位	数量	備考
殻処分	○	○	m^3		

（2）材料数量算出項目及び舗装撤去工区分一覧表

舗装撤去工区分 項目	殻運搬処理	単位	数量	備考
砕石	○	m^3		
コンクリート	○	m^3		
アスファルト	○	m^3		
木材	○	m^3		

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項による。

4.5.2　舗装準備工

１．適用

公園緑地工事におけるアスファルト舗装及びコンクリート舗装等の舗装準備工に適用する。
ただし、不陸整正を施工する場合は「第３編（道路編）１章舗装工１．２不陸整正」を適用する。

4.5.3　アスファルト舗装工

１．適用

公園緑地工事におけるアスファルト舗装工に適用する。
ただし、下層路盤、上層路盤、路盤、基層、中間層、表層を施工する場合は「第３編（道路編）１章舗装工１．３アスファルト舗装工」を適用する。

4.5.4　排水性舗装工

１．適用

公園緑地工事における排水性舗装工に適用する。
ただし、下層路盤、上層路盤、基層、中間層を施工する場合は「第３編（道路編）１章舗装工１．３アスファルト舗装工」を適用する、排水性舗装・表層（車道･路肩部)する場合は「第３編（道路編）１章舗装工１．７排水性アスファルト舗装工」を適用する。

4.5.5　透水性舗装工

１．適用

公園緑地工事における透水性舗装工に適用する。
ただし、フィルター層、路盤、表層を施工する場合は「第３編（道路編）１章舗装工１．８透水性アスファルト舗装工」を適用する。

4.5.6　アスファルト系舗装工

１．適用

公園緑地工事における園路広場のアスファルト系舗装工に適用する。

２．数量算出項目

公園ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装、公園ｱｽﾌｧﾙﾄ薄層ｶﾗｰ舗装、透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装、脱色ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装の面積を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、舗装種類、路盤・舗装厚、規格、施工幅とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	舗装 種類	路盤・ 舗装厚	規　格 (材料)	施工幅	単位	数　量	備　　考
公園ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	○	○	○	○	㎡		
公園ｱｽﾌｧﾙﾄ薄層ｶﾗｰ舗装	○	○	○	○	㎡		
透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	○	○	○	○	㎡		
脱色ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	○	○	○	○	㎡		

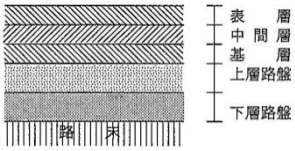
（2）材料算出項目及びアスファルト系舗装工区分一覧表

アスファルト系 舗装工区分 項　目	公園ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	公園ｱｽﾌｧﾙﾄ薄層ｶﾗｰ舗装	透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	脱色ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	単位	数　量
下層路盤(車道・路肩部)	○	×	×	×	㎡	
上層路盤(車道・路肩部)	○	×	×	×	㎡	
路盤(歩道部)	○	○	○	○	㎡	
基層(車道・路肩部)	○	×	×	○	㎡	
基層(歩道部)	○	○	×	○	㎡	
表層(車道・路肩部)	○	×	×	○	㎡	
表層(歩道部)	○	○	○	○	㎡	

（3）路盤・舗装厚区分及び規格区分

舗装の厚さ及び材料の規格（密粒 As13、粗粒 As20、再生 As 安定処理路盤、色等）ごとに区分して算出する。

（アスファルト系舗装の構成）



（4）施工幅区分

施工幅（W）による区分は、下記のとおりとする。

① W＝1.4m 未満

② W＝1.4m 以上

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床堀・埋戻し）の数量は、別途算出する。

4.5.7 コンクリート系舗装工

1．適用

公園緑地工事における園路広場のコンクリート系舗装工に適用する。

2．数量算出項目

ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装、公園ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装、透水性ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装、平板舗装、洗い出し舗装の面積を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、舗装種類、路盤・舗装厚、規格、施工幅とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	舗装種類	路盤・舗装厚	規格(材料)	施工幅	単位	数量	備考
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装	○	○	○	○	㎡		
公園ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	○	○	○	○	㎡		
透水性ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	○	○	○	○	㎡		
平板舗装	○	○	○	○	㎡		
洗い出し舗装	○	○	○	○	㎡		

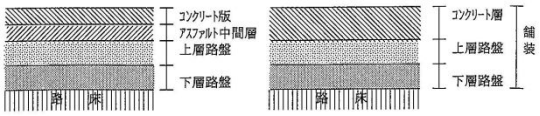
（2）材料算出項目及びコンクリート系舗装工区分一覧表

ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装工区分 / 項目	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装	公園ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	透水性ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	平板舗装	洗い出し舗装	単位	数量	備考
路盤(車道・路肩部)	○	○	○	×	×	㎡		
路盤(歩道部)	○	○	○	○	○	㎡		
コンクリート	×	○	×	×	×	㎡		
型枠	×	○	○	×	×	㎡		
フィルター層	○	×	○	×	×	㎡		
溶接金網	×	○	○	×	×	㎡		
伸縮目地	×	○	○	×	×	m		
左官仕上げ	×	○	○	×	×	㎡		
モルタル	×	×	×	○	○	m^3		
砂	×	×	×	○	○	m^3		
表層	○	○	○	○	○	㎡		

（3）路盤・舗装厚区分及び規格区分

舗装の厚さ及び材料の規格（形状、材質、色等）ごとに区分して算出する。

コンクリート系舗装の構成）



（4）施工幅区分

施工幅（W）による区分は、下記のとおりとする。

① W＝1.4m 未満

② W＝1.4m 以上

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床堀・埋戻し）の数量は、別途算出する。

4.5.8 土系舗装工

1．適用

公園緑地工事における園路広場の土系舗装工に適用する。

2．数量算出項目

土舗装、芝舗装、耐踏圧性芝生舗装、砂舗装、石灰岩ダスト舗装の面積を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、舗装種類、路盤・舗装厚、規格、施工幅とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	舗装種類	路盤・舗装厚	規格(材料)	施工幅	単位	数量	備考
土舗装	○	○	○	○	㎡		
芝舗装	○	○	○	○	㎡		
耐踏圧性芝生舗装	○	○	○	○	㎡		
砂舗装	○	○	○	○	㎡		
石灰岩ダスト舗装	○	○	○	○	㎡		

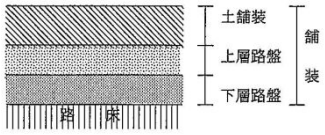
（2）材料数量算出項目及び土系舗装工区分一覧表

土系舗装工区分 / 項目	土舗装	芝舗装	耐踏圧性芝生舗装	砂舗装	石灰岩ダスト舗装	単位	数量	備考
路盤(車道・路肩部)	○	○	○	×	○	㎡		
路盤(歩道部)	○	○	○	○	○	㎡		
表　層	○	○	○	○	○	㎡		
芝生プロテクター	×	×	○	×	×	㎡		

（3）路盤・舗装厚区分及び規格区分

舗装の厚さ及び材料の規格（形状、材質、色等）ごとに区分して算出する。

（土系舗装の構成）



（4）施工幅区分

施工幅（W）による区分は、下記のとおりとする。

① W＝1.4m 未満

② W＝1.4m 以上

（5）土舗装（クレイ舗装）区分

名　称	規　　格	単　位
荒木田	荒木田土又は粘土６：砂４	m^3
良質土	黒土、赤土又は真砂土	m^3

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床堀・埋戻し）の数量は、別途算出する。

4.5.9 レンガ・タイル系舗装工

1．適用

公園緑地工事における園路広場のレンガ・タイル系舗装工に適用する。

2．数量算出項目

レンガ舗装、タイル舗装の面積を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、舗装種類、路盤・舗装厚、規格、施工幅とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	舗装種類	路盤・舗装厚	規格(材料)	施工幅	単位	数量	備考
レンガ舗装	○	○	○	○	㎡		
タイル舗装	○	○	○	○	㎡		

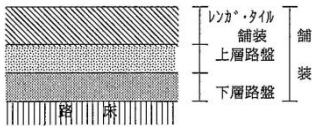
（2）材料数量算出項目及びレンガ・タイル系舗装工区分一覧表

レンガ・タイル系舗装工区分 / 項目	レンガ舗装	タイル舗装	単位	数量	備考
路盤（歩道部）	○	○	㎡		
コンクリート	○	○	㎡		
型枠	○	○	㎡		
伸縮目地	○	○	m		
左官仕上げ	×	○	㎡		
モルタル	○	○	m^3		
表層	○	○	㎡		

（3）路盤・舗装厚区分及び規格区分

舗装の厚さ及び材料の規格（形状、材質、色等）ごとに区分して算出する。

（レンガ・タイル系舗装の構成）



（4）施工幅区分

施工幅（W）による区分は、下記のとおりとする。

① W＝1.4m 未満

② W＝1.4m 以上

（5）タイルの実寸と目地幅区分

呼び名	実寸(mm)	目地幅（mm）
１００角	９２	８
１５０角	１５２	１０
クリンカー	１５２	１３

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床堀・埋戻し）の数量は、別途算出する。

4.5.10　木系舗装工

1．適用

公園緑地工事における園路広場の木系舗装工に適用する。

2．数量算出項目

チップ舗装、木レンガ舗装、木道、枕木舗装の面積を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、舗装種類、路盤・舗装厚、規格、施工幅とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	舗装種類	路盤・舗装厚	規格(材料)	施工幅	単位	数量	備考
チップ舗装	○	○	○	○	㎡		
木レンガ舗装	○	○	○	○	㎡		
木道	○	○	○	○	m		
枕木舗装	○	○	○	○	㎡		

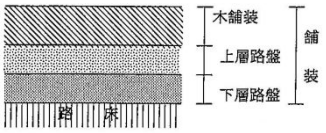
（2）材料数量算出項目及び木系舗装工区分一覧表

木系舗装工区分 / 項目	チップ舗装	木レンガ舗装	木道	枕木舗装	単位	数量	備考
路盤（歩道部）	○	○	×	×	㎡		
基礎砕石・栗石	×	×	○	○	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	×	×	○	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	×	×	○	×	㎡		
コンクリート	×	×	○	×	m^3		
型枠	×	×	○	×	m		
モルタル	×	×	○	×	m^3		
左官仕上げ	×	×	○	×	㎡		
木道	×	×	○	×	m		
枕木	×	×	×	○	㎡		
表層	○	○	×	×	㎡		

（3）路盤・舗装厚区分及び規格区分

舗装の厚さ及び材料の規格（形状、材質等）ごとに区分して算出する。

（木系舗装の構成）



（4）施工幅区分

施工幅（W）による区分は、下記のとおりとする。

① W＝1.4m 未満

② W＝1.4m 以上

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床堀・埋戻し）の数量は、別途算出する。

4.5.11　樹脂系舗装工

1．適用

公園緑地工事における園路広場の樹脂系舗装工に適用する。

2．数量算出項目

樹脂舗装、ゴムチップ舗装の面積を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、舗装種類、路盤・舗装厚、規格、施工幅とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	舗装種類	路盤・舗装厚	規格(材料)	施工幅	単位	数量	備考
樹脂舗装	○	○	○	○	㎡		
ゴムチップ舗装	○	○	○	○	㎡		

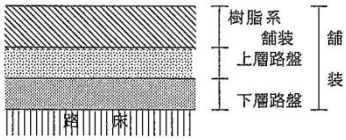
（2）材料数量算出項目及び樹脂系舗装工区分一覧表

樹脂系舗装工区分 / 項目	樹脂舗装	ゴムチップ舗装	単位	数量	備考
路盤（歩道部）	○	○	㎡		
コンクリート	○	○	m^3		
型枠	○	○	㎡		
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	○	○	㎡		
表層	○	○	㎡		

（3）路盤・舗装厚区分及び規格区分

舗装の厚さ及び材料の規格（形状、材質、色等）ごとに区分して算出する。

（樹脂系舗装の構成）



（4）施工幅区分

施工幅（W）による区分は、下記のとおりとする。

① W＝1.4m 未満

② W＝1.4m 以上

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床堀・埋戻し）の数量は、別途算出する。

4.5.12　石材系舗装工

1．適用

公園緑地工事における園路広場の石材系舗装工に適用する。

2．数量算出項目

砂利舗装、砕石舗装、平石張舗装、ごろた石張舗装、玉石張舗装、割板石張舗装、小舗石舗装、切板石張舗装、延段、飛石の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、舗装種類、路盤・舗装厚、規格、施工幅とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	舗装種類	路盤・舗装厚	規格(材料)	施工幅	単位	数量	備考
砂利舗装	○	○	○	○	㎡		
砕石舗装	○	○	○	○	㎡		
平石張舗装	○	○	○	○	㎡		
ごろた石張舗装	○	○	○	○	㎡		
玉石張舗装	○	○	○	○	㎡		
割板石張舗装	○	○	○	○	㎡		
小舗石舗装	○	○	○	○	㎡		
切板石張舗装	○	○	○	○	㎡		
延　段	○	○	○	○	㎡		
飛　石	○	○	○	×	個		

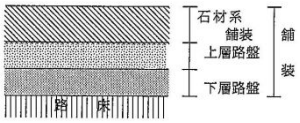
（2）材料数量算出項目及び石材系舗装工区分一覧表

石材系舗装工区分 / 項目	砂利舗装	砕石舗装	平石張舗装	ごろた石張舗装	玉石張舗装	割板石張舗装	小舗石舗装	切板石張舗装	延段	飛石	単位	数量	備考
路盤（歩道部）	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	㎡		
コンクリート	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	m^3		
型枠	×	×	○	×	×	○	○	○	×	×	㎡		
溶接金網	○	×	○	×	×	○	○	○	×	×	㎡		
伸縮目地	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	m		
モルタル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	m^3		
表層	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	㎡		
表面処理	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	㎡		

（3）路盤・舗装厚区分及び規格区分

舗装の厚さ及び材料の規格（形状、材質、色等）ごとに区分して算出する。

（石材系舗装の構成）



（4）施工幅区分

施工幅（W）による区分は、下記のとおりとする。

② W＝1.4m 未満

② W＝1.4m 以上

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床堀・埋戻し）の数量は、別途算出する。

4.5.13 舗装仮復旧工

1．適用

公園緑地工事におけるアスファルト舗装及びコンクリート舗装等の舗装仮復旧工に適用する。

ただし、不陸整正を施工する場合は「第３編（道路編）１章 舗装工１．１ 不陸整正」、下層路盤、上層路盤、基層、表層を施工する場合は「第３編（道路編）３章道路維持修繕工 3.4 道路打換工」を、公園アスファルト舗装を施工する場合は本数量算出要領４．５．６アスファルト系舗装工を、公園コンクリート舗装、インターロッキング舗装、平板舗装を施工する場合は本数量算出要領４．５．７コンクリート系舗装工を適用する。

4.5.14 園路縁石工

1．適用

公園緑地工事において、園路広場の舗装等を区分する縁石の設置等に係わる園路縁石工に適用する。

2．数量算出項目

コンクリ-ト縁石、現場打縁石、駒止めブロック、舗装止め、擬石縁石、レンガ縁石、木縁石、見切材（仕切材）、石材縁石、縁石高さ調整の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、縁石種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	縁石種類	規格(材料)	単位	数量	備考
コンクリート縁石	○	○	m		
現場打縁石	×	○	m		
駒止めブロック	○	○	m		
舗装止め	○	○	m		
擬石縁石	○	○	m		
レンガ縁石	○	○	m		
木 縁 石	○	○	m		
見切材（仕切材）	○	○	m		
石材縁石	○	○	m		
縁石高さ調整	○	○	m		

（2）材料数量算出項目及び一覧表

園路縁石工区分 ＼ 項目	コンクリート縁石	現場打縁石	駒止めブロック	舗装止め	擬石縁石	レンガ縁石	木縁石	見切材（仕切材）	石材縁石	縁石高さ調整	単位	数量	備考
基面整正	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	m^2		
基礎砕石	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	m^2		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	×	○	○	○	○	×	○	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	×	○	○	○	○	×	○	×	m^2		
コンクリート	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	m^2		
型枠	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	m		
モルタル	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	m^3		
縁石	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	m^2		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床堀・埋戻し）の数量は、別途算出する。

4.5.15　区画線工

1．適用

公園緑地工事において、交通の安全を図り、円滑な運行を期するために主として道路路面上の区画線の設置及び消去に係わる区画線工に適用する。

ただし、溶融式区画線、ペイント式区画線、区画線消去を施工する場合は「第３編（道路編）２章付属施設工２．５道路付属施設工２．５．１区画線工、高視認性区画線工」を適用する。

2．数量算出項目

ロープ区画線、ロープ止め等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 ＼ 項目	種類	規格(材料)	単位	数量	備考
ロープ区画線	○	○	m		
ロープ止め	○	○	本		

（2）材料数量算出項目及び区画線工区分一覧表

区画線工区分 ＼ 項目	ロープ区画線	ロープ止め	単位	数量	備考
ロープ	○	×	m		
止杭	×	○	本		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

4.5.16　階段工

1．適用

公園緑地工事において、園路広場の段差や園路の急勾配を解消する階段の設置等に係わる階段工に適用する。

2．数量算出項目

コンクリート階段、コンクリートブロック階段、丸太階段、擬木階段、石材階段、階段高さ調整、スロープ、手すりの数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、階段規格、材料種類、材料規格、コンクリート規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	階段規格	材料種類	材料規格	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	単位	数量	備考
コンクリート階段	○	×	○	○	箇所		
コンクリートブロック階段	○	○	○	○	箇所		
丸太階段	○	○	○	×	段		
擬木階段	○	○	○	×	段		
石材階段	○	○	○	○	段		
階段高さ調整	○	○	○	○	㎡		
スロープ	×	○	○	○	式		
手すり	×	○	○	○	m		

（2）材料数量算出項目及び階段工区分一覧表

階段工区分一覧表 / 項目	コンクリート階段	コンクリートブロック階段	丸太階段	擬木階段	石材階段	階段高さ調整	スロープ	手すり	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	○	×	○	○	○	○	○	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	×	○	○	○	○	○	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	×	○	○	○	○	○	㎡		
コンクリート	○	○	×	○	○	○	○	○	m^3		
型枠	○	○	×	○	○	○	○	○	㎡		
鉄筋	○	○	×	×	○	○	○	○	t		
溶接金網	○	○	×	×	○	○	○	×	㎡		
モルタル	○	○	×	×	○	○	×	○	m^3		
左官仕上げ	○	○	×	×	×	○	×	○	㎡		
基礎ブロック	×	×	×	×	×	×	×	○	基		
階段設置	×	○	○	○	○	○	×	×	m･段		
手すり	×	×	×	×	×	×	×	○	式		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.5.17 公園橋工

1．適用

公園緑地工事において、利用・管理動線上に河川等の障害物等を解消するための公園橋の設置等に係わる公園橋工に適用する。

2．数量算出項目

公園橋橋台、公園橋設置、八ツ橋、石橋橋台、石橋設置、木橋橋台、木橋設置、浮き桟橋の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、公園橋規格、材料種類、材料規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	公園橋規格	材料種類	材料規格	単位	数量	備考
公園橋橋台	○	×	○	箇所		
公園橋設置	○	○	○	基		
八ッ橋	○	○	○	基		
石橋橋台	○	×	○	箇所		
石橋設置	○	○	○	基		
木橋橋台	○	×	○	箇所		
木橋設置	○	○	○	基		
浮き桟橋	○	○	×	箇所		

（2）材料数量算出項目及び公園橋工区分一覧表

階段工区分 / 項目	公園橋橋台	公園橋設置	八ツ橋	石橋橋台	石橋設置	木橋橋台	木橋設置	浮き桟橋	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	×	○	○	×	○	×	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	○	○	×	○	×	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	○	○	×	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	○	○	○	×	○	×	×	m^3		
型枠	○	○	○	○	×	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	○	○	○	×	○	×	×	t		
モルタル	○	○	○	○	×	×	×	×	m^3		
塗装仕上げ	○	○	○	×	×	○	○	×	m^2		
加工仕上げ	○	×	×	×	×	○	×	×	m^2		
左官仕上げ	○	○	○	○	○	×	×	×	m^2		
タイル仕上げ	○	○	×	×	×	×	×	×	m^2		
石仕上げ	○	○	×	○	○	×	×	×	m^2		
表面仕上げ	×	×	×	○	○	○	×	×	m^2		
人造石研ぎ出し	○	○	×	×	×	×	×	×	m^2		
人造石洗い出し	○	○	×	×	×	×	×	×	m^2		
橋設置	×	○	○	×	○	×	○	○	式		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.5.18　デッキ工

1．適用

公園緑地工事において、利用者の休息（休養）に供するデッキの設置等に係わるデッキ工に適用する。

2．数量算出項目

デッキ基礎、デッキ設置等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、デッキ種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	デッキ種類	規格	単位	数量	備考
デッキ基礎	○	○	基		
デッキ設置	○	○	基		

（2）材料数量算出項目及びデッキ工区分一覧表

デッキ工区分 / 項目	デッキ基礎	デッキ設置	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	m^2		
コンクリート	○	×	m^3		
型枠	○	×	m^2		
鉄筋	○	×	t		
モルタル	○	×	m^3		
左官仕上げ	○	×	m^2		
デッキ設置	×	○	式		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.5.19　視覚障害者誘導用ブロック工

1．適用

公園緑地工事において、視覚障害者を園路広場に沿って安全に誘導する誘導用ブロックの設置等に係わる視覚障害者誘導用ブロック工に適用する。

ただし、視覚障害者誘導用ブロック、視覚障害者誘導用点字シートを施工する場合は「第３編（道路編）２章付属施設工２．５道路付属施設工２．５．２路側工」を適用する。

4.5.20　作業土工

１．適用

公園緑地工事において、目的物を施工するために行う現地盤面の床掘りおよび計画面まで埋戻す土工等に係わる作業土工に適用する。
ただし、床掘り、埋戻しを施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工２．１．２作業土工」を適用する。

4.5.21　植樹ブロック工

１．適用

公園緑地工事において、植樹桝に用いる植樹ブロックの設置に係わる植樹ブロック工に適用する。
ただし、植樹ブロックを施工する場合は本数量算出要領 4.5.14 園路縁石工を適用する。

２．数量算出項目

植樹ブロックの数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、植樹ブロック、重量とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	ブロック規格	単位	数量	備考
植樹ブロック	○	m		

4.6 修景施設整備工

4.6.1　石組工

１．適用

公園緑地工事において、滝、池、流れ等に設置する自然石の石組に係わる石組工に適用する。

２．数量算出項目

石組、景石等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、石材種類、石材規格、重量とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	石材種類	石材規格	重量	単位	数量	備考
石組	○	○	○	個		
景石	○	○	○	個		

（２）材料数量算出項目及び石組工区分一覧表

石組工区分 / 項目	石組	景石	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	○	m^3		

石　組	○	○	t		

（3）景石規格と実重量区分一覧表

景石規格(t／個)	景 石 実 重 量	景石規格(t／個)	景 石 実 重 量
0.5	～0.75ｔ以下	2.0	1.75ｔ～ 2.5ｔ以下
1.0	0.75ｔ～1.25ｔ以下	3.0	2.5 ｔ～ 4.5ｔ以下
1.5	1.25ｔ～1.75ｔ以下	4.0	4.5 ｔ～ 4.5ｔ以下

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.6.2　添景物工

1．適用

公園緑地工事において、茶庭や和風庭園等に設ける添景物に係わる添景物工に適用する。

2．数量算出項目

つくばい、井筒、灯篭、石塔、擬岩造形等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、添景物種類、添景物規格、石材種類とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分／項目	添景物種類	添景物規格	石材種類	単位	数量	備考
つくばい	○	○	○	基		
井筒	○	○	○	基		
灯篭	○	○	○	基		
石塔	○	○	○	基		
擬岩造形	○	○	×	基		

（2）材料数量算出項目及び添景物工区分一覧表

項　目＼添景物工区分	つくばい	井筒	灯篭	石塔	擬岩造形	単位	数　量	備　考
基礎砕石・栗石	○	○	○	○	○	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	○	○	○	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	○	○	○	m^2		
金網	×	×	×	×	○	m^2		
モルタル	○	○	○	○	○	m^3		
石組	○	○	○	○	×	t		
ごろた石敷	○	○	○	○	×	m^2		
添景物設置	○	○	○	○	×	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.6.3　袖垣・垣根工

1．適用

公園緑地工事において、目隠し、仕切等多元的に加え、修景と装飾を強調した袖垣・垣根の設置等に係わる袖垣・垣根工に適用する。

2．数量算出項目

袖垣・垣根の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

項目＼区分	種　類	規　格	単位	数　量	備　　考
袖垣	○	○	箇所		
垣根	○	○	m		

（2）材料数量算出項目及び袖垣・垣根工区分一覧表

項　目＼袖垣・垣根工区分	袖　垣	垣　根	単位	数　量	備　考
袖垣・垣根設置	○	○	箇所・m		

4．数量算出方法

数量の算出方法は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.6.4　花壇工

1．適用

公園緑地工事において、植物の種類・品種を組み合わせて、観賞用の植物群落をつくる花壇の設置等に係わる花壇工に適用する。

2．数量算出項目

花壇、プランターの数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格、形状とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	種類	規格	形状	単位	数量	備考
花壇	○	○	○	箇所		
プランター	○	○	×	基		

（2）材料数量算出項目及び花壇工区分一覧表

花壇工区分 / 項目	花壇	ﾌﾟﾗﾝﾀｰ	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	m^2		
コンクリート	○	×	m^3		
型枠	○	×	m^2		
鉄筋	○	×	t		
モルタル	○	×	m^3		
左官仕上げ	○	×	m^2		
レンガ縁石	○	×	m		
プランター	×	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.6.5　トレリス工

1．適用

公園緑地工事において、目隠し、仕切等の目的に修景を強調した垣根で、植物を絡ませるトレリスの設置等に係わるトレリス工に適用する。

2．数量算出項目

トレリス、緑化フェンス等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	種類	規格	単位	数量	備考
トレリス	○	○	基		
緑化フェンス	○	○	m		

（2）材料数量算出項目及びトレリス工区分一覧表

トレリス工区分 項　目	トレリス	緑化フェンス	単位	数　量	備　　考
基礎砕石・栗石	○	○	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	m^2		
コンクリート	○	○	m^3		
型枠	○	○	m^2		
基礎ブロック	○	○	個		
トレリス	○	×	基		
緑化フェンス	×	○	m		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.6.6　モニュメント工

1．適用

公園緑地工事において、歴史や風土、事業の記念などを修景的に強調したモニュメントの設置等に係わるモニュメント工に適用する。

2．数量算出項目

モニュメント、記念碑等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	種　類	規　格	単位	数　量	備　　考
モニュメント	○	○	基		
記念碑	○	○	基		

（2）材料数量算出項目及びモニュメント工区分一覧表

モニュメント工区分 項　目	モニュメント	記念碑	単位	数　量	備　考
基礎砕石・栗石	○	○	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	m^2		
コンクリート	○	○	m^3		
型枠	○	○	m^2		
鉄筋	○	○	t		
モ ル タ ル	○	○	m^3		
塗装仕上げ	○	×	m^2		
加工仕上げ	○	×	m^2		
左官仕上げ	○	○	m^2		
タイル仕上げ	○	×	m^2		
石 仕 上 げ	○	×	m^2		
人造石研ぎ出し	○	×	m^2		
人造石洗い出し	○	×	m^2		
モニュメント	○	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.6.7　小規模水景施設工

1．適用

公園緑地工事において、標準図がある、または単一断面である場合の小規模水景施設工に適用する。

2．数量算出項目

流れ、滝、池、州浜、壁泉、カスケード、カナール等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	種　類	単位	数　量	備　　考
流れ	○	箇所		
滝	○	箇所		
池	○	箇所		
州浜	○	箇所		
壁泉	○	箇所		
カスケード	○	箇所		
カナール	○	箇所		

（2）材料数量算出項目及び小規模水景施設工区分一覧表

小規模水景施設工区分 / 項　目	流れ	滝	池	州浜	壁泉	カスケード	カナール	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	○	○	○	○	○	○	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	○	○	○	○	○	m^3		
コンクリート	○	○	○	○	○	○	○	m^3		
型枠	○	○	○	○	○	○	○	m^2		
鉄筋	○	○	○	○	○	○	○	t		
防水	○	○	○	○	○	○	○	m^2		
塗装仕上げ	○	×	○	×	○	○	○	m^2		
加工仕上げ	○	○	○	○	○	○	○	m^2		
左官仕上げ	○	○	○	○	○	○	○	m^2		
タイル仕上げ	○	×	○	×	○	○	○	m^2		
石仕上げ	○	○	○	○	○	○	○	m^2		
護岸	○	×	○	×	×	×	×	式		
石組	○	×	○	○	×	×	×	式		
滝石組	×	○	×	×	×	×	×	式		
沢飛	○	×	×	×	×	×	×	個		
流出口	○	×	○	×	○	○	○	箇所		
吐出口	○	○	○	×	○	○	○	箇所		

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）　各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.6.8 修景施設修繕工

１．適用

公園緑地工事における修景施設の補修・改修などの修繕に係わる修景施設修繕工に適用する。

4.6.9　作業土工

１．適用

公園緑地工事において、目的物を施工するために行う現地盤面の床掘りおよび計画面まで埋戻す土工等に係わる作業土工に適用する。

ただし、床掘り、埋戻しを施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工２．１．２作業土工」を適用する。

4.6.10　水景施設工

１．適用

公園緑地工事における水景施設工に適用する。

2．数量算出項目

公園基礎材、公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ、コンクリート、鉄筋、型枠、防水、塗装仕上げ、加工仕上げ、左官仕上げ、タイル仕上げ、石仕上げ、護岸、石組、滝石組、沢飛、流出口、吐出口等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	規格	単位	数量	備考
公園基礎材	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	m^3		
コンクリート	○	m^3		
鉄筋	○	t		
型枠	○	m^2		
防水	○	m^2		
シール材	○	m		
塗装仕上げ	○	m^2		
加工仕上げ	○	m^2		
左官仕上げ	○	m^2		
タイル仕上げ	○	m^2		
石仕上げ	○	m^2		
護岸	○	m		
石組	○	個		
滝石組	○	個		
沢飛	○	個		
流出口	○	箇所		
吐出口	○	箇所		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.7 遊戯施設整備工

4.7.1 遊具組立設置工

1．適用

公園緑地工事において、利用者の遊戯に供する施設の設置等に係わる遊具組立設置工に適用する。

2．数量算出項目

ブランコ、ジャングルジム、滑台、シーソー、鉄棒、ラダー、はん登棒、スプリング遊具、複合遊具、アスレチック遊具、健康遊具施設、安全柵、安全マット等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、遊具種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	種類	規格	単位	数量	備考
ブランコ	○	○	基		
ジャングルジム	○	○	基		
滑台	○	○	基		
シーソー	○	○	基		
鉄棒	○	○	基		
ラダー	○	○	基		
はん登棒	○	○	基		
スプリング遊具	○	○	基		
複合遊具	○	○	基		
アスレチック遊具	○	○	基		
健康遊具施設	○	○	基		
安全柵	○	○	基		
安全マット	○	○	㎡		

（2）材料数量算出項目及び遊具組立設置工区分一覧表

遊具組立設置工区分 / 項目	ブランコ	ジャングルジム	滑台	シーソー	鉄棒	ラダー	はん登棒	スプリング遊具	複合遊具	アスレチック遊具	健康遊具施設	安全柵	安全マット	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	㎡		
コンクリート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	m^3		
型枠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	㎡		
鉄筋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	t		
モルタル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	m^3		
塗装仕上げ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	㎡		
安全柵	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	基		
安全マット	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	㎡		
遊具設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.7.2　小規模現場打遊具工

1．適用

公園緑地工事において、標準図がある、または単一断面である場合の小規模現場打遊具工に適用する。

2．数量算出項目

砂場、現場打遊具、徒渉池の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	種　類	規　格	単位	数　量	備　　考
砂　場	×	○	箇所		
現場打遊具	○	×	箇所		
徒渉池	○	○	箇所		

（2）材料数量算出項目及び小規模現場打遊具工区分一覧表

小規模現場打遊具区分 / 項目	砂　場	現場打遊　具	徒渉池	単位	数　量	備　　考
公園基礎材	○	○	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	○	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	○	m^2		
コンクリート	○	○	○	m^3		
鉄筋	○	○	○	m^2		
型枠	○	○	○	t		
防水	×	×	○	m^2		
塗装仕上げ	○	○	○	m^2		
加工仕上げ	○	○	○	m^2		
左官仕上げ	○	○	○	m^2		
タイル仕上げ	○	○	○	m^2		
石仕上げ	○	○	○	m^2		
特殊仕上げ	○	○	×	m^2		
砂	○	×	×	m^3		
石取付	×	○	×	箇所		
付属施設取付	×	○	×	式		
流出口	×	×	○	箇所		
吐出口	×	×	○	箇所		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.7.3　遊具施設修繕工

１．適用

公園緑地工事における遊具施設の補修・改修などの修繕に係わる遊具施設修繕工に適用する。

4.7.4　作業土工

１．適用

公園緑地工事において、目的物を施工するために行う現地盤面の床掘りおよび計画面まで埋戻す土工等に係わる作業土工に適用する。

ただし、床掘り、埋戻しを施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２．１土工２．１．２作業土工」を適用する。

4.7.5　現場打遊具工

１．適用

公園緑地工事において、現場打遊具の設置等に係わる現場打遊具工に適用する。

２．数量算出項目

公園基礎材、公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ、公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠、コンクリート、鉄筋、型枠、防水、塗装仕上げ、加工仕上げ、左官仕上げ、タイル仕上げ、石仕上げ、特殊仕上げ、砂、石取付、砂場枠、付属施設取付、流出口、吐出口等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	規格	単位	数量	備考
公園基礎材	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	m^2		
コンクリート	○	m^3		
鉄筋	○	t		
型枠	○	m^2		
防水	○	m^2		
シール材	○	m		
塗装仕上げ	○	m^2		
加工仕上げ	○	m^2		
左官仕上げ	○	m^2		
タイル仕上げ	○	m^2		
石仕上げ	○	m^2		
特殊仕上げ	○	m^2		
砂	○	m^3		
石取付	○	箇所		
砂場枠	○	m		
付属施設取付	○	式		
流出口	○	箇所		

吐出口	○	箇所		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1） 各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.8 サービス施設整備工

4.8.1 時計台工

1．適用

公園緑地工事において、時計台の設置等に係わる時計台工に適用する。

2．数量算出項目

時計台等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、時計台種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	時計台種類	規格	単位	数量	備考
時計台	○	○	基		

（2）材料数量算出項目及び時計台工区分一覧表

時計台工区分 / 項目	時計台	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	m^2		
コンクリート	○	m^3		
型枠	○	m^2		
鉄筋	○	t		
モルタル	○	m^3		
塗装仕上げ	○	m^2		
左官仕上げ	○	m^2		
時計台設置	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.8.2 水飲み場工

1．適用

公園緑地工事において、水飲み場の設置等に係わる水飲み場工に適用する。

2．数量算出項目

水飲み場等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、水飲み場種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	水飲み場種類	規格	単位	数量	備考
水飲み場	○	○	基		

（2）材料数量算出項目及び水飲み場工区分一覧表

水飲み場工区分 項目	水飲み場	単位	数量	備考
公園基礎材	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	m^2		
コンクリート	○	m^3		
型枠	○	m^2		
鉄筋	○	t		
モルタル	○	m^3		
左官仕上げ	○	m^2		
タイル仕上げ	○	m^2		
石仕上げ	○	m^2		
人造石研ぎ出し	○	m^2		
人造石洗い出し	○	m^2		
水栓類	○	個		
給水管路	○	m		
排水桝	○	基		
グレーチング蓋	○	組		
水飲み場設置	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.8.3　洗い場工

1．適用

公園緑地工事において、洗い場の設置等に係わる洗い場工に適用する。

2．数量算出項目

手洗い場、足洗い場等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、洗い場種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	洗い場種類	規　格	単位	数　量	備　　考
手洗い場	○	○	基		
足洗い場	○	○	基		

（2）材料数量算出項目及び洗い場工区分一覧表

洗い場工区分 項　目	手洗い場	足洗い場	単位	数　量	備　　考
公 園 基 礎 材	○	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	m^2		
コンクリート	○	○	m^3		
型枠	○	○	m^2		
鉄筋	○	○	t		
モ ル タ ル	○	○	m^3		
左官仕上げ	○	○	m^2		
タイル仕上げ	○	○	m^2		
石 仕 上 げ	○	○	m^2		
人造石研ぎ出し	○	○	m^2		
人造石洗い出し	○	○	m^2		
水 栓 類	○	○	個		
給水管路	○	○	m		
排 水 桝	○	○	基		
グレーチング蓋	○	○	組		
洗い場設置	○	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.8.4　ベンチ・テーブル工

1．適用

公園緑地工事において、利用者の休息に供するベンチ・テーブルの設置等に係わるベンチ・テーブル工に適用する。

2．数量算出項目

ベンチ、縁台、テーブル、スツール、野外卓等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	種　類	規　格	単位	数　量	備　　考
ベ ン チ	○	○	基		
縁　　台	○	○	基		

テーブル	○	○	基		
スツール	○	○	基		
野 外 卓	○	○	基		

（2）材料数量算出項目及びベンチ・テーブル工区分一覧表

ベンチ・テーブル工区分 ＼ 項　目	ベンチ	縁台	テーブル	スツール	野外卓	単位	数量	備考
公 園 基 礎 材	○	○	○	○	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	○	○	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	○	○	○	m^2		
コンクリート	○	○	○	○	○	m^3		
型枠	○	○	○	○	○	m^2		
鉄筋	○	○	○	○	○	t		
モ ル タ ル	○	○	○	○	○	m^3		
左官仕上げ	○	○	○	○	○	m^2		
基礎ブロック	○	○	○	○	○	個		
ベンチ・テーブル設置	○	○	○	○	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.8.5　野外炉工

1．適用

公園緑地工事において、利用者の炊事等の利便に供する野外炉の設置等に係わる野外炉工に適用する。

2．数量算出項目

野外炉等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、野外炉種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 ＼ 項　目	野外炉種類	規　格	単位	数　量	備　　考
野外炉	○	○	基		

（2）材料数量算出項目及び野外炉工区分一覧表

項　目＼野外炉工区分	野外炉	単位	数　量	備　　考
公園基礎材	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	m^2		
コンクリート	○	m^3		
型枠	○	m^2		
鉄筋	○	t		
モルタル	○	m^3		
左官仕上げ	○	m^2		
タイル仕上げ	○	m^2		
石仕上げ	○	m^2		
基礎ブロック	○	m^2		
レンガ積（張）	○	m^2		
ダクタイル鋳鉄蓋	○	枚		
野外炉設置	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.8.6　炊事場工

1．適用

公園緑地工事において、炊事場の設置等に係わる炊事場工に適用する。

2．数量算出項目

炊事場等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

項　目＼区　分	種　類	規　格	単位	数　量	備　　考
炊事場	○	○	箇所		

（2）材料数量算出項目及び炊事場工区分一覧表

炊事場工区分 項　目	炊事場	単位	数　量	備　考
公園基礎材	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	m^2		
コンクリート	○	m^3		
型枠	○	m^2		
鉄筋	○	t		
モ ル タ ル	○	m^3		
左官仕上げ	○	m^2		
タイル仕上げ	○	m^2		
石 仕 上 げ	○	m^2		
人造石研ぎ出し	○	m^2		
人造石洗い出し	○	m^2		
水 栓 類	○	個		
給水管路	○	m		
排 水 桝	○	基		
グレーチング蓋	○	組		
炊事場設置	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.8.7　サイン施設工

1．適用

公園緑地工事において、利用者の円滑な利用を維持し増進するためのサイン施設の設置等に係わるサイン施設工に適用する。

2．数量算出項目

サイン等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、サイン施設種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	サイン施設種類	規　格	単位	数　量	備　　考
サイン	○	○	基		

（2）材料数量算出項目及びサイン施設工区分一覧表

サイン施設工区分 項　目	サイン	単位	数　量	備　考
公園基礎材	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	m^2		
コンクリート	○	m^3		
型枠	○	m^2		
鉄筋	○	t		
モ ル タ ル	○	m^3		
左官仕上げ	○	m^2		
タイル仕上げ	○	m^2		
石 仕 上 げ	○	m^2		
加工仕上げ	○	m^2		
サイン設置	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.8.8　サービス施設修繕工

1．適用

公園緑地工事におけるサービス施設の補修･改修などの修繕に係わるサービス施設修繕工に適用する。

4.9 管理施設整備工

4.9.1　リサイクル施設工

1．適用

公園緑地工事において、公園内で発生するごみ等を再利用するためリサイクル施設の設置等に係わるリサイクル施設工に適用する。

2．数量算出項目

リサイクル施設基礎、リサイクル施設設置、リサイクル施設設備等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、リサイクル施設種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	リサイクル施設種類	規　格	単位	数　量	備　　考
ﾘｻｲｸﾙ施設基礎	○	○	基		
ﾘｻｲｸﾙ施設設置	○	○	基		
ﾘｻｲｸﾙ施設設備	○	○	式		

（2）材料数量算出項目及びリサイクル施設工区分一覧表

ﾘｻｲｸﾙ施設工区分 項　目	ﾘｻｲｸﾙ施設基　　礎	ﾘｻｲｸﾙ施設設　置	ﾘｻｲｸﾙ施設設　　備	単位	数　量	備　　考
基礎砕石・栗石	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	×	×	m^3		
型枠	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	×	×	t		
モ ル タ ル	○	×	×	m^3		
塗装仕上げ	×	○	×	m^2		
リサイクル施設	×	○	×	基		
電気設備	×	×	○	式		
電線管路	×	×	○	m		
電線	×	×	○	m		
水 栓 類	×	×	○	個		
給水管路	×	×	○	m		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.9.2　ごみ焼却施設工

1．適用

公園緑地工事において、公園内で発生するごみ等を焼却する施設の設置等に係わるごみ焼却施設工に適用する。

2．数量算出項目

ごみ焼却施設基礎、ごみ焼却施設設置、ごみ焼却施設設備等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、ごみ焼却施設種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	ごみ焼却施設種類	規　格	単位	数　量	備　　考
ごみ焼却施設基礎	○	○	基		
ごみ焼却施設設置	○	○	基		
ごみ焼却施設設備	○	○	式		

（2）材料数量算出項目及びごみ焼却施設工区分一覧表

ごみ焼却施設工区分 項　目	ごみ焼却施設基礎	ごみ焼却施設設置	ごみ焼却施設設備	単位	数　量	備　考
基礎砕石・栗石	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	×	×	m^3		
型枠	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	×	×	t		
モルタル	○	×	×	m^3		
塗装仕上げ	×	○	×	m^2		
ごみ焼却施設	×	○	×	基		
電気設備	×	×	○	式		
電線管路	×	×	○	m		
電線	×	×	○	m		
水栓類	×	×	○	個		
給水管路	×	×	○	m		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.9.3　ごみ施設工

1．適用

公園緑地工事において、利用者が爽快に利用できるためのごみ集積施設の設置等に係わるごみ施設工に適用する。

2．数量算出項目

くず入れ、吸殻入れ、ごみ置場等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、ごみ施設種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	ごみ施設種　類	規　格	単位	数　量	備　　考
くず入れ	○	○	基		
吸殻入れ	○	○	基		
ごみ置場	○	○	箇所		

（2）材料数量算出項目及びごみ施設種類一覧表

ごみ施設工区分 項　目	くず入れ	吸殻入れ	ごみ置場	単位	数　量	備　　考
基礎砕石・栗石	○	○	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	○	m^2		
コンクリート	○	○	○	m^3		
型枠	○	○	○	m^2		
鉄筋	○	○	○	t		
モルタル	○	○	○	m^3		
左官仕上げ	○	○	○	m^2		
タイル仕上げ	×	×	○	m^2		
ごみ施設	○	○	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.9.4　井戸工

1．適用

公園緑地工事において、井戸設置に係わる井戸工に適用する。

2．数量算出項目

さく井、手押ポンプ、井戸設備等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、工法、削孔深、ｹｰｼﾝｸﾞ種類、種類、規格、仕上げ種類とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	工　法	削孔深	ｹｰｼﾝｸﾞ 種　類	種　類	規　格	仕上げ 種　類	単位	数量	備考
さ　く　井	○	○	○	×	×	×	式		
手押ポンプ	×	×	×	○	○	○	基		
井戸設備	×	×	×	○	○	×	式		

（2）材料数量算出項目及び井戸工区分一覧表

井戸工区分 項　目	さく井	手　押 ポンプ	井　戸 設　備	単位	数　量	備　　考
さ　く　井	○	×	×	式		
手押ポンプ	×	○	×	基		
井 戸 設 備	×	×	○	式		
基礎砕石・栗石	○	○	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	○	m^2		
コ ン ク リ ー ト	○	○	○	m^3		
型枠	○	○	○	m^2		
鉄筋	○	○	○	t		
モ ル タ ル	○	○	○	m^3		
左官仕上げ	○	○	○	m^2		
各種仕上げ	×	×	○	m^2		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.9.5　門扉工

1．適用

公園緑地工事において、主要入口や特定施設の入口に設ける門及び扉の設置等に係わる門扉工に適用する。

2．数量算出項目

門壁、門柱、門扉等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	種　類	規　格	単位	数　量	備　　考
門壁	○	○	基		
門柱	○	○	基		
門扉	○	○	箇所		

（2）材料数量算出項目及び門扉工区分一覧表

門扉工区分 項　目	門　壁	門　柱	門　扉	単位	数　量	備　　考
基礎砕石・栗石	○	○	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	×	m^2		
コンクリート	○	○	×	m^3		
型枠	○	○	×	m^2		
鉄筋	○	○	×	t		
モルタル	○	○	×	m^3		
塗装仕上げ	○	○	×	m^2		
加工仕上げ	○	○	×	m^2		
左官仕上げ	○	○	×	m^2		
石仕上げ	○	○	×	m^2		
タイル仕上げ	○	○	×	m^2		
人造石研ぎ出し	○	○	×	m^2		
人造石洗い出し	○	○	×	m^2		
門壁設置	○	○	×	基		
門柱設置	○	○	×	基		
門扉設置	×	×	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.9.6　柵工

1．適用

公園緑地工事において、敷地境界、施設の仕切、区画、保安等を目的とした柵の設置等に係わる柵工に適用する。

ただし、転落（横断）防止柵、ガードレール、ガードケーブル、ガードパイプを施工する場合は「第３編（道路編）２章付属施設工２．２防護柵設置工２．２．１防護柵工」を適用する。基礎ブロック、鋼管基礎、金網・支柱(立入防止柵)、門扉を施工する場合は「第３編（道路編）２章付属施設工２．２防護柵設置工２．２．3 立入防止柵工」を適用する。

2．数量算出項目

フェンス、柵、手すり等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、柵種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	柵種類	規　格	単位	数　量	備　　考
フェンス	○	○	m		
柵	○	○	m		
手すり	○	○	m		

（2）材料数量算出項目及び柵工区分一覧表

項目＼柵工区分	フェンス	柵	手すり	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	○	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	○	m^2		
コンクリート	○	○	○	m^3		
型枠	○	○	○	m^2		
鉄筋	○	○	○	t		
モルタル	○	○	○	m^3		
塗装仕上げ	×	○	○	m^2		
左官仕上げ	×	○	○	m^2		
基礎ブロック	○	○	○	個		
金網・支柱	○	×	×	m		
支柱工	○	×	×	本		
柵設置	○	○	○	m		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.9.7　車止め工

1．適用

公園緑地工事において、自動車の進入を防止する目的で設ける車止めの設置等に係わる車止め工に適用する。

ただし、車止めポストを施工する場合は「第３編（道路編）２章付属施設工２．２防護柵設置工２．２．４車止めポスト設置工」を適用する。

2．数量算出項目

車止め、車椅子ゲート等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、車止め種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

項目＼区分	車止め種類	規格	単位	数量	備考
車止め	○	○	基		
車椅子ゲート	×	○	基		

（2）数量算出項目及び車止め工区分一覧表

車止め工区分 項　目	車止め	車椅子 ゲート	単位	数　量	備　　考
基礎砕石・栗石	○	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	m^2		
コンクリート	○	○	m^3		
型枠	○	○	m^2		
鉄筋	○	○	t		
モルタル	○	○	m^3		
塗装仕上げ	○	○	m^2		
左官仕上げ	○	○	m^2		
加工仕上げ	○	○	m^2		
基礎ブロック	○	○	個		
車止め設置	○	×	基・本		
車椅子ゲート	×	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.9.8　園名板工

1．適用

公園緑地工事において、利用者に公園緑地の名称を周知させるための園名板の設置等に係わる園名板工に適用する。

2．数量算出項目

園名板等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、園名板種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	園名板種類	規　格	単位	数　量	備　　考
園名板	○	○	基		

（2）材料数量算出項目及び園名板工区分一覧表

園名板工区分 項　目	園名板	単位	数　量	備　　考
基礎砕石・栗石	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	m^2		
コンクリート	○	m^3		
型枠	○	m^2		
鉄筋	○	t		
モルタル	○	m^3		
塗装仕上げ	○	m^2		
左官仕上げ	○	m^2		
加工仕上げ	○	m^2		
石仕上げ	○	m^2		
タイル仕上げ	○	m^2		
人造石研ぎ出し	○	m^2		
人造石洗い出し	○	m^2		
園名板設置	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.9.9　掲揚ポール工

1．適用

公園緑地工事において、国旗や式典旗を掲揚する掲揚ポールの設置等に係わる掲揚ポール工に適用する。

2．数量算出項目

掲揚ポール等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、掲揚ポール種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	掲揚ポール種類	規　格	単位	数　量	備　　考
掲揚ポール	○	○	基		

（2）材料数量算出項目及び掲揚ポール工区分一覧表

掲揚ポール工区分 項　目	掲揚ポール	単位	数　量	備　　考
基礎砕石・栗石	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	m^2		
コンクリート	○	m^3		
型枠	○	m^2		
鉄筋	○	t		
モルタル	○	m^3		
塗装仕上げ	○	m^2		
左官仕上げ	○	m^2		
基礎ブロック	○	個		
掲揚ポール設置	○	基		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.9.10　反射鏡工

1．適用

公園緑地工事において、反射鏡の設置等に係わる反射鏡工に適用する。

2．数量算出項目

カーブミラー等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	種　類	規　格	単位	数　量	備　　考
カーブミラー	○	○	基		

（２）材料数量算出項目及び反射鏡工区分一覧表

反射鏡工区分 項　目	カーブミラー	単位	数　量	備　　考
基礎砕石・栗石	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	m^2		
コンクリート	○	m^3		
型枠	○	m^2		
鉄筋	○	t		
モルタル	○	m^3		
塗装仕上げ	○	m^2		
左官仕上げ	○	m^2		
基礎ブロック	○	個		
カーブミラー設置	○	基		

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.9.11　境界工

１．適用

公園緑地工事において、境界の設置等に係わる境界工に適用する。
ただし、境界杭、境界鋲を施工する場合は「第３編（道路編）２章付属施設工２．５道路付属施設工２．５．３境界工」を適用する。

4.9.12　管理施設修繕工

１．適用

公園緑地工事における管理施設設備の補修･改修などの修繕に係わる管理施設設備修繕工に適用する。

４.１０　建築施設組立設置工

4.10.1　四阿工

１．適用

公園緑地工事において、屋根と柱で構成された休憩用和風建築物の設置等に係わる四阿工に適用する。

２．数量算出項目

四阿基礎、四阿設置、四阿設備等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、四阿種類、規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	四阿種類	規　格	単位	数　量	備　　考
四阿基礎	○	○	基		
四阿設置	○	○	基		
四阿設備	○	○	式		

（2）材料数量算出項目及び四阿工区分一覧表

四阿工区分 項　目	四阿基礎	四阿設置	四阿設備	単位	数　量	備　　考
基礎砕石・栗石	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	×	×	m^3		
型枠	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	×	×	t		
モルタル	○	×	×	m^3		
塗装仕上げ	×	○	×	m^2		
左官仕上げ	×	○	×	m^2		
タイル仕上げ	×	○	×	m^2		
石仕上げ	×	○	×	m^2		
人造石研ぎ出し	×	○	×	m^2		
人造石洗い出し	×	○	×	m^2		
四阿設置	×	○	×	式		
電気設備	×	×	○	式		
電線管路	×	×	○	m		
電線	×	×	○	m		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.10.2　パーゴラ工

1．適用

公園緑地工事において、屋根がルーバーや格子で構成され、休養と修景を兼ねたパーゴラの設置等に係わるパーゴラ工に適用する。

2．数量算出項目

パーゴラ基礎、パーゴラ設置、パーゴラ設備等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、パーゴラ種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	パーゴラ種類	規格	単位	数量	備考
パーゴラ基礎	○	○	基		
パーゴラ設置	○	○	基		
パーゴラ設備	○	○	式		

（2）材料数量算出項目及びパーゴラ工区分一覧表

パーゴラ工区分 項目	パーゴラ基礎	パーゴラ設置	パーゴラ設備	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	×	×	m^3		
型枠	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	×	×	t		
モルタル	○	×	×	m^3		
塗装仕上げ	×	○	×	m^2		
左官仕上げ	×	○	×	m^2		
タイル仕上げ	×	○	×	m^2		
石仕上げ	×	○	×	m^2		
人造石研ぎ出し	×	○	×	m^2		
人造石洗い出し	×	○	×	m^2		
パーゴラ設置	×	○	×	式		
電気設備	×	×	○	式		
電線管路	×	×	○	m		
電線	×	×	○	m		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.10.3　シェルター工

1．適用

公園緑地工事において、屋根と柱と壁で構成された休憩用建築物の設置等に係わるシェルター工に適用する。

2．数量算出項目

シェルター基礎、シェルター設置、シェルター設備等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、シェルター種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	シェルター種類	規格	単位	数量	備考
シェルター基礎	○	○	基		
シェルター設置	○	○	基		
シェルター設備	○	○	式		

（2）材料数量算出項目及びシェルター工区分一覧表

シェルター工区分 項目	シェルター基礎	シェルター設置	シェルター設備	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	×	×	m^3		
型枠	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	×	×	t		
モルタル	○	×	×	m^3		
塗装仕上げ	×	○	×	m^2		
左官仕上げ	×	○	×	m^2		
タイル仕上げ	×	○	×	m^2		
石仕上げ	×	○	×	m^2		
人造石研ぎ出し	×	○	×	m^2		
人造石洗い出し	×	○	×	m^2		
シェルター設置	×	○	×	式		
電気設備	×	×	○	式		
電線管路	×	×	○	m		
電線	×	×	○	m		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.10.4　キャビン（ロッジ）工

1．適用

公園緑地工事において、簡易宿泊のできる宿泊施設の設置等に係わるキャビン（ロッジ）工に適用する。

2．数量算出項目

キャビン（ロッジ）基礎、キャビン（ロッジ）設置、キャビン（ロッジ）設備等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、キャビン（ロッジ）種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	キャビン（ロッジ）種類	規格	単位	数量	備考
キャビン（ロッジ）基礎	○	○	基		
キャビン（ロッジ）設置	○	○	基		
キャビン（ロッジ）設備	○	○	式		

（2）材料数量算出項目及びキャビン（ロッジ）工区分一覧表

キャビン(ロッジ)工区分 項目	キャビン（ロッジ）基礎	キャビン（ロッジ）設置	キャビン（ロッジ）設備	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	×	×	m^3		
型枠	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	×	×	t		
モルタル	○	×	×	m^3		
塗装仕上げ	×	○	×	m^2		
左官仕上げ	×	○	×	m^2		
タイル仕上げ	×	○	×	m^2		
石仕上げ	×	○	×	m^2		
人造石研ぎ出し	×	○	×	m^2		
人造石洗い出し	×	○	×	m^2		
キャビン（ロッジ）設置	×	○	×	式		
電気設備	×	×	○	式		
電線管路	×	×	○	m		
電線	×	×	○	m		
給水設備	×	×	○	式		
水栓類	×	×	○	個		
給水管路	×	×	○	m		
排水管路	×	×	○	m		
排水桝	×	×	○	基		
インバート塗り	×	×	○	m^2		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.10.5　温室工

1．適用

公園緑地工事において、動物、昆虫、植物などが生息・成育できる温室の設置等に係わる温室工に適用する。

2．数量算出項目

温室基礎、温室設置、温室設備等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、温室種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	温室種類	規格	単位	数量	備考
温室基礎	○	○	基		
温室設置	○	○	基		
温室設備	○	○	式		

（2）材料数量算出項目及び温室工区分一覧表

温室工区分 / 項目	温室基礎	温室設置	温室設備	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	×	×	m^3		
型枠	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	×	×	t		
モルタル	○	×	×	m^3		
塗装仕上げ	×	○	×	m^2		
左官仕上げ	×	○	×	m^2		
タイル仕上げ	×	○	×	m^2		
石仕上げ	×	○	×	m^2		
人造石研ぎ出し	×	○	×	m^2		
人造石洗い出し	×	○	×	m^2		
温室設置	×	○	×	式		
電気設備	×	×	○	式		
電線管路	×	×	○	m		
電線	×	×	○	m		
給水設備	×	×	○	式		
水栓類	×	×	○	個		
給水管路	×	×	○	m		
排水管路	×	×	○	m		
排水桝	×	×	○	基		
インバート塗り	×	×	○	m^2		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.10.6　観察施設工

1．適用

公園緑地工事において、自然の状態で野鳥等を観察できる観察施設の設置等に係わる観察施設工に適用する。

2．数量算出項目

観察施設基礎、観察施設設置、観察施設設備等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、観察施設種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	観察施設種類	規格	単位	数量	備考
観察施設基礎	○	○	基		
観察施設設置	○	○	基		
観察施設設備	○	○	式		

（2）材料数量算出項目及び観察施設工区分一覧表

観察施設工区分 / 項目	観察施設基礎	観察施設設置	観察施設設備	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	×	×	m^3		
型枠	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	×	×	t		
モルタル	○	×	×	m^3		
塗装仕上げ	×	○	×	m^2		
左官仕上げ	×	○	×	m^2		
タイル仕上げ	×	○	×	m^2		
石仕上げ	×	○	×	m^2		
人造石研ぎ出し	×	○	×	m^2		
人造石洗い出し	×	○	×	m^2		
観察施設設置	×	○	×	式		
電気設備	×	×	○	式		
電線管路	×	×	○	m		
電線	×	×	○	m		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.10.7　売店工

1．適用

公園緑地工事において、売店の設置等に係わる売店工に適用する。

2．数量算出項目

売店基礎、売店設置、売店設備等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、売店種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	売店種類	規格	単位	数量	備考
売店基礎	○	○	基		
売店設置	○	○	基		
売店設備	○	○	式		

（2）材料数量算出項目及び売店工区分一覧表

売店工区分 / 項目	売店基礎	売店設置	売店設備	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	×	×	m^3		
型枠	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	×	×	t		
モルタル	○	×	×	m^3		
塗装仕上げ	×	○	×	m^2		
左官仕上げ	×	○	×	m^2		
タイル仕上げ	×	○	×	m^2		
石仕上げ	×	○	×	m^2		
人造石研ぎ出し	×	○	×	m^2		
人造石洗い出し	×	○	×	m^2		
売店設置	×	○	×	式		
電気設備	×	×	○	式		
電線管路	×	×	○	m		
電線	×	×	○	m		
給水設備	×	×	○	式		
水栓類	×	×	○	個		
給水管路	×	×	○	m		
排水管路	×	×	○	m		
排水桝	×	×	○	基		
インバート塗り	×	×	○	m^2		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.10.8　荷物預り所工

1．適用

公園緑地工事において、荷物預り所の設置等に係わる荷物預り所工に適用する。

2．数量算出項目

荷物預り所基礎、荷物預り所設置、荷物預り所設備等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、荷物預り所種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	荷物預り所種類	規格	単位	数量	備考
荷物預り所基礎	○	○	基		
荷物預り所設置	○	○	基		
荷物預り所設備	○	○	式		

（2）材料数量算出項目及び荷物預り所工区分一覧表

荷物預り所工区分 / 項目	荷物預り所基礎	荷物預り所設置	荷物預り所設備	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	×	×	m^3		
型枠	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	×	×	t		
モルタル	○	×	×	m^3		
塗装仕上げ	×	○	×	m^2		
左官仕上げ	×	○	×	m^2		
タイル仕上げ	×	○	×	m^2		
石仕上げ	×	○	×	m^2		
人造石研ぎ出し	×	○	×	m^2		
人造石洗い出し	×	○	×	m^2		
荷物預り所設置	×	○	×	式		
電気設備	×	×	○	式		
電線管路	×	×	○	m		
電線	×	×	○	m		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

（2）足場の量

足場の量は、必要に応じて種類（枠組足場、単管足場、単管傾斜足場等）に分け算出する。

4.10.9　更衣室工

1．適用

公園緑地工事において、更衣室の設置等に係わる更衣室工に適用する。

2．数量算出項目

更衣室基礎、更衣室設置、更衣室設備等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、更衣室種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	更衣室種類	規格	単位	数量	備考
更衣室基礎	○	○	基		
更衣室設置	○	○	基		
更衣室設備	○	○	式		

（2）材料数量算出項目及び更衣室工区分一覧表

更衣室工区分 / 項目	更衣室基礎	更衣室設置	更衣室設備	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	×	×	m^3		
型枠	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	×	×	t		
モルタル	○	×	×	m^3		
塗装仕上げ	×	○	×	m^2		
左官仕上げ	×	○	×	m^2		
タイル仕上げ	×	○	×	m^2		
石仕上げ	×	○	×	m^2		
人造石研ぎ出し	×	○	×	m^2		
人造石洗い出し	×	○	×	m^2		
更衣室設置	×	○	×	式		
電気設備	×	×	○	式		
電線管路	×	×	○	m		
電線	×	×	○	m		
給水設備	×	×	○	式		
水栓類	×	×	○	個		
給水管路	×	×	○	m		
排水管路	×	×	○	m		
排水桝	×	×	○	基		
インバート塗り	×	×	○	m^2		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.10.１０　便所工

１．適用

公園緑地工事において、便所の設置等に係わる便所工に適用する。

２．数量算出項目

便所基礎、便所設置、便所設備等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、便所種類、規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	便所種類	規　格	単位	数　量	備　　考
便所基礎	○	○	基		
便所設置	○	○	基		
便所設備	○	○	式		

（２）材料数量算出項目及び便所工区分一覧表

便所工区分 項　目	便所基礎	便所設置	便所設備	単位	数　量	備　　考
基礎砕石・栗石	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	×	×	m^3		
型枠	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	×	×	t		
モルタル	○	×	×	m^3		
塗装仕上げ	×	○	×	m^2		
左官仕上げ	×	○	×	m^2		
タイル仕上げ	×	○	×	m^2		
石仕上げ	×	○	×	m^2		
人造石研ぎ出し	×	○	×	m^2		
人造石洗い出し	×	○	×	m^2		
便所設置	×	○	×	式		
電気設備	×	×	○	式		
電線管路	×	×	○	m		
電線	×	×	○	m		
給水設備	×	×	○	式		
水栓類	×	×	○	個		
給水管路	×	×	○	m		
衛生設備	×	×	○	式		
排水管路	×	×	○	m		
排水桝	×	×	○	基		
インバート塗り	×	×	○	m^2		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.10.１１　倉庫工

1．適用

公園緑地工事において、運動施設の器具や用具、維持管理用の機械器具等を管理する倉庫の設置等に係わる倉庫工に適用する。

2．数量算出項目

倉庫基礎、倉庫設置、倉庫設備等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、倉庫種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	倉庫種類	規格	単位	数量	備考
倉庫基礎	○	○	基		
倉庫設置	○	○	基		
倉庫設備	○	○	式		

（2）材料数量算出項目及び倉庫工区分一覧表

倉庫工区分 / 項目	倉庫基礎	倉庫設置	倉庫設備	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	×	×	m^3		
型枠	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	×	×	t		
モルタル	○	×	×	m^3		
塗装仕上げ	×	○	×	m^2		
左官仕上げ	×	○	×	m^2		
タイル仕上げ	×	○	×	m^2		
人造石研ぎ出し	×	○	×	m^2		
人造石洗い出し	×	○	×	m^2		
倉庫設置	×	○	×	式		
電気設備	×	×	○	式		
電線管路	×	×	○	m		
電線	×	×	○	m		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.10.１２　自転車置場工

１．適用

公園緑地工事において、来園者の自転車置場の設置等に係わる自転車置場工に適用する。

２．数量算出項目

自転車置場基礎、自転車置場設置、自転車置場設備等の数量を区分ごとに算出する。

３．区分

区分は、自転車置場種類、規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	自転車置場種類	規格	単位	数量	備考
自転車置場基礎	○	○	基		
自転車置場設置	○	○	基		
自転車置場設備	○	○	式		

（２）材料数量算出項目及び自転車置場工区分一覧表

自転車置場工区分 項目	自転車置場基礎	自転車置場設置	自転車置場設備	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	×	×	m^3		
公園均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	×	×	m^3		
型枠	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	×	×	t		
モルタル	○	×	×	m^3		
塗装仕上げ	×	○	×	m^2		
左官仕上げ	×	○	×	m^2		
タイル仕上げ	×	○	×	m^2		
人造石研ぎ出し	×	○	×	m^2		
人造石洗い出し	×	○	×	m^2		
自転車置場設置	×	○	×	式		
電気設備	×	×	○	式		
電線管路	×	×	○	m		
電線	×	×	○	m		

４．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（１）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

4.10.１３　建築施設修繕工

１．適用

公園緑地工事における建築施設の補修・改修などの修繕に係わる建築施設修繕工に適用する。

4.11 施設仕上げ工

4.11.1 塗装仕上げ工

1．適用

公園緑地工事において、材料の品質保護や化粧のための塗装仕上げ工に適用する。

2．数量算出項目

素地ごしらえ、合成樹脂調合ペイント塗り、溶剤形ビニル系塗料塗り、オイルステンワニス塗り、木部防腐剤塗り、塗材仕上げ等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、塗布面の種類、塗装仕上げ種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	塗布面の種類	塗装仕上げ種類	規格	単位	数量	備考
素地ごしらえ	○	○	○	㎡		
合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り	○	○	○	㎡		
溶剤形ﾋﾞﾆﾙ系塗料塗り	○	○	○	㎡		
ｵｲﾙｽﾃﾝﾜﾆｽ塗り	○	○	○	㎡		
木部防腐剤塗り	○	○	○	㎡		
塗材仕上げ	○	○	○	㎡		

（2）材料数量算出項目及び塗装仕上げ工区分一覧表

塗装仕上げ工区分 / 項目	素地ごしらえ	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り	溶剤形ﾋﾞﾆﾙ系塗料塗り	ｵｲﾙｽﾃﾝﾜﾆｽ塗り	木部防腐剤塗り	塗材仕上げ	単位	数量	備考
素地ごしらえ	○	×	×	×	×	×	㎡		
塗装仕上げ	○	○	○	○	○	○	㎡		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

4.11.2 加工仕上げ工

1．適用

公園緑地工事において、施設の化粧のための加工仕上げ工に適用する。

2．数量算出項目

石材加工仕上げ、コンクリート加工仕上げ等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、仕上げの種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	仕上げの種類	規格	単位	数量	備考
石材加工仕上げ	○	○	㎡		
コンクリート加工仕上げ	○	○	㎡		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

4.11.3　左官仕上げ工

1．適用

公園緑地工事において、施設の化粧等のための左官仕上げ工に適用する。

2．数量算出項目

化粧目地切り、コンクリート仕上げ、モルタル仕上げ、人造石仕上げ、擬岩仕上げ、タイル下地モルタル塗り等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、仕上げ面の種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	仕上げ種類	規格	単位	数量	備考
化粧目地切	○	○	m		
ｺﾝｸﾘｰﾄ仕上げ	○	○	m²		
ﾓﾙﾀﾙ仕上げ	○	○	m²		
人造石仕上げ	○	○	m²		
擬岩仕上げ	○	○	m²		
ﾀｲﾙ下地ﾓﾙﾀﾙ塗り	○	○	m²		

（2）材料算出項目及び左官仕上げ工区分一覧表

左官仕上げ工区分 / 項目	化粧目地切	ｺﾝｸﾘｰﾄ仕上げ	ﾓﾙﾀﾙ仕上げ	人造石仕上げ	擬岩仕上げ	ﾀｲﾙ下地ﾓﾙﾀﾙ塗り	単位	数量	備考
モルタル	×	×	○	×	○	○	m³		
防水剤	×	×	○	×	×	×	kg		
セメント	×	×	×	○	×	×	kg		
白セメント	×	×	×	○	×	×	kg		
砂	×	×	×	○	×	×	kg		
種石	×	×	×	○	○	×	kg		
顔料	×	×	×	○	○	×	kg		
目地切り	○	×	×	×	×	×	m		
金網	×	×	×	×	○	×	m²		
仕上げ	×	○	○	○	○	○	m²		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

4.11.4　タイル仕上げ工

1．適用

公園緑地工事において、施設の化粧等のためのタイル仕上げ工に適用する。

2．数量算出項目

タイル張仕上げ等の数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、タイルの種類、張り面種類、張り方種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	タイル種類	張り面種類	張り方種類	規格	単位	数量	備考
タイル張仕上げ	○	○	○	○	㎡		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

4.11.5　石仕上げ工

①石張仕上げ

1．適用

公園緑地工事において、化粧等のための石仕上げ工に適用する。

2．数量算出項目

石張仕上げの数量を区分ごとに算出する。

3．区分

区分は、石材の種類、張り面種類、張り方種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	石材種類	張り面種類	張り方種類	規格	単位	数量	備考
石張仕上げ	○	○	○	○	㎡		

（2）材料数量算出項目及び石仕上げ工区分一覧表

石仕上げ工区分 / 項目	石張仕上げ	単位	数量	備考
モルタル	○	m^3		
石張	○	㎡		

4．数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

②平石張

1．適用

公園緑地工事において、化粧等のための平石張に適用する。ただし、平石張を施工する場合は「第１編（共通編）５章法覆工５．６ 平石張工」を適用する。

４.１２　公園施設等撤去・移設工

4.12.1　公園施設撤去工

１．適用

公園緑地工事において、既存施設構造物等の撤去等に係わる公園施設撤去工に適用する。
ただし、本数量算出要領１．８．１公園施設撤去工を適用する。

4.12.2　移設工

１．適用

公園緑地工事において、既存施設構造物等の移設等に係わる移設工に適用する。
ただし、本数量算出要領１．８．２移設工を適用する。

4.12.3 樹木伐採・抜根工

１．適用

公園緑地工事において、既存樹木の伐採等に係わる樹木伐採・抜根工に適用する。
ただし、本数量算出要領１．８．３樹木伐採・伐根工を適用する。

4.12.4　工事支障木対策工

１．適用

公園緑地工事において、工事の支障となる枝や葉の剪定に係わる工事支障木対策工に適用する。
ただし、本数量算出要領１．８．４工事支障木対策工を適用する。

4.12.5　発生材再利用工

１．適用

公園緑地工事において、施設撤去及び伐採等により発生した材料の新しい材料への加工、再生等に係わる発生材再利用工に適用する。
ただし、本数量算出要領１．８．５発生材再利用工を適用する。

５章　　グラウンド・コート整備

５.１　グラウンド・コート舗装工
　５.１.1　舗装準備工
　５.１.2　グラウンド・コート用舗装工
　５.１.3　グラウンド・コート縁石工

５.２　スタンド整備工
　５.２.1　スタンド擁壁工
　５.２.2　ベンチ工
　５.２.3　スタンド施設修繕工

５.３　グラウンド・コート施設整備工
　５.３.1　ダッグアウト工
　５.３.2　スコアボード工
　５.３.3　バックネット工
　５.３.4　競技施設工
　５.３.5　スポーツポイント工
　５.３.6　審判台工
　５.３.7　掲揚ポール工
　５.３.8　衝撃吸収材工
　５.３.9　グラウンド・コート柵工
　５.３.10 グラウンド・コート施設修繕工

５.４　公園施設等撤去・移設工
　５.５.１　公園施設撤去工
　５.５.２　移設工
　５.５.３　樹木伐採・抜根工
　５.４.４　工事支障木対策工
　５.４.５　発生材再利用工

５．１　グラウンド・コート舗装工

5.1.1　舗装準備工

1.適用

公園緑地工事において、舗装に先立ち、路盤面の不陸の整正に係わる舗装準備工に適用する。
ただし、不陸整正を施工する場合は本数量算出要領４．５．２舗装準備工を適用する。

5.1.2　グラウンド・コート用舗装工

1.適用

公園緑地工事において、グラウンド・コートの表面の舗装に係わるグラウンド・コート用舗装工に適用する。
ただし、下層路盤、上層路盤、基層を施工する場合は本数量算出要領４．５．3 アスファルト舗装工を適用する。

2.数量算出項目

中層、クレー舗装、アンツーカー舗装、天然芝舗装、人工芝舗装、全天候型舗装（樹脂系）、全天候型舗装（アスファルト系）、グラウンド・コート砂舗装、グラウンド・コートダスト舗装等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、舗装種類、路盤材の舗装厚、規格、施工幅とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	舗装種類	路盤・舗装厚	規格(材料)	施工幅	単位	数量	備考
中層	○	○	○	○	㎡		
クレー舗装	○	○	○	○	㎡		
アンツーカー舗装	○	○	○	○	㎡		
天然芝舗装	○	○	○	○	㎡		
人工芝舗装	○	○	○	○	㎡		
全天候型舗装(樹脂系)	○	○	○	○	㎡		
全天候型舗装(ｱｽﾌｧﾙﾄ系)	○	○	○	○	㎡		
ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄ砂舗装	○	○	○	○	㎡		
ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄﾀﾞｽﾄ舗装	○	○	○	○	㎡		

（2）材料数量算出項目及びグラウンド・コート舗装工区分一覧表

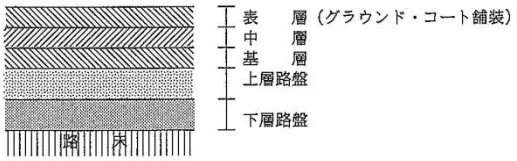
グラウンド・コート舗装工区分 ＼ 項　目	中層	クレー舗装	アンツーカー舗装	天然芝舗装	人工芝舗装	全天候型舗装(樹脂系)	全天候型舗装(ｱｽﾌｧﾙﾄ系)	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄ砂舗装	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄﾀﾞｽﾄ舗装	単位	数量	備考
舗装舗設	×	○	○	○	○	○	○	○	○	㎡		
火山砂利路盤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	㎡		
路盤(車道・路肩部)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	㎡		
路盤(歩道部)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	㎡		
表層(車道・路肩部)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	㎡		
表層(歩道部)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	㎡		
コンクリート	×	×	×	×	○	○	○	×	×	m^3		
型枠	×	×	×	×	○	○	○	×	×	㎡		
アスファルト舗装	×	×	×	×	○	○	○	×	×	㎡		
透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	×	×	×	×	○	○	○	×	×	㎡		
透水性ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	×	×	×	×	○	○	○	×	×	㎡		

注）型枠が必要な場合は設置面積（㎡）を算出する。

（3）路盤・舗装厚区及び規格区分

舗装の厚さ及び材料の規格（形状、材質、色等）ごとに区分して算出する。

（グラウンド・コート舗装の構成）



（4）施工幅区分

施工幅（W）による区分は、下記のとおりとする。

① W＝1.4m 未満

② W＝1.4m 以上

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

5.1.3　グラウンド・コート縁石工

1.適用

公園緑地工事において、グラウンド・コートと他の施設を区分する縁石等の設置等に係わるグランド・コート縁石工に適用する。

ただし、コンクリート縁石、舗装止め、見切材（仕切材）を施工する場合は本数量算出要領4.5.14 園路縁石工を適用する。

2.数量算出項目

内圏縁石等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	規格	単位	数量	備考
内圏縁石	○	m		

（2）材料数量算出項目及びグラウンド・コート縁石工区分一覧表

グラウンド・コート縁石工区分 / 項目	内圏縁石	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	m^3		
均しコンクリート	○	m^3		
均しコンクリート型枠	○	m^2		
コンクリート	○	m^3		
型枠	○	m^2		
モルタル	○	m^3		
縁石設置	○	m		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

5.2　スタンド整備工

5.2.1　スタンド擁壁工

1.適用

公園緑地工事において、スタンドの周囲に設ける擁壁の設置等に係わるスタンド擁壁工に適用する。

2.数量算出項目

スタンド擁壁等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、擁壁の種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	規格	単位	数量	備考
スタンド擁壁	○	m		

（2）材料数量算出項目及びスタンド擁壁工区分一覧表

スタンド擁壁工区分 項　目	スタンド擁壁	単位	数　量	備　考
基礎砕石・栗石	○	m^3		
均しコンクリート	○	m^3		
均しコンクリート型枠	○	m^2		
コンクリート	○	m^3		
型枠	○	m^2		
鉄筋	○	t		
モルタル	○	m^3		
左官仕上げ	○	m^2		
塗装仕上げ	○	m^2		
衝撃吸収材設置	○	m^2		
擁壁ブロック設置	○	m		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

5.2.2　ベンチ工

1.適用

公園緑地工事において、スタンドの観覧用ベンチの設置等に係わるベンチ工に適用する。

2.数量算出項目

スタンドベンチ、現場打ベンチ等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、ベンチ種類、ベンチ規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	ベンチ 種　類	ベンチ 規　格	単位	数　量	備　考
スタンドベンチ	○	○	m		
現場打ベンチ	×	○	m		

（2）材料数量算出項目及びベンチ工区分一覧表

スタンド擁壁工区分 / 項　目	スタンドベンチ	現場打ベンチ	単位	数　量	備　考
基礎砕石・栗石	○	○	m^3		
均しコンクリート	○	○	m^3		
均しコンクリート型枠	○	○	m^2		
コンクリート	○	○	m^3		
型枠	○	○	m^2		
鉄筋	○	○	t		
モルタル	○	○	m^3		
左官仕上げ	○	○	m^2		
塗装仕上げ	○	×	m^2		
ベンチ設置	○	○	m		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

5.2.3　スタンド施設修繕工

1.適用

公園緑地工事におけるスタンド施設の補修・改修などの修繕に係わるスタンド施設修繕工に適用する。

5.3　グラウンド・コート施設整備工

5.3.1　ダッグアウト工

1.適用

公園緑地工事において、野球のプレーヤーが攻撃中に待機するダッグアウトの設置等に係わるダッグアウト工に適用する。

2.数量算出項目

ダッグアウト基礎、ダッグアウト設置、ダッグアウト設備等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、種類、規格、コンクリート規格、基礎材規格、基礎材種類とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 / 項　目	種　類	規　格	ｺﾝｸﾘｰﾄ規　格	基礎材規　格	基礎材種　類	単位	数　量	備　考
ダッグアウト基礎	×	○	○	○	○	基		
ダッグアウト設置	○	○	×	×	×	基		
ダッグアウト設備	○	○	×	×	×	式		

（2）材料数量算出項目及びダッグアウト工区分一覧表

ダッグアウト工区分 / 項目	ﾀﾞｯｸﾞｱｳﾄ 基礎	ﾀﾞｯｸﾞｱｳﾄ 設置	ﾀﾞｯｸﾞｱｳﾄ 設備	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	×	×	m^3		
均しコンクリート	○	×	×	m^3		
均しコンクリート型枠	○	×	×	m^2		
コンクリート	○	×	×	m^3		
型枠	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	×	×	t		
モルタル	○	×	×	m^3		
左官仕上げ	×	○	×	m^2		
塗装仕上げ	×	○	×	m^2		
ダッグアウト設置	×	○	×	式		
水栓類	×	×	○	個		
給水管	×	×	○	m		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

（2）給水管路据付の量

給水管路据付の量は、必要に応じて種類（水道用鋼管、水道用硬質ポリ塩化ビニル管等）・規格に分け算出する。

5.3.2　スコアボード工

1.適用

公園緑地工事において、スポーツの試合の得点を表示するスコアボードの設置等に係わるスコアボード工に適用する。

2.数量算出項目

スコアボード基礎、スコアボード設置、スコアボード設備等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、種類、規格、コンクリート規格、基礎材規格、基礎材種類とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	種類	規格	ｺﾝｸﾘｰﾄ 規格	基礎材 規格	基礎材 種類	単位	数量	備考
スコアボード基礎	×	○	○	○	○	基		
スコアボード設置	○	○	×	×	×	基		
スコアボード設備	○	○	×	×	×	式		

（2）材料数量算出項目及びスコアボード工区分一覧表

スコアボード工区分 項　目	ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ 基　　礎	ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ 設　　置	ｽｺｱﾎﾞｰﾄﾞ 設　　備	単位	数　量	備　考
基礎砕石・栗石	○	×	×	m^3		
均しコンクリート	○	×	×	m^3		
均しコンクリート型枠	○	×	×	m^2		
コ ン ク リ ー ト	○	×	×	m^3		
型枠	○	×	×	m^2		
鉄筋	○	×	×	t		
モ ル タ ル	○	×	×	m^3		
左官仕上げ	×	○	×	m^2		
塗装仕上げ	×	○	×	m^2		
スコアボード設置	×	○	×	式		
電気設備	×	×	○	式		
電線管路	×	×	○	m		
電線	×	×	○	m		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

（2）電気設備の量

電気設備の量は、必要に応じて種類（電光掲示板等）・規格に分け算出する。

（3）電線管路布設の量

電線管路布設の量は、必要に応じて種類（波付硬質ポリエチレン管、コンクリートトラフ、硬質ビニル電線管等）・規格に分け算出する。

（4）電線配線の量

電線配線の量は、必要に応じて種類（低圧電力ケーブル配線、高圧電力ケーブル配線、高圧電力ケーブル端末処理等）・規格に分け算出する。

5.3.3　バックネット工

1.適用

公園緑地工事において、本塁の後方の観覧席に、ボールの飛び込みを防止するバックネットの設置等に係わるバックネット工に適用する。

2.数量算出項目

バックネット基礎、バックネット設置等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、種類、規格、コンクリート規格、基礎材規格、基礎材種類とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	種類	規格	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	基礎材規格	基礎材種類	単位	数量	備考
バックネット基礎	×	○	○	○	○	基		
バックネット設置	○	○	×	×	×	基		

（2）材料数量算出項目及びバックネット工区分一覧表

バックネット工区分 項目	ﾊﾞｯｸﾈｯﾄ基礎	ﾊﾞｯｸﾈｯﾄ設置	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	×	m^3		
均しコンクリート	○	×	m^3		
均しコンクリート型枠	○	×	m^2		
コンクリート	○	×	m^3		
型枠	○	×	m^2		
鉄筋	○	×	t		
モルタル	○	×	m^3		
左官仕上げ	×	○	m^2		
塗装仕上げ	×	○	m^2		
バックネット設置	×	○	式		
衝撃吸収材	×	○	m^2		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

5.3.4　競技施設工

1.適用

公園緑地工事において、スポーツの競技判定に必要なポール・ポスト等の設置等に係わる競技施設工に適用する。

2.数量算出項目

ファールポール、ポスト、ゴールポスト、支柱台、スポーツサークル、跳躍箱、踏切板、競技用砂場、センターガイド、ピッチャープレート、ホームベース、塁ベース、塁ベース基礎等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	種類	規格	単位	数量	備考
ファールポール	×	○	基		
ポスト	○	○	基		
ゴールポスト	×	○	基		
支柱台	○	○	基		
スポーツサークル	○	○	箇所		
跳躍箱	○	×	箇所		
踏切板	○	○	箇所		
競技用砂場	×	×	箇所		
センターガイド	×	○	箇所		
ピッチャープレート	×	○	箇所		
ホームベース	×	○	箇所		
塁ベース	×	○	箇所		
塁ベース基礎	×	○	箇所		

（2）材料数量算出項目及び競技施設工区分一覧表

競技施設工区分 項目	ファールポール	ポスト	ゴールポスト	支柱台	スポーツサークル	跳躍箱	踏切板	競技用砂場	センターガイド	ピッチャープレート	ホームベース	塁ベース	塁ベース基礎	単位	数量	備考
競技施設設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	基・箇所		
基礎砕石・栗石	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	m^2		
コンクリート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	m^3		
型枠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	m^2		
鉄筋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	t		
モルタル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	m^3		
基礎ﾌﾞﾛｯｸ	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	個		
受枠金物	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○	×	基		
塗装仕上げ	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	m^2		
砂場縁石設置	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	m		
砂投入	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	m^3		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

5.3.5　スポーツポイント工

1.適用

公園緑地工事において、グラウンド・コートの位置や競技定位置を決めるスポーツポイント設置等に係わるスポーツポイント工に適用する。

2.数量算出項目

ラインマーク、ポイント杭、角石、標示タイル等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	種類	規格	単位	数量	備考
ラインマーク	○	○	m		
ポイント杭	○	×	箇所		
角石	×	○	箇所		
標示タイル	×	○	枚		

（2）材料数量算出項目及びスポーツポイント工区分一覧表

スポーツポイント工区分 / 項目	ラインマーク	ポイント杭	角石	標示タイル	単位	数量	備考
本体設置	○	○	○	○	m・枚 箇所		
基礎砕石・栗石	○	×	○	○	m^3		
均しコンクリート	○	×	○	○	m^3		
均しコンクリート型枠	○	×	○	○	m^2		
コンクリート	○	×	○	○	m^3		
型枠	○	×	○	○	m^2		
モルタル	○	×	○	○	m^3		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

5.3.6　審判台工

1.適用

公園緑地工事において、スポーツの競技判定を行う審判台の設置等に係わる審判台工に適用する。

2.数量算出項目

審判台等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、種類とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	種類	単位	数量	備考
審判台	○	基		

（2）材料数量算出項目及び審判台工区分一覧表

審判台工区分 項目	審判台	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	m^3		
均しコンクリート	○	m^3		
均しコンクリート型枠	○	m^2		
コンクリート	○	m^3		
型枠	○	m^2		
鉄筋	○	t		
モルタル	○	m^3		
塗装仕上げ	○	m^2		
審判台本体設置	○	基		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

5.3.7　掲揚ポール工

1.適用

公園緑地工事において、国旗・大会旗等を掲揚する掲揚ポールの設置等に係わる掲揚ポール工に適用する。 ただし、掲揚ポールを施工する場合は本数量算出要領4.9.9掲揚ポール工を適用する。

5.3.8　衝撃吸収材工

1.適用

公園緑地工事において、競技者の安全を守るためにグラウンド・コート内の施設に施す衝撃吸収材の設置等に係わる衝撃吸収材工に適用する。

2.数量算出項目

衝撃吸収材等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	種　類	規　格	単位	数　量	備　考
衝撃吸収材	○	○	㎡		

（2）材料数量算出項目及び衝撃吸収材工区分一覧表

衝撃吸収材工区分 項　目	衝撃吸収材	単位	数　量	備　考
衝撃吸収材設置面積	○	㎡		

（3）衝撃吸収材の規格区分

項目別の衝撃吸収材の規格による区分は、規格ごとに取りまとめる。

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）衝撃吸収材の量

衝撃吸収材の量は、必要に応じて種類・規格等に分け算出する。

5.3.9　グラウンド・コート柵工

1.適用

公園緑地工事において、グラウンド・コートから場外へボールの飛び出しを防止する柵の設置等に係わるグラウンド・コート柵工に適用する。

ただし、フェンスを施工する場合は本数量算出要領4.9.6柵工を適用する。

2.数量算出項目

高尺ネットフェンス防球ネット等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	種　類	規格	単位	数　量	備　考
高尺ネットフェンス	○	○	m		
防球ネット	○	○	m		

（2）材料数量算出項目及びグラウンド・コート柵工区分一覧表

グラウンド・コート柵工区分 ＼ 項　目	高尺ネットフェンス	防球ネット	単位	数　量	備　考
本体設置	○	○	m		
基礎砕石・栗石	○	○	m^3		
均しコンクリート	○	○	m^3		
均しコンクリート型枠	○	○	m^2		
コンクリート	○	○	m^3		
型枠	○	○	m^2		
鉄筋	○	○	t		
モルタル	○	○	m^3		
基礎ブロック	○	○	個		
足場	○	○	掛m^2		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し・残土処分）、基面整正等の数量は必要に応じて算出する。

（2）本体設置の量

本体設置の量は、必要に応じて胴縁取付、支柱建込、金網張立、クレーン運転等に分け算出する。

（3）足場の量

足場の量は、必要に応じて種類（枠組足場、単管足場、単管傾斜足場等）に分け算出する。

5.3.10　グラウンド・コート施設修繕工

1.適用

公園緑地工事におけるグラウンド・コート施設の補修・改修などの修繕に係わるグラウンド・コート施設修繕工に適用する。

5.4　公園施設等撤去・移設工

5.4.1　公園施設撤去工

1.適用

公園緑地工事において、既存施設構造物等の撤去等に係わる公園施設撤去工に適用する。
ただし、本数量算出要領1.8.1公園施設撤去工を適用する。

5.4.2　移設工

1.適用

公園緑地工事において、既存施設構造物等の移設等に係わる移設工に適用する。
ただし、本数量算出要領1.8.2移設工を適用する。

5.4.3 樹木伐採・抜根工

１.適用

公園緑地工事において、既存樹木の伐採等に係わる樹木伐採・抜根工に適用する。
ただし、本数量算出要領１.８.３樹木伐採・伐根工を適用する。

５.４.４　工事支障木対策工

１.適用

公園緑地工事において、工事の支障となる枝や葉の剪定に係わる工事支障木対策工に適用する。
ただし、本数量算出要領１.８.４工事支障木対策工を適用する。

５.４.５　発生材再利用工

１.適用

公園緑地工事において、施設撤去及び伐採等により発生した材料の新しい材料への加工、再生等に係わる発生材再利用工に適用する。
ただし、本数量算出要領１.８.５発生材再利用工を適用する。

6章　　自 然 育 成

6.1　自然育成施設工
6.1.1　自然育成盛土工
6.1.2　自然水路工
6.1.3　水田工
6.1.4　ガレ山工
6.1.5　粗朶山工
6.1.6　カントリーヘッジ工
6.1.7　石積土堰堤工
6.1.8　しがらみ柵工
6.1.9　自然育成型護岸工
6.1.10 保護柵工
6.1.11 解説板工
6.1.12 自然育成施設修繕工
6.1.13 作業土工
6.1.14 自然育成型護岸基礎工
6.1.15 沈床工
6.1.16 捨石工
6.1.17 かご工
6.1.18 元付工

6.2　自然育成植栽工
6.2.1　湿地移設工
6.2.2　水性植物植栽工
6.2.3　林地育成工

6.3　公園施設等撤去・移設工
6.3.1　公園施設撤去工
6.3.2　移設工
6.3.3　樹木伐採・抜根工
6.3.4　工事支障木対策工
6.3.5　発生材再利用工

６.１　自然育成施設工

６.１.１　自然育成盛土工

１.適用

公園緑地工事において、自然な状態を再現するための盛土に係わる自然育成盛土工に適用する。

２.数量算出項目

蒔き出し等の数量を区分ごとに算出する。

３.区分

区分は、規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	規格	単位	数量	備考
蒔き出し	○	m^3		

（２）材料数量算出項目及び自然育成盛土工区分一覧表

自然育成盛土工区分 / 項目	蒔き出し	単位	数量	備考
人力盛土	○	m^3		

４.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

６.１.２　自然水路工

１.適用

公園緑地工事において、自然な状態を再現するための水路の設置等に係わる自然水路工に適用する。

２.数量算出項目

遮水・止水シート、たたき粘土、ごろた石積、崩れ積、砂・砂礫等の数量を区分ごとに算出する。

３.区分

区分は、規格とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	規格	単位	数量	備考
遮水・止水シート	○	㎡		
たたき粘土	○	㎡		
ごろた石積	○	m		
崩れ積	○	m		
砂・砂礫	○	㎡		

（2）材料数量算出項目及び自然水路工区分一覧表

自然水路工区分 項　目	遮水・止水シート	たたき粘　土	ごろた石　積	崩れ積	砂・砂礫	単位	数 量	備　考
基礎砕石・栗石	×	×	○	○	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ	×	×	×	○	×	m^3		
均しｺﾝｸﾘｰﾄ型枠	×	×	×	○	×	m^2		
コンクリート	×	×	×	○	×	m^3		
型枠	×	×	×	○	×	m^2		
吸出防止材	×	×	×	○	×	m^2		
遮水・止水ｼｰﾄ	○	○	○	○	×	m^2		
目地	×	×	×	○	×	m^2		
胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ	×	×	×	○	×	m^3		
たたき粘土	×	○	×	×	×	m^2		
ごろた石積	×	×	○	×	×	m		
崩れ積	×	×	×	○	×	m		
野面石	×	×	×	○	×	m^2		
砂・礫	×	×	×	×	○	m^3		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

6.1.3　水田工

1.適用

公園緑地工事において、自然な狂態を再現するための水田の設置等に係わる水田工に適用する。

2.数量算出項目

遮水・止水シート、たたき粘土、水田土壌盛土、流入口、排出口、角落し、角落し受枠等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	規　格	単位	数　量	備　　考
遮水・止水シート	○	m^2		
たたき粘土	○	m^2		
水田土壌盛土	○	m^3		
流入口	○	箇所		
排出口	○	箇所		
角落し	○	箇所		
角落し受枠	○	m		

（2）材料数量算出項目及び水田工区分一覧表

水田工区分 ＼ 項目	遮水・止水シート	たたき粘土	水田土壌盛土	流入口	排出口	角落し	角落し受枠	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	×	○	×	○	○	○	○	m^3		
コンクリート	×	×	×	○	○	○	○	m^3		
型枠	×	×	×	○	○	○	○	m^2		
遮水・止水ｼｰﾄ	○	○	○	×	×	×	×	m^2		
たたき粘土	×	○	×	×	×	×	×	m^2		
水田土壌	×	×	○	×	×	×	×	m^3		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

6.1.4　ガレ山工

1.適用

公園緑地工事において、自然石、コンクリート塊、管類等を乱積し、多孔的空間を造るガレ山の設置等に係わるガレ山工に適用する。

2.数量算出項目

ガレ山等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 ＼ 項目	規格	単位	数量	備考
ガレ山	○	箇所		

（2）材料数量算出項目及びガレ山工区分一覧表

ガレ山工区分 ＼ 項目	ガレ山	単位	数量	備考
自然石	○	m^3・t		
コンクリート塊	○	m^3		
管	○	本・m^3		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

6.1.5　粗朶山工

1.適用

公園緑地工事において、木の枝を乱積し多孔的空間を造る粗朶山の設置等に係わる粗朶山工に適用する。

2.数量算出項目

粗朶山等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分／項目	規格	単位	数量	備考
粗朶山	○	箇所		

（2）材料数量算出項目及び粗朶山工区分一覧表

粗朶山工区分／項目	粗朶山	単位	数量	備考
雑木	○	m^3・本		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

6.1.6　カントリーヘッジ工

1.適用

公園緑地工事において、木の太枝を編んだ垣根に、蔓性植物を主体とした植物群落を造るカントリーヘッジの設置等に係わるカントリーヘッジ工に適用する。

2.数量算出項目

カントリーヘッジ等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分／項目	規格	単位	数量	備考
カントリーヘッジ	○	箇所		

（2）材料数量算出項目及びカントリーヘッジ工区分一覧表

カントリーヘッジ工区分 項　目	カントリーヘッジ	単位	数　量	備　　考
木杭	○	m^3・本		
雑木	○	m^3・本		
板材	○	m^3・本		
洋釘	○	kg		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

6.1.7　石積土堰堤工

1.適用

公園緑地工事において、法部を空石積とし、多孔的空間を造る石積土堰堤の設置等に係わる石積土堰堤工に適用する。

2.数量算出項目

石積土堰堤等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、石積の種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	石積種類	規　格	単位	数　量	備　　考
石積土堰堤	○	○	箇所		

（2）材料数量算出項目及び石積土堰堤工区分一覧表

石積土堰堤工区分 項　目	石積土堰堤	単位	数　量	備　　考
基礎砕石・栗石	○	m^3		
裏込土	○	m^3		
石　積	○	m^2		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

6.1.8　しがらみ柵工

1.適用

公園緑地工事において、竹や木の枝を組んだしがらみ柵の設置等に係わるしがらみ柵工に適用する。

2.数量算出項目

しがらみ柵等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区　分 項　目	規　格	単位	数　量	備　　考
しがらみ柵	○	m		

（2）材料数量算出項目及びしがらみ柵工区分一覧表

しがらみ柵工区分 項　目	しがらみ柵	単位	数　量	備　　考
木杭	○	本		
唐竹	○	本		
松板	○	m^3		
洋釘	○	Kg		
しがらみ柵	○	m		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

6.1.9　自然育成型護岸工

1.適用

公園緑地工事における自然育成型護岸工に適用する。

ただし、現場打天端コンクリート、現場打小口止コンクリート、プレキャスト小口止ブロック、裏込・胴込コンクリート、裏込材、遮水シート張を施工する場合は「第１編（共通編）５章法覆工５.４コンクリートブロック積（張）工」を、目地板、ｼｰﾙ材を施工する場合は本数量算出要領１.３.５人工地盤工を、石積、石張を施工する場合は「第１編（共通編）５章法覆工５.５石積（張）工」を、木杭を施工する場合は「第２編（河川・砂防編）４章河川維持工４.６木杭打工」を、雑割石張を施工する場合は本数量算出要領１.６.１１石積工を、ブロックマット、杭柵、連柴柵、玉石柳枝を施工する場合は本数量算出要領１.６.８土留め工を、種子散布、公園張芝、公園筋芝、公園市松芝を施工する場合は本数量算出要領１.４.２植生工を、覆土（流用土)、覆土（発生土)、覆土（採取土)、覆土（購入土）を施工する場合は「第１編（共通編）２章土工２.１土工」を、かごマット(スロープ型)、かごマット(多段積型)、じゃかご、ふとんかごを施工する場合は本数量算出要領１.４.５かご工を、それぞれ適用する。

6.1.10　保護柵工

1.適用

公園緑地工事において、保全、保護する区域への立入を防止する保護柵の設置等に係わる保護柵工に適用する。

2.数量算出項目

保護柵等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	規格	単位	数量	備考
保護柵	○	m		

（2）材料数量算出項目及び保護柵工区分一覧表

保護柵工区分 項目	保護柵	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	m^3		
均しコンクリート	○	m^3		
均しコンクリート型枠	○	m^2		
コンクリート	○	m^3		
型枠	○	m^2		
鉄筋	○	t		
モルタル	○	m^3		
左官仕上げ	○	m^2		
保護柵	○	m		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

6.1.11　解説板工

1.適用

公園緑地工事において、動植物などの名称や生態を解説する解説板の設置等に係わる解説板工に適用する。

2.数量算出項目

解説板等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	規格	単位	数量	備考
解説板	○	基		

（2）材料数量算出項目及び解説板工区分一覧表

解説板工区分 項　目	保護柵	単位	数　量	備　　考
基礎砕石・栗石	○	m^3		
均しコンクリート	○	m^3		
均しコンクリート型枠	○	m^2		
コンクリート	○	m^3		
型枠	○	m^2		
鉄筋	○	t		
モルタル	○	m^3		
左官仕上げ	○	m^2		
解説板	○	基		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるほか下記の方法によるものとする。

（1）各項目の土工（床掘り・埋戻し）、基面整正等の数量は別途算出する。

6.1.12　自然育成施設修繕工

1.適用

公園緑地工事における自然育成施設の補修・改修などの修繕に係わる自然育成施設修繕工に適用する。

6.1.13　作業土工

1.適用

公園緑地工事において、目的物を施工するために行う現地盤面の床掘りおよび計画面まで埋戻す土工等に係わる作業土工に適用する。

ただし、床掘り、埋戻しを施工する場合は「第1編（共通編）2章土工2.1土工2.1.2作業土工」を適用する。

6.1.14　自然育成型護岸基礎工

1.適用

公園緑地工事において、護岸構造物を支持する護岸基礎工の設置等に係わる自然育成型護岸基礎工に適用する。

ただし、現場打基礎、護岸基礎ﾌﾞﾛｯｸ据付、中詰コンクリート、中詰コンクリート殻、一本土台、片梯子土台、梯子土台、止杭一本土台、詰杭を施工する場合は「第2編（河川・砂防編）1章護岸根固め工1.5 護岸基礎ブロック工」を適用する。

①現場打基礎

1.適用

公園緑地工事において、護岸構造物を支持する現場打基礎工の設置等に係わる自然育成型護岸基礎工に適用する。

2.数量算出項目

現場打基礎、詰杭等の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	種類	規格	単位	数量	備考
現場打基礎	○	○	m		
詰杭	○	○	m		

（2）材料数量算出項目及び自然育成護岸基礎工区分一覧表

自然育成護岸基礎工区分 項目	現場打基礎	単位	数量	備考
基礎砕石・栗石	○	m^3		
コンクリート	○	m^3		
型枠	○	m^2		
遮水・止水シート	○	m^2		
杭	○	本		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

6.1.15　沈床工

1.適用

公園緑地工事において、河床の洗掘防止のために行う沈床の設置等に係わる沈床工に適用する。

ただし、粗朶沈床、粗朶単床を施工する場合は、「第２編（河川・砂防編）１章護岸根固め工１.２沈床工」を適用する、袋詰玉石する場合は「第２編（河川・砂防編）４章 河川維持工 4.7 袋詰玉石工」を適用する、吸出し防止材する場合は、「第１編（共通編）５章
法覆工 5.4 コンクリートブロック積（張）工」を適用する。

6.1.16　捨石工

1.適用

公園緑地工事において、根固め等として用いる捨石の設置等に係わる捨石工に適用する。

ただし、捨石、表面均しを施工する場合は、「第２編（河川・砂防編）１章護岸根固め工１.４捨石工（河川海岸）」を適用する、吸出し防止材する場合は、「第１編（共通編）５章
法覆工 5.4 コンクリートブロック積（張）工」を適用する。

6.1.17　かご工

1.適用

公園緑地工事において、河岸を流水から保護する法覆として設置するかご工に適用する。

ただし、本数量算出要領１.４.５かご工を適用する。

6.1.18　元付工

1.適用

公園緑地工事において、護岸基礎と根固めの高低差を解消し、脚部の局所洗掘を防止する元

付の設置等に係わる元付工に適用する。

6.2　自然育成植栽工

6.2.1　湿地移設工

1.適用

公園緑地工事における湿地移設工に適用する。

2.数量算出項目

湿地移設の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、土質、施工形態、水陸とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	土　質	施工形態	水　陸	単位	数　量	備　　考
湿地移設	○	○	○	㎡		

（2）材料数量算出項目及び湿地移設工区分一覧表

湿地移設工区分 / 項目	湿地移設	単位	数　量	備　　考
掘削	○	m^3		
埋戻し	○	m^3		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

6.2.2　水性植物植栽工

1.適用

公園緑地工事における水性植物植栽工に適用する。

2.数量算出項目

水性植物植栽の数量を区分ごとに算出する。

3.区分

区分は、水性植物種類、規格とする。

（1）数量算出項目及び区分一覧表

区分 / 項目	水性植物種　類	規　格	単位	数　量	備　　考
水性植物植栽	○	○	鉢		

4.数量算出方法

数量の算出は、序章基本事項によるものとする。

６.２.３　林地育成工

１.適用

公園緑地工事における林地育成工に適用する。

２.数量算出項目

高木伐採、竹類伐採、除伐、切り株保護、株立整理、つる切り、下刈り、落葉かき、林床整理等の数量を区分ごとに算出する。

ただし、高木伐採、倒木処理、高木抜根、中低木抜根、掘取り穴埋戻しを施工する場合は本数量算出要領１.８.３樹木伐採・抜根工を適用する。落葉樹整姿剪定、常緑樹整姿剪定、針葉樹整姿剪定、枝降ろしを施工する場合は、３.２.１高中木整姿工を適用する。

３.区分

区分は、林地育成種類、施工条件、草刈り、発生材処分の種類とする。

（１）数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	林地育成種類	施工条件	草刈りの種類	発生材処分	単位	数量	備考
竹類伐採	○	○	×	○	本		
除伐・つる切り	○	×	×	○	㎡		
除伐	○	○	×	○	㎡		
つる切り	○	×	×	○	㎡		
竹林伐採	○	○	×	○	㎡		
竹林地下茎駆除	○	○	×	○	㎡		
竹地下茎駆除	○	○	×	○	m		
切り株保護	○	×	○	○	㎡		
株立整理	○	×	×	○	㎡		
下刈り	○	○	○	○	㎡		
落葉かき	○	○	×	○	㎡		
林床整理	○	○	○	○	㎡		

４.数量算出方法

数量の算出方法は、序章基本事項によるものとする。

６.３　公園施設等撤去・移設工

６.３.１　公園施設撤去工

１.適用

公園緑地工事において、既存施設構造物等の撤去等に係わる公園施設撤去工に適用する。
ただし、本数量算出要領１.８.１公園施設撤去工を適用する。

６.３.２　移設工

１.適用

公園緑地工事において、既存施設構造物等の移設等に係わる移設工に適用する。
ただし、本数量算出要領１.８.２移設工を適用する。

６.３.３ 樹木伐採・抜根工

１.適用

公園緑地工事において、既存樹木の伐採等に係わる樹木伐採・抜根工に適用する。
ただし、本数量算出要領１.８.３樹木伐採・伐根工を適用する。

６.３.４　工事支障木対策工

１.適用

公園緑地工事において、工事の支障となる枝や葉の剪定に係わる工事支障木対策工に適用する。
ただし、本数量算出要領１.８.４工事支障木対策工を適用する。

６.３.５　発生材再利用工

１.適用

公園緑地工事において、施設撤去及び伐採等により発生した材料の新しい材料への加工、再生等に係わる発生材再利用工に適用する。
ただし、本数量算出要領１.８.５発生材再利用工を適用する。

別添資料　別表－１

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
基盤整備	敷地造成工	表土保全工	表土掘削	－	m^3	100	ただし 1000 m^3未満は 10 m^3
			表土運搬	－	m^3	100	ただし 1000 m^3未満は 10 m^3
		整地工	公園整地	－	m^2	10	ただし 100 m^2未満は 10 m^2
		＊　掘削工	＊　掘削	土質、施工方法、押土の有無、障害の有無、施工数量	式 or m^3	100	ただし 1000 m^3未満は 10 m^3
			＊　土砂等運搬	土質	式 or m^3	100	
			＊　河床等掘削	－	式 or m^3	100	
			＊　軟弱土等運搬	土質	式 or m^3	100	
			＊　整地	作業区分	式 or m^3	100	ただし 1000 m^3未満は 10 m^3
			＊　転石破砕	火薬使用の有無	式 or m^2	10	
			＊　押土（ルーズ）	土質、	式 or m^3	100	ただし 1000 m^3未満は 10 m^3
			＊　積込（ルーズ）	土質、作業内容	式 or m^3	100	ただし 1000 m^3未満は 10 m^3
			＊　人力積込	土質、作業内容	式 or m^3	10	
		＊　盛土工	＊　路体（築堤）盛土	施工幅員	式 or m^3	100	ただし 1000 m^3未満は 10 m^3
			＊　路床盛土	施工幅員	式 or m^3	100	ただし 1000 m^3未満は 10 m^3
			＊　土砂等運搬	土質	式 or m^3	100	
			＊　整地	作業区分	式 or m^3	100	ただし 1000 m^3未満は 10 m^3
			＊　押土（ルーズ）	土質、	式 or m^2	100	ただし 1000 m^3未満は 10 m^3
			＊　積込（ルーズ）	土質、作業内容	式 or m^3	100	ただし 1000 m^3未満は 10 m^3
			＊　人力積込	土質、作業内容	式 or m^3	10	
			＊　土材料	－	式 or m^3	100	ただし 1000 m^3未満は 10 m^3
			＊　排水材設置(水平排水材)	－	m	10	
		＊　路床盛土工	＊　路床盛土	施工幅員	式 or m^3	100	
			＊　土砂等運搬	土質	式 or m^3	100	
			＊　整地	作業区分	式 or m^3	100	
			＊　押土（ルーズ）	土質	式 or m^3	100	
			＊　積込（ルーズ）	土質、作業内容	式 or m^3	100	
			＊　人力積込	土質、作業内容	式 or m^3	100	
			＊　土材料	－	式 or m^3	100	
			＊　排水材設置(水平排水材)	－	m	10	
		＊　法面整形工	＊　法面整形(切土部)	現場制約の有無、土質	m^2	10	
			＊　法面整形(盛り土部)	法面締固めの有無、現場制約の有無	m^2	10	
		＊　防草コンクリート	＊　張りコンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増の有無	m^2	10	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
基盤整備	敷地造成工	＊　路床安定処理工	＊　安定処理	混合深さ、固化材 100m2 あたり使用量、固化材の種類	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
		＊　置換工	＊　置換	置換材料、施工数量	m³	100	ただし 1000 m³未満は 10 m³
		＊　サンドマット工	＊　サンドマット	砂材料費の有無	m³	10	
		＊　バーチカルドレーン工	＊　サンドドレーン	径、SD 打設長、SD 杭径、SCP 径、SCP 打設長、SCP 杭径	本	1	
			＊　ﾌﾟﾚﾌｧﾌﾞﾘｹｲﾃｨｯﾄﾞﾊﾞｰﾁｶﾙﾄﾞﾚｰﾝ	材料規格、長さ(打設長)	本	1	
		＊　残土処理工	＊　整地	作業区分	式 or m³	100	ただし 1000 m³未満は 10 m³
			＊　土砂等運搬	土質	式 or m³	100	
			＊　残土等処分	－	式 or m³	10	
	公園土工	小規模造成工	小規模掘削	－	m³	1	ただし 10 m³未満は 0.1 m³
			小規模敷均・締固	－	m³	1	
		＊　残土処理工	＊　整地	作業区分	式 or m³	100	ただし 1000 m³未満は 10 m³
			＊　土砂等運搬	土質	式 or m³	100	
			＊　残土等処分	－	式 or m³	10	
	植栽基盤工	透水層工	開渠排水	開渠の規格	m	1	
			暗渠排水	排水材の種類、排水材の規格	m	1	
			縦穴排水	排水材の種類、排水材の規格	箇所	1	
		土層改良工	普通耕	－	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
			深耕	－	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
			混層耕	－	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
			心土破砕	－	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
		土性改良工	土性改良	改良材の種類	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
			中和剤施用	中和剤の種類、中和剤の規格	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
			除塩	除塩剤の種類、除塩剤の規格	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
			施肥 B	肥料の種類、肥料の規格	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
		表土盛土工	盛土（流用、発生、採取、購入）	－	式 or m³	100	ただし 1000 m³未満は 10 m³
		人工地盤工	＊　防水	防水の種類	m²	1	ただし 100 m²未満は 0.1 m²
			押さえコンクリート	種類、規格	m³	10	ただし 100 m³未満は 1 m³
			＊　目地板	目地板種類、目地板厚さ	m²	1	
			＊　シール材	―	m	1	
			人工地盤排水層	排水層の種類	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
			フィルター	フィルターの種類	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
			防根シート	種類、規格	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
			人工地盤客土	客土の種類	m³	100	ただし 1000 m³未満は 10 m³

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
基盤整備	植栽基盤工		立排水浸透桝	桝種類、現場打材種類、躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、蓋の種類、蓋の規格	箇所	1	
		造形工	表面仕上げ	－	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			築山	－	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
	＊法面工	法面ネット工	法面ネット	法面ﾈｯﾄの種類、法面ﾈｯﾄの規格	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
		＊　植生工	＊　種子散布	種子規格、肥料の有無、施工規模	㎡	10	
			＊　客土吹付	吹付厚、工種区分、施工規模	㎡	10	
			＊　植生基材吹付	吹付厚、工種区分、施工規模	㎡	10	
			＊　植生シート	工種区分、施工規模	㎡	10	
			＊　植生マット	工種区分、施工規模	㎡	10	
			＊　植生筋	工種区分、施工規模	㎡	10	
			公園種子帯	種子帯規格	㎡	10	
			公園張芝	芝規格、肥料の有無	㎡	10	
			公園筋芝	芝規格、肥料の有無	㎡	10	
			公園市松芝	芝規格、肥料の有無	㎡	10	
			＊　人工張芝	芝種類、施工規模	㎡	10	
			＊　植生穴	削孔数	㎡	10	
		法枠工	＊　現場打法枠	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、中詰材種類	㎡	1	
			＊　プレキャスト法枠	法枠規格、中詰材種類	㎡	1	
			金属製法枠	金属製法枠の種類、金属製法枠の規格	㎡	1	
			＊　吹付枠	梁断面ｻｲｽﾞ、吹付材種類、ﾓﾙﾀﾙ及びｺﾝｸﾘｰﾄ吹付厚(枠内)、植生基材吹付厚(枠内)	㎡	1	
		編柵工	編柵	編柵の種類、編柵の規格	m	1	
		＊　かご工	＊　じゃかご	径、詰石種類、詰石規格	m	1	
			＊　ふとんかご	幅、高さ、種類、規格、詰石種類、詰石規格	m	1	
	＊軽量盛土工	＊　作業土工	＊　床掘り(掘削)	土質	式 or ㎥	100	
			＊　床掘り	土質	式 or ㎥	100	
			＊　埋戻し	土質区分、土質	式 or ㎥	100	
			＊　基面整正	－	式 or ㎡	1	
	＊軽量盛土工		＊　掘削補助機械搬入搬出	－	式 or 回	1	
			＊　転石破砕	火薬使用の有無	式 or ㎥	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
基盤整備	＊軽量盛土工		＊　積込(ﾙｰｽﾞ)	土質、作業内容	式 or m³	100	
			＊　人力積込	土質、作業内容	式 or m³	1	
			＊　人力運搬	換算距離	式 or m³	1	
			＊　押土(ﾙｰｽﾞ)	土質	式 or m³	100	
			＊　土砂等運搬	土質	式 or m³	100	
			＊　整地	作業区分	式 or m²	100	
			＊　土材料	－	式 or m³	100	
		＊　軽量盛土工	＊　軽量盛土	－	m³	1	
			＊　コンクリート床版	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、厚さ	m²	1	
			＊　基礎コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m	1	
			＊　支柱	支柱仕様・規格	本	1	
			＊　壁面材	壁面材仕様・規格	m²	1	
			＊　裏込砕石	砕石規格	m³	1	
	＊擁壁工	＊　作業土工	＊　床掘り(掘削)	土質	式 or m³	100	ただし 1000 m³未満は 10 m³
			＊　床掘り	土質	式 or m³	100	ただし 1000 m³未満は 10 m³
			＊　埋戻し	土質区分、土質	式 or m³	100	ただし 1000 m³未満は 10 m³、岩類は 10 m³
			＊　基面整正	－	式 or m²	1	
			＊　掘削補助機械搬入搬出	－	式 or 回	1	
			＊　転石破砕	火薬使用の有無	式 or m³	1	
			＊　積込（ルーズ）	土質、作業内容	式 or m³	100	ただし 1000 m³未満は 10 m³
			＊　人力積込	土質、作業内容	式 or m³	1	
			＊　人力運搬	換算距離	式 or m³	1	
			＊　押土（ルーズ）	土質	式 or m³	100	ただし 1000 m³未満は 10 m³
			＊　土砂等運搬	土質	式 or m³	100	
			＊　整地	作業区分	式 or m³	100	ただし 1000 m³未満は 10 m³
			＊　土材料	－	式 or m³	100	ただし 1000 m³未満は 10 m³
		＊　場所打擁壁工（構造物単位）	＊　小型擁壁	擁壁平均高さ、本体ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m³	1or0.1	H=2.0m未満の擁壁類は 0.1 m³
			＊　重力式擁壁	擁壁平均高さ、本体ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m³	1 or 0.1	
			＊　もたれ式擁壁	本体ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m³	1 or 0.1	H=2.0m以上の擁壁類は 1 m³
			＊　逆Ｔ型擁壁	本体ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m³	1 or 0.1	
			＊　Ｌ型擁壁	本体ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m³	1 or 0.1	
			＊　裏込砕石	砕石規格	m³	1	
			＊　止水板	止水板種類･寸法	m	1	
			＊　化粧型枠	型枠種類	m²	10	ただし 100 m²未満は 1 m²

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
基盤整備	＊擁壁工		＊　ペーラインコンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	式 or ㎥	1	
			＊　排水材設置(構造物背面排水材)	－	m	10	
		＊　場所打擁壁工	＊　基礎材	基礎材規格、敷厚	㎡	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
			公園基礎材	基礎材規格、敷厚	㎥	1	
			＊　均しコンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、敷厚	㎡	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
			公園均しコンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、敷厚	㎥	1	
			＊　コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	㎥	1	
			＊　鉄筋	鉄筋材料規格・径	t	0.01	
			＊　型枠	－	式 or ㎡	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　足場	安全ﾈｯﾄの有無	式 or 掛㎡	10	
			＊　目地板	目地板の種類、目地板厚さ	㎡	1	
			＊　シール材	－	m	1	
			＊　止水板	止水板種類･寸法	m	1	
			＊　水抜きパイプ	管径･管種類、ﾌｨﾙﾀｰの有無	式 orm	1	
			＊　吸出し防止材	材質、種類、厚さ	㎡	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
			擁壁高さ調整	－	式 orm	1	
			＊　排水材設置(構造物背面排水材)	－	m	10	
		＊　プレキャスト擁壁工	＊　プレキャスト擁壁	幅、高さ、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m	1 or 0.1	数位は現場打擁壁工（構造物単位）参照
			＊　排水材設置(構造物背面排水材)	－	m	10	
		＊　帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁工	＊　補強土壁基礎	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m	1	
			＊　補強土壁壁面材組立･設置	工法区分	㎡	1	
			＊　補強材取付	工法区分	m	1	
			＊　まき出し･敷均し、締固め	工法区分	㎥	1	
			＊　採取土盛土材	土質	式 or ㎥	1	
			＊　壁面上端処理	幅	m	1	
			＊　排水管敷設	管種別、管径	式 orm	1	
		＊　ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁工(二重壁ﾀｲﾌﾟ)	補強土壁基礎	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m	1	
			＊　補強土壁壁面材組立･設置	－	㎡	1	
			＊　補強材取付	－	㎡	1	
			＊　砕石投入	－	㎥	1	
			＊　まき出し･敷均し、締固め	－	㎥	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
基盤整備	＊擁壁工		＊　採取土盛土材	土質	式 or m³	1	
			＊　壁面上端処理	幅	m	1	
			＊　排水管敷設	管種別、管径	式 orm	1	
		＊　ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ補強土壁工(鋼製枠ﾀｲﾌﾟ)	＊　補強土壁基礎	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m	1	
			＊　ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ壁面材組立・設置	壁面材の種類	式 or m²	1	
			＊　ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ敷設	ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ規格	m²	1	
			＊　まき出し・敷均し、締固め	土質	m³	1	
			＊　採取土盛土材	土質	式 or m³	1	
			＊　壁面上端処理	幅	m	1	
			＊　排水管敷設	管種別、管径	式 orm	1	
		＊　補強盛土工	＊　補強土壁基礎	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m	1	
			＊　ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ壁面材組立・設置	壁面材の種類	式 or m²	1	
			＊　ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ敷設	ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙ規格	m²	1	
			＊　まき出し・敷均し、締固め	土質	m³	1	
			＊　採取土盛土材	土質	式 or m³	1	
			＊　壁面上端処理	幅	m	1	
			＊　排水管敷設	管種別、管径	式 orm	1	
		＊　コンクリートブロック工(ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積)	＊　現場打基礎コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、底幅，高さ	m	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ基礎ﾌﾞﾛｯｸ	底幅、高さ、ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ材規格(型)	m	1	
			＊　現場打小口止ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m³	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ小口止ﾌﾞﾛｯｸ	幅、高さ	m	1	
			＊　現場打横帯(隔壁)ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m³	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ横帯(隔壁)ﾌﾞﾛｯｸ	幅、高さ	m	1	
			＊　基礎材	基礎材規格、敷厚	m²	1	
			＊　中詰ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	式 or m³	1	
			＊　コンクリート(間知)ブロック積	ﾌﾞﾛｯｸ規格	m²	1	
			＊　大型ブロック積	ﾌﾞﾛｯｸ規格	m²	1	
			＊　胴込・裏込コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m³	1	
			＊　胴込・裏込材(砕石)	砕石規格	m³	1	
			＊　吸出し防止材(全面)設置	材質、種類、厚さ	m²	1	
			＊　遮水シート張	材質、種類、寸法	m²	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
基盤整備	＊擁壁工		＊　目地板	目地板の種類、目地板厚さ	m^2	1	
			＊　シール材	―	m	1	
			＊　プレキャスト巻止ﾌﾞﾛｯｸ	幅、高さ	m	1	
			＊　養生費	養生工の種類	式 or m^3	1	
			＊　現場打天端コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m^3	1	
		＊　コンクリートブロック工(間知ﾌﾞﾛｯｸ張)	＊　現場打基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、底幅，高さ	m	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ基礎ﾌﾞﾛｯｸ	底幅、高さ、ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ材規格(型)	m	1	
			＊　現場打小口止ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m^3	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ小口止ﾌﾞﾛｯｸ	幅、高さ	m	1	
			＊　現場打横帯(隔壁)ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m^3	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ横帯(隔壁)ﾌﾞﾛｯｸ	幅、高さ	m	1	
			＊　基礎材	基礎材規格、敷厚	m^2	1	
			＊　中詰ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	式 or m^3	1	
			＊　間知ブロック張	ﾌﾞﾛｯｸ規格,裏込材規格,胴込･裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ規格,遮水ｼｰﾄの有無,遮水シート規格	m^2	1	
			＊　目地板	目地板の種類、目地板厚さ	m^2	1	
			＊　シール材	―	m	1	
			＊　プレキャスト巻止ブロック	幅、高さ	m		
			＊　現場打天端コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m^3	1	
		＊　コンクリートブロック工(平ﾌﾞﾛｯｸ張)	＊　現場打基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、底幅，高さ	m	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ基礎ﾌﾞﾛｯｸ	底幅、高さ、ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ材規格(型)	m	1	
			＊　現場打小口止ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m^3	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ小口止ﾌﾞﾛｯｸ	幅、高さ	m	1	
			＊　現場打横帯(隔壁)ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m^3	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ横帯(隔壁)ﾌﾞﾛｯｸ	幅、高さ	m	1	
			＊　平ブロック張	ﾌﾞﾛｯｸ規格､ﾌﾞﾛｯｸ規格(各種の場合)	m^2	1	
			＊　裏込栗石	砕石規格	m^3	1	
			＊　目地板	目地板の種類、目地板厚さ	m^2	1	
			＊　シール材	―	m	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
基盤整備	＊擁壁工		＊　プレキャス巻止ﾌﾞﾛｯｸ	幅、高さ	m	1	
			＊　現場打天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m³	1	
		＊　コンクリートブロック工(連節ﾌﾞﾛｯｸ張)	＊　現場打基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、底幅，高さ	m	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ基礎ﾌﾞﾛｯｸ	底幅、高さ、ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ材規格(型)	m	1	
			＊　現場打小口止ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m³	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ小口止ﾌﾞﾛｯｸ	幅、高さ	m	1	
			＊　現場打横帯(隔壁)ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m³	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ横帯(隔壁)ﾌﾞﾛｯｸ	幅、高さ	m	1	
			＊　基礎材	基礎材規格、敷厚	m²	1	
			＊　中詰ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	式 or m³	1	
			＊　連節ﾌﾞﾛｯｸ張	ﾌﾞﾛｯｸ規格	m²	1	
			＊　裏込栗石	砕石規格	m³	1	
			＊　目地板	目地板の種類、目地板厚さ	m²	1	
			＊　シール材	―	m	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ巻止ﾌﾞﾛｯｸ	幅、高さ	m	1	
			＊　現場打天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m³	1	
		＊　コンクリートブロック工(緑化ﾌﾞﾛｯｸ積)	＊　現場打基礎コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、底幅，高さ	m	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ基礎ﾌﾞﾛｯｸ	底幅、高さ、ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ材規格(型)	m	1	
			＊　現場打小口止ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m³	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ小口止ﾌﾞﾛｯｸ	幅、高さ	m	1	
			＊　現場打横帯(隔壁)ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m³	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ横帯(隔壁)ﾌﾞﾛｯｸ	幅、高さ	m	1	
			＊　基礎材	基礎材規格、敷厚	m²	10	
			＊　中詰ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	式 or m³	1	
			＊　緑化ブロック積	ﾌﾞﾛｯｸ規格(型)	m²	1	
			＊　ブロック植栽	樹木名	本	1	
			＊　天端保護ブロック	ﾌﾞﾛｯｸ規格(型)	m²	1	
			＊　目地板	目地板の種類、目地板厚さ	m²	1	
			＊　シール材	―	m	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ巻止ﾌﾞﾛｯｸ	幅、高さ	m	1	
			＊　現場打天端コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m³	1	
		石積工	崩れ積	崩れ積の高さ、石材の規格、石材の種類	m	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
基盤整備	＊擁壁工		面積	石材の種類、石材の規格、面積の高さ	m	1	
			玉石積	玉石積の高さ、石材の種類、石材の規格	m	1	
			小端積	小端積の高さ、石材の種類、石材の規格	m	1	
			こぶだし石積	こぶだし石積の高さ、石材の規格、石材の種類	m	1	
			切石積	切石積の高さ、石材の種類、石材の規格	m	1	
			間知石積	間知石積の高さ、石材の種類、石材の規格	m	1	
			雑割石積	雑割石積の高さ、石材の種類、石材の規格	m	1	
			雑石積	雑石積の高さ、石材の種類、石材の規格	m	1	
			割石積	割石積の高さ、石材の種類、石材の規格	m	1	
			雑割石張	雑割石張の高さ、石材の種類、石材の規格	㎡	1	
			雑石張	割石張の高さ、石材の種類、石材の規格	㎡	1	
			石積高さ調整	―	式 or m	1	
		土留め工	土留め	土留めの種類、土留めの規格、土留めの高さ	m	1	
	公園カルバート工	＊　擁壁工の＊作業土工参照					
		＊　場所打函渠工（構造物単位）	＊　函渠	内幅、内高、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	㎥		
			＊　鉄筋	鉄筋材料規格･径	t		
		＊　場所打函渠工	＊　基礎材	基礎材規格、敷厚	㎡	0.01	
			公園基礎材	基礎材規格、敷厚	㎥	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　均しコンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、敷厚	㎡	1	
			公園均しコンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、敷厚	㎥	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　コンクリート	内空幅、内空高さ、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、養生費、ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増の有無	㎥	1	
			＊　鉄筋	鉄筋材料規格･径	t	1	
			＊　型枠	―	式 or ㎡	0.01	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
基盤整備	公園カルバート工		＊　足場	安全ﾈｯﾄの有無	式 or 掛㎡	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　支保	支保耐力	式 or 空㎥	10	
			＊　目地板	目地材の種類、目地板厚さ	㎡	10	
			＊　シール材	―	m	1	
			＊　止水板	止水板の種類･寸法	m	1	
			＊　水抜パイプ	管径･管種類、ﾌｨﾙﾀｰの有無	式 orm	1	
			＊　排水材設置(構造物背面排水材)	―	m	10	
		＊　プレキャストカルバート工	＊　プレキャストボックス	内高、内幅	m	1	
			＊　止水ｼｰﾄ(大型ﾌﾟﾚｷｬｽﾄﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ)	―	m	1	
			＊　排水材設置(構造物背面排水材)	―	m	10	
	公園施設等撤去・移設工	公園施設撤去工	公園施設撤去	公園施設の種類、公園施設の規格	式 or 基	1	ただし 径 1m以上のプレイキャストは 0.1m
		移設工	遊具移設	遊具の種類、遊具の規格	基	1	
			小工作物移設	小工作物の種類、小工作物の規格	基	1	
			景石移設	景石の種類、景石の規格	個	1	
		樹木伐採・伐根工	高木伐採	幹周(C)、作業条件、人力伐採･機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類･規格	本	1	
			中低木伐採	樹高(H)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	本	1	
			高木伐根	幹周(C)、作業条件、人力抜根・機械抜根選択、機械の種類・規格	本	1	
			中低木抜根	樹高(H)、作業条件、人力抜根・機械抜根選択、機械の種類・規格	本	1	
			掘取り穴埋戻し	人力埋戻し･機械埋戻し選択、埋戻し土材料	㎥	10	
			倒木処理	幹周(C)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	本	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
基盤整備	公園施設等撤去・移設工	工事支障木対策工	枝降ろし	常落針葉樹の区分、幹周(C)、作業難易度、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格	本	1	
			支障枝剪定	常落針葉樹の区分、幹周(C)、枝透かし量、作業難易度、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格	本	1	
			中低木移植	樹木の規格、支柱の規格	本	1	
			樹木運搬	樹木の規格、運搬距離	本	1	
			中木刈込	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	本	1	
			低木刈込Ａ	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	本	1	
			低木刈込Ｂ	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	㎡	10	
		発生材再利用工	木ﾁｯﾌﾟ加工	－	㎥	1	ただし 10 ㎥未満は 0.1 ㎥
植栽	植栽工	高木植栽工	高木植栽	樹木の種類、樹高(H)、幹周(C)、枝張(W)、幹巻作業、支柱の種類	本	1	
		中低木植栽工	中低木植栽	樹木の種類、樹高(H)、枝張(W)、支柱の種類	本	1	
		特殊樹木植栽工	特殊樹木植栽（高木）	樹木の種類、幹周(C)、樹高(H)、支柱の種類、幹巻作業	本	1	
		地被類植栽工	地被類植栽	地被類の種別、ｺﾝﾃﾅ径	鉢	1	
			張芝	芝の種類、芝の規格、目地の有無	㎡	1	
		草花種子散布工	草花種子散布	播種方法種類、播種面種類、種子種類、肥料有無、養生材有無	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			草花植生マット	種類、規格	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
		播種工	播種	播種方法種類、播種面種類、種子種類、肥料有無、養生材有無	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
		花壇植栽工	花壇植栽	ｺﾝﾃﾅ径、花壇植物名	鉢	1	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
		樹木養生工	防風ネット	防風ﾈｯﾄの種類、防風ﾈｯﾄの規格	m	1	
			寒冷紗巻き	幹周(C)、樹高(H)	本	1	
			植穴透水層	―	本	1	
			空気管設置	空気管等の種類	箇所	1	
			マルチングＡ	ﾏﾙﾁﾝｸﾞ材の種類、ﾏﾙﾁﾝｸﾞ材の規格	㎡	1	
			マルチングＢ	ﾏﾙﾁﾝｸﾞ材の種類、ﾏﾙﾁﾝｸﾞ材の規格	本	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			防根シート	種類、規格	㎡	1	
			養生柵設置	種類、規格、高さ	m	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
植栽	植栽工		支柱設置	支柱の規格	基	1	
		樹名板工	埋込型樹名板	埋込型樹名板の種類、埋込型樹名板の規格	基	1	
			幹巻型樹名板	幹巻型樹名板の種類、幹巻型樹名板の規格	枚	1	
		根囲い保護工	根囲い保護	根囲い保護の種類、根囲い保護の規格	基	1	
		芝生保護工	芝生プロテクター	種類、規格	㎡	1	
		壁面緑化施設工	壁面緑化フェンス	種類、規格	式 orm	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			壁面緑化パネル	種類、規格	式 or 基	1	
			登はん補助資材	種類、規格、資材の材質	式 or ㎡	1	
			壁面緑化設備	種類、規格	式	1	
	移植工	根回し工	高中木根回し	樹木の規格	本	1	
		高木移植工	高木移植	樹木の規格、支柱の種類、幹巻作業	本	1	
			樹木運搬	運搬距離、樹木の規格	本	1	
			特殊機械掘取	樹木の規格、移植機械の種類、移植機械の規格	本	1	
			特殊機械運搬	運搬距離、樹木の規格	本	1	
		根株移植工	根株移植	樹木の規格	本	1	
			根株運搬	運搬距離	本	1	
			特殊機械掘取	樹木の規格、移植機械の種類、移植機械の規格	本	1	
			特殊機械運搬	運搬距離、樹木の規格	本	1	
		中低木移植工	中低木移植	樹木の規格、支柱の規格	本	1	
			樹木運搬	樹木の規格、運搬距離	本	1	
		地被類移植工	地被類移植	地被類の規格	本	1	
			地被類運搬	運搬距離	本	1	
		樹木養生工	防風ネット	防風ﾈｯﾄの種類、防風ﾈｯﾄの規格	m		
			寒冷紗巻き	幹周(C)、樹高(H)	本	1	
			植穴透水層	―	本	1	
			空気管設置	空気管等の種類	箇所	1	
			マルチングA	ﾏﾙﾁﾝｸﾞ材の種類、ﾏﾙﾁﾝｸﾞ材の規格	㎡	1	
			マルチングB	ﾏﾙﾁﾝｸﾞ材の種類、ﾏﾙﾁﾝｸﾞ材の規格	本	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			防根シート	種類、規格	㎡	1	
			養生柵設置	種類、規格、高さ	m	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			支柱設置	支柱の規格	基	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
植栽	移植工	樹名板工	埋込型樹名板	埋込型樹名板の種類、埋込型樹名板の規格	基	1	
			幹巻型樹名板	幹巻型樹名板の種類、幹巻型樹名板の規格	枚	1	
		根囲い保護工	根囲い保護	根囲い保護の種類、根囲い保護の規格	基		
	公園施設等撤去・移設工	公園施設撤去工	公園施設撤去	公園施設の種類、公園施設の規格	式 or 基	1	
		移設工	遊具移設	遊具の種類、遊具の規格	基	1	
			小工作物移設	小工作物の種類、小工作物の規格	基	1	
			景石移設	景石の種類、景石の規格	個	1	
		樹木伐採・抜根工	高木伐採	幹周(C)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格	本	1	
			中低木伐採	樹高(H)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	本	1	
			高木抜根	幹周(C)、作業条件、人力抜根・機械抜根選択、機械の種類・規格	本	1	
			中低木抜根	樹高(H)、作業条件、人力抜根・機械抜根選択、機械の種類・規格	本	1	
			掘取り穴埋戻し	人力埋戻し・機械埋戻し選択、埋戻し土材料	㎥	10	
			倒木処理	幹周(C)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	本	1	
		工事支障木対策工	枝降ろし	常落針葉樹の区分、幹周(C)、作業難易度、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格	本	1	
			支障枝剪定	常落針葉樹の区分、幹周(C)、枝透かし量、作業難易度、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格	本	1	
			中低木移植	樹木の規格、支柱の規格	本	1	
			樹木運搬	樹木の規格、運搬距離	本	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
植栽	公園施設等撤去・移設工		中木刈込	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	本	1	
			低木刈込A	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	本	1	
			低木刈込B	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	㎡		
		発生材再利用工	木チップ加工	―	㎥	1	ただし10㎥未満は0.1㎥
緑地育成	植栽基盤改良工	透水層工	暗渠排水	排水材の種類、排水材の規格	m		
		土層改良工	普通耕	―	㎡		
			深耕	―	㎡		
			混層耕	―	㎡		
			土壌入替え	土材料、深さ	㎥		
			エアレーション	機材の種類・規格	㎡		
			圧縮空気破砕	空気圧縮機の種類・規格	㎡		
		小規模土性改良工	土壌改良材混入	土壌改良材の種類	㎡		
			施肥B	肥料の種類、肥料の規格	㎡		
		＊　残土処理工	＊整地	作業区分	式 or ㎥		
			＊土砂等運搬	土質	式 or ㎥	100	
			＊残土等処分	―	式 or ㎥		
	樹木整姿工	高中木整姿工	落葉樹基本剪定	幹周(C)、枝透かし量、作業難易度、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高	本	1	
			常緑樹基本剪定	幹周(C)、枝透かし量、作業難易度、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高	本	1	
			針葉樹基本剪定	常･落葉樹の区分、幹周(C)、枝透かし量、作業難易度、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高	本	1	
			落葉樹整姿剪定	幹周(C)、枝透かし量、作業難易度、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高	本	1	
			常緑樹整姿剪定	幹周(C)、枝透かし量、作業難易度、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高	本	1	
			針葉樹整姿剪定	常･落葉樹の区分、幹周(C)、枝透かし量、作業難易度、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高	本	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
緑地育成	樹木整姿工		フジ棚整姿剪定	幹周(C)、枝透かし量、作業難易度	㎡		
			マツ整姿剪定	幹周(C)、作業内容	本	1	
			枝降ろし	常落針葉樹の区分、幹周(C)、作業難易度、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格	本	1	
			胴吹き枝・ヤゴ取り	幹周(C)、剪定量	本	1	
			支障枝剪定	常落針葉樹の区分、幹周(C)、枝透かし量、作業難易度、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格	本	1	
		中木刈込工	中木刈込	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	本	1	
			中木機械刈込	樹高(H)、刈込機械の種類・規格、刈込み量、作業難易度	本	1	
			生垣刈込	樹高(H)、作業難易度	m		
			生垣機械刈込	樹高(H)、刈込機械の種類・規格、作業難易度	m		
		低木刈込工	低木刈込 A	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	本	1	
			低木刈込 B	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	㎡		
			低木機械刈込 A	樹高(H)、刈込機械の種類・規格、刈込み量、作業難易度	本	1	
			低木機械刈込 B	樹高(H)、刈込機械の種類・規格、刈込み量、作業難易度	㎡		
		仕立物刈込工	仕立物刈込	仕立物の種類、樹高(H)、刈込機械使用の有無、刈込機の種類・規格、刈込み量、作業難易度	本	1	
	樹木育成工	病害虫防除工	被害枝切除	幹周(C)、樹高(H)、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高	本	1	
			こも巻き	幹周(C)	本	1	
			こも巻き撤去	幹周(C)	本	1	
			薬剤部分施用	薬剤の種類	本	1	
			薬剤全面施用 A	薬剤の種類	本	1	
			薬剤全面施用 B	薬剤の種類	㎡		
		樹勢回復工	施肥 A	肥料の種類、肥料の規格	本		
			施肥 B	肥料の種類、肥料の規格	㎡		

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
緑地育成	樹木育成工		樹勢回復	樹勢回復剤の種類	本	1	
			樹木修復	樹木修復の方法	本	1	
		樹木養生工	寒冷紗巻き	幹周(C)、樹高(H)	本	1	
			空気管設置	空気管等の種類	箇所		
			ﾏﾙﾁﾝｸﾞ A	マルチング材の種類、マルチング材の規格	㎡		
			ﾏﾙﾁﾝｸﾞ B	マルチング材の種類、マルチング材の規格	本	1	
			防根シート	種類、規格	㎡		
			幹巻	幹周(C)	本	1	
			養生柵設置	種類、規格、高さ	m		
		支柱補修工	支柱取替	支柱の種類	基		
			結束直し	支柱の種類	基		
			支柱撤去	支柱の種類	基		
		樹木矯正工	根上り矯正	―	本	1	
			倒木復旧	幹周(C)、樹高(H)、人力･機械施工の選択、支柱の種類、幹巻の有無、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類･規格	本	1	
			半倒木復旧	幹周(C)、樹高(H)、人力･機械施工の選択、支柱の種類、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類･規格	本	1	
		樹木伐採・抜根工	高木伐採	幹周(C)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類･規格	本	1	
			中低木伐採	樹高(H)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	本	1	
			高木抜根	幹周(C)、作業条件、人力抜根・機械抜根選択、機械の種類・規格	本	1	
			中低木抜根	樹高(H)、作業条件、人力抜根・機械抜根選択、機械の種類・規格	本	1	
			掘取り穴埋戻し	人力埋戻し･機械埋戻し選択、埋戻し土材料	㎥	10	
			倒木処理	幹周(C)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	本	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
緑地育成	芝生地育成工	芝生育成工	芝機械刈り	肩掛式使用機材の種類・規格、乗用式使用機材の種類・規格、ハンドガイド式使用機材の種類・規格、作業条件、地形条件区分、密刈込回数、飛散防止措置の有無	㎡		
			芝人力刈り	地形条件区分、密刈込回数	㎡		
			縁切	―	m		
			目土掛	―	㎡		
			施肥Ｂ	肥料の種類、肥料の規格	㎡		
			ブラッシング	―	㎡		
			エアレーション	機材の種類・規格	㎡		
			人力抜根除草	―	㎡		
	樹木冬期対策工	高木雪囲工	幹吊り	幹周(C)、撤去・再利用の区分	本	1	
			枝吊り	幹周(C)、撤去・再利用の区分	本	1	
		中低木雪囲工	縄巻き	樹高(H)	本	1	
			竹囲い	樹高(H)、撤去・再利用の区分	本	1	
			屋根囲い	樹高(H)、使用材料の種類、撤去・再利用の区分	㎡		
			板囲い	樹高(H)、撤去・再利用の区分	m		
		樹木防寒工	藁巻	樹高(H)、株立ち本数	本	1	
			藁ぼっち	―	本	1	
	発生材等処理工	発生材処理工	＊　殻運搬	殻種別	㎥		
			＊　殻処分	殻種別	㎥		
		＊　残土処理工	＊　整地	作業区分	式 or ㎥		
			＊　土砂等運搬	土質	式 or ㎥	100	
			＊　残土等処分	―	式 or ㎥		
	公園施設等撤去・移設工	公園施設撤去工	公園施設撤去	公園施設の種類、公園施設の規格	式 or 基	1	
		移設工	遊具移設	遊具の種類、遊具の規格	基	1	
			小工作物移設	小工作物の種類、小工作物の規格	基	1	
			景石移設	景石の種類、景石の規格	個	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
緑地育成	公園施設等撤去・移設工	樹木伐採・抜根工	高木伐採	幹周(C)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格	本	1	
			中低木伐採	樹高(H)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	本	1	
			高木抜根	幹周(C)、作業条件、人力抜根・機械抜根選択、機械の種類・規格	本	1	
			中低木抜根	樹高(H)、作業条件、人力抜根・機械抜根選択、機械の種類・規格	本	1	
			掘取り穴埋戻し	人力埋戻し・機械埋戻し選択、埋戻し土材料	m^3	10	
			倒木処理	幹周(C)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	本	1	
		工事支障木対策工	枝降ろし	常落針葉樹の区分、幹周(C)、作業難易度、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格	本	1	
			支障枝剪定	常落針葉樹の区分、幹周(C)、枝透かし量、作業難易度、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格	本	1	
			中低木移植	樹木の規格、支柱の規格	本	1	
			樹木運搬	樹木の規格、運搬距離	本	1	
			中木刈込	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	本	1	
			低木刈込Ａ	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	本	1	
			低木刈込Ｂ	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	m^2	10	
		発生材再利用工	木チップ加工	―	m^3	1	ただし 10 m^3未満は 0.1 m^3
施設整備	給水設備工	水栓類取付工	ﾒｰﾀｰﾎﾞｯｸｽ	ﾒｰﾀｰﾎﾞｯｸｽの規格、ﾒｰﾀｰﾎﾞｯｸｽの種類	個	1	
			止水栓	止水栓の種類、止水栓の規格	個	1	
			止水栓ボックス	止水栓ﾎﾞｯｸｽの規格	個	1	
			不凍水栓	種類、規格	基	1	
			ボックス類高さ調整	―	箇所	1	
		貯水施設工	貯水施設	貯水施設の種類	箇所	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
施設整備	給水設備工		蓋高さ調整	－	箇所	1	
		循環設備工	機械室	－	式	1	
			貯水槽	－	式	1	
			噴水装置	－	式	1	
			濾過装置	－	式	1	
			滅菌装置	－	式	1	
			循環設備	－	式	1	
		散水施設工	スプリンクラー	種類、規格	基	1	
			ミスト	種類、規格	基	1	
			ドリップパイプ	ﾄﾞﾘｯﾌﾟﾊﾟｲﾌﾟの種類、ﾄﾞﾘｯﾌﾟﾊﾟｲﾌﾟの規格	m	1	
			散水栓	散水栓の規格	基	1	
			散水栓ボックス	散水栓ﾎﾞｯｸｽの種類、散水栓ﾎﾞｯｸｽの規格	基	1	
			散水栓高さ調整	－	基	1	
		消火線工	消火栓	規格	基	1	
			屋外消火栓格納箱	規格	基	1	
			消火栓高さ調整	－	基	1	
		給水設備修繕工	給水設備修繕	－	式	1	
		＊　作業土工	基盤整備＊擁壁工＊作業土工参照				
		給水管路工	給水管	給水管の種類、給水管の規格	m	1	
			埋設標	埋設標の規格	個	1	
			埋設シート	埋設ｼｰﾄの種類、埋設ｼｰﾄの規格	m	1	
	雨水排水設備工	調整池工	周囲小堤	種類、幅、高さ	m	1	
			余水吐	種類、幅、高さ、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	箇所	1	
			放流施設	－	箇所	1	
		貯留施設工	貯留施設	－	箇所	1	
			蓋高さ調整	－	箇所	1	
		＊　作業土工	基盤整備＊擁壁工＊作業土工参照				
		＊　側溝工	＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄＬ形側溝	幅、高さ、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m	1	
			ﾌﾟﾚｷｬｽﾄＶ型側溝	Ｖ型側溝規格	m	1	
			現場打Ｌ型側溝	現場打Ｌ型側溝の規格	m	1	
			＊　管(函)渠型側溝	幅、高さ	m	1	
			＊　側溝基礎	幅、高さ、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
施設整備	雨水排水設備工		＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄU型側溝	U型側溝規格	m	1	
			現場打側溝	内幅、中高、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m	1	
			ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ皿型側溝	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ皿形側溝の種類、ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ皿形側溝の規格	m	1	ただし 径 1m以上の管渠類は0.1m
			＊　ｺﾙｹﾞｰﾄﾌﾘｭｰﾑ	管規格	m	1	
			＊　自由勾配側溝	側溝規格	m	1	
			特殊円形側溝	特殊円形側溝の種類、特殊円形側溝の規格	m	1	
			公園素掘側溝	内幅、内高、芝の有無、芝の種類	m	1	
			U型側溝小口止め	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、壁厚	箇所	1	
			側溝高さ調整	―	m	1	
			＊　側溝蓋	蓋種類	枚	1	
		＊　管渠工	公園管渠	管種類、管径、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	m	1	
			＊　ﾋｭｰﾑ管(B形管)	管規格	m	1	
			＊　暗渠排水管	作業区分、管種別、管径	m	1	
			＊　鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ台付管	管規格	m	1	
			＊　巻きｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、養生費、ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増の有無	m^3	1	
			＊　コルゲートパイプ	管規格	m	1	ただし 径 1m以上の管渠類は0.1m
			副管	管種の類、管の規格	箇所	1	ただし 径 1m以上の管渠類は0.1m
			接続用ソケット	管種の類、管の規格	箇所	1	
			立体網状管	種類、規格	m	1	
			管閉塞	―	箇所	1	
			管口フィルター	種類、規格	個	1	
		＊　集水桝・マンホール工	＊　現場打ち街渠桝	集水桝・街渠桝種類、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、法面作業補正	箇所	1	
			＊　現場打ち集水桝	集水桝・街渠桝種類、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、法面作業補正	箇所	1	
			浸透桝	浸透桝の規格、蓋種の類、蓋の規格	箇所	1	
			＊　プレキャスト街渠桝	桝規格	箇所	1	
			＊　プレキャスト集水桝	桝規格	箇所	1	
			＊　集水桝・ﾏﾝﾎｰﾙ基礎	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、幅、長さ、高さ	箇所	1	
			塩化ビニル桝	桝規格、桝材料、蓋の種類	箇所	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
施設整備	雨水排水設備工		＊　マンホール	ﾏﾝﾎｰﾙ規格、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、蓋種類	箇所	1	
			＊　プレキャストマンホール	ﾏﾝﾎｰﾙ規格、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、蓋種類	箇所	1	
			公園マンホール	ﾏﾝﾎｰﾙ規格、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、蓋種類	箇所	1	
			浸透マンホール	浸透ﾏﾝﾎｰﾙの規格、蓋種類、蓋の規格	箇所	1	
			桝高さ調整	―	箇所	1	
			マンホール高さ調整	―	箇所	1	
			＊　蓋	蓋種類	枚	1	
		＊　地下排水工	透水コンクリート管	透水ｺﾝｸﾘｰﾄ管の種類、透水ｺﾝｸﾘｰﾄ管の規格	m	1	
			化学繊維管	化学繊維系管の種類、化学繊維系管の規格	m	1	
			＊　地下排水	管規格	m	1	
		公園水路工	＊　現場打水路	内幅(複単不使用の場合)、内高(複単不使用の場合)、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m	1	ただし 径 1m以上の管渠類は 0.1m
			プレキャスト水路	ﾌﾞﾛｯｸ規格、ﾌﾞﾛｯｸ高さ	m	1	
			水路蓋	蓋版の種類、蓋版の規格	枚	1	
	汚水排水設備工	＊　作業土工	基盤整備＊擁壁工＊作業土工			1	
		＊　管渠工	公園管渠	管種類、管径、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	m	1	
			＊　ﾋｭｰﾑ管(B 形管)	管規格	m	1	
			＊　暗渠排水管	作業区分、管種別、管径	m	1	
			＊　鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ台付管	管規格	m	1	
			＊　巻きｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、養生費、ｺﾝｸﾘｰﾄ夜間割増の有無	m^3		
			＊　コルゲートパイプ	管規格	m	1	ただし 径 1m以上の管渠類は 0.1m
			副管	管の種類、管の規格	箇所	1	ただし 径 1m以上の管渠類は 0.1m
			接続用ソケット	管の種類、管の規格	箇所	1	
			管閉塞	―	箇所	1	
		汚水桝・マンホール工	汚水桝	汚水桝の種類、汚水桝の規格	箇所	1	
			塩化ビニル桝	桝規格、桝材質料、蓋の種類	箇所	1	
			＊　マンホール	ﾏﾝﾎｰﾙ規格、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、蓋種類	箇所	1	
			＊　プレキャストマンホール	ﾏﾝﾎｰﾙ規格、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、蓋種類	箇所	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
施設整備	汚水排水設備工		＊　集水桝・ﾏﾝﾎｰﾙ基礎	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、幅、長さ、高さ	箇所	1	
			公園マンホール	ﾏﾝﾎｰﾙ規格、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、蓋種類	箇所	1	
			インバート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、ｺﾝｸﾘｰﾄ厚さ	m^3	1	
			桝高さ調整	―	箇所	1	
			マンホール高さ調整	―	箇所	1	
			＊　蓋	蓋種類	枚	1	
		浄化槽工	浄化槽	浄化槽の種類、浄化槽の規格	箇所	1	
	電気設備工	照明設備工	＊　ハンドホール	寸法	箇所	1	
			ハンドホール高さ調整	―	箇所	1	
			引込柱	引込柱の種類、引込柱の規格	基	1	
			分電盤	分電盤の規格	面	1	
			分電盤高さ調整	―	式	1	
			照明灯基礎	砕石の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	基	1	
			照明灯	照明柱の規格、電球の規格	基	1	
			遮光板	種類、規格	個	1	
		放送設備工	＊　ハンドホール	寸法	箇所	1	
			ハンドホール高さ調整	―	箇所	1	
			放送設備	放送設備の種類	式	1	
			スピーカー柱基礎	砕石の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	基	1	
			スピーカー柱	ｽﾋﾟｰｶｰ柱の規格	基	1	
		監視カメラ設置工	＊　ハンドホール	寸法	箇所	1	
			ハンドホール高さ調整	―	箇所	1	
			監視カメラ設備	種類、規格	式	1	
			監視カメラ柱基礎	砕石の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	基	1	
			監視ｶﾒﾗ柱	規格	基	1	
		電気設備修繕工	電気設備修繕	―	式	1	
		＊　作業土工	基盤整備＊擁壁工＊作業土工参照			1	
		電線管路工	電線管	電線管種類、電線管規格	m	1	
			電線	電線種類、電線規格	m	1	
			埋設標	埋設標の規格	個	1	
			埋設シート	埋設ｼｰﾄの種類、埋設ｼｰﾄの規格	m	1	
	園路広場整備工	＊　舗装版撤去工	＊　舗装版切断	舗装版種別、舗装厚	式 or m	1	
			＊　舗装版破砕	舗装版種別、舗装版厚	m^2	10	ただし 100m未満は 1m
			＊　舗装版破砕（小規模）	舗装版種別	m^2	10	ただし 1000 m^2未満は 1 m^2

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
施設整備	園路広場整備工		＊　舗装版破砕（急速施工）	舗装版種別、舗装版厚	㎡	10	
			＊　路面切削	施工区分・平均切削深さ、段差すりつけ撤去作業の有無	㎡	10	
			＊　殻運搬（路面切削）	殻種別	㎥	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　殻運搬	殻種別	㎥	1	
			＊　殻処分	殻種別	㎥	1	
		＊　舗装準備工	＊　不陸整正	補足材有無、補足材種類・規格、補足材整正厚	㎡	1	
		＊　アスファルト舗装工	＊　下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　下層路盤(歩道部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　上層路盤(歩道部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　基層(車道・路肩部)	材料種類、材料規格、舗装厚、平均幅員	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　基層(歩道部)	材料種類、材料規格、舗装厚、平均幅員	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　中間層(車道・路肩部)	材料種類、材料規格、舗装厚、平均幅員	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　中間層(歩道部)	材料種類、材料規格、舗装厚、平均幅員	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　表層(車道・路肩部)	材料種類、材料規格、舗装厚、平均幅員	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　表層(歩道部)	材料種類、材料規格、舗装厚、平均幅員	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
		＊　排水性舗装工	＊　下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　下層路盤(歩道部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　上層路盤(歩道部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　基層(車道・路肩部)	材料種類、材料規格、舗装厚、平均幅員	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　基層(歩道部)	材料種類、材料規格、舗装厚、平均幅員	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　中間層(車道・路肩部)	材料種類、材料規格、舗装厚、平均幅員	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　中間層(歩道部)	材料種類、材料規格、舗装厚、平均幅員	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
施設整備	園路広場整備工		＊　排水性舗装・表層(車道・路肩部)	―	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
		＊　透水性舗装工	＊　フィルター層	材料種類、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			＊　下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	㎡	10	
			＊　下層路盤(歩道部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			＊　路盤(路肩部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			＊　表層	材料種類、材料規格、平均幅員、舗装厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
		アスファルト系舗装工	公園アスファルト舗装	路盤材料の種類、表層材種類、基層材規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			公園アスファルト薄層カラー舗装	路盤材料の種類、仕上り厚、舗装色、薄層ｶﾗｰ舗装の種類	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			透水性アスファルト舗装	路盤材料の種類、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			脱色アスファルト舗装	路盤材料の種類、表層材種類、基層材規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
		コンクリート系舗装工	インターロッキング舗装	路盤材料の種類、ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞの規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			公園コンクリート舗装	路盤材種類の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			透水性コンクリート舗装	路盤材料の種類、~~ｺﾝｸﾘｰﾄの種類、~~仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			平板舗装	路盤材料の種類、平板の種類、平板の規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			洗い出し舗装	路盤材料の種類、ｾﾒﾝﾄの種類、砂の種類、種石の種類、顔料の種類、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
		土系舗装工	土舗装	路盤材料の種類、土舗装の種類、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			芝舗装	路盤材料の種類、芝の種類、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			耐踏圧性芝生舗装	ﾌﾟﾛﾃｸﾀｰの種類・規格、路盤材料の種類、芝の種類、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			砂舗装	砂の種類、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			石灰岩ダスト舗装	路盤材料の種類、表層安定剤の種類、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
		レンガ・タイル系舗装工	レンガ舗装	路盤材料の種類、ﾚﾝｶﾞの種類、ﾚﾝｶﾞの規格、仕上り厚、舗装形状	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
施設整備	園路広場整備工		タイル舗装	路盤材料の種類、ﾀｲﾙの種類、ﾀｲﾙの規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
		木系舗装工	チップ舗装	路盤材料の種類、ﾁｯﾌﾟの規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			木ﾚﾝｶﾞ舗装	路盤材料の種類、木ﾚﾝｶﾞの種類、木ﾚﾝｶﾞの規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			木道	木道の種類、木道の規格、仕上り厚	m	10	ただし1000m未満は1m
			枕木舗装	路盤材料の種類、枕木の種類・規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000m未満は1m
		樹脂系舗装工	樹脂舗装	路盤材料の種類、樹脂舗装材料の種類、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			ゴムチップ舗装	路盤材料の種類、ｺﾞﾑﾁｯﾌﾟ舗装材料の種類、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
		石材系舗装工	砂利舗装	路盤材料の種類、砂利の種類、砂利の規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			砕石舗装	路盤材料の種類、砕石の種類、砕石の規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			平石張装	路盤材料の種類、石材料の種類、石材料の規格、仕上り厚、張り方	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			ごろた石張装	路盤材料の種類、ごろた石の種類、ごろた石の規格、仕上り厚、張り方	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			玉石張舗装	路盤材料の種類、玉石種類、玉石の規格、仕上り厚、張り方	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			割板石張舗装	路盤材料の種類、割板石種類、割板石の規格、仕上り厚、張り方	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			小舗石舗装	路盤材料の種類、路盤の仕上り厚、小舗石種類、小舗石の規格、仕上り厚、張り方	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			切板石張舗装	路盤材料の種類、路盤の仕上り厚、切板石種類、切板石の規格、仕上り厚、張り方	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			延段	路盤材料の種類、延段材料の種類、延段材料の規格、仕上り厚、張り方	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			飛石	飛石材料の種類、飛石材料の規格、仕上り厚	個	1	ただし100㎡未満は0.1㎡
		＊　舗装仮復旧工	＊　不陸整正	補足材の有無、補足材種類・規格、補足材整正厚	㎡	1	
			＊　下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
施設整備	園路広場整備工		＊　下層路盤(歩道部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			＊　上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			＊　上層路盤(歩道部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			＊　基層(車道・路肩部)	材料種類、材料規格、舗装厚、平均幅員	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			＊　基層(歩道部)	材料種類、材料規格、舗装厚、平均幅員	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			＊　表層(車道・路肩部)	材料種類、材料規格、舗装厚、平均幅員	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			＊　表層(歩道部)	材料種類、材料規格、舗装厚、平均幅員	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			公園アスファルト舗装	路盤材料の種類、表層材、基層材種類、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			公園コンクリート舗装	路盤材料の種類、ｺﾝｸﾘｰﾄの種類、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			インターロッキング舗装	路盤材料の種類、ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞの規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			平板舗装	路盤材料の種類、平板の種類、平板の規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
		園路縁石工	コンクリート縁石	ﾌﾞﾛｯｸ規格	m	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			現場打縁石	砕石の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m	1	
			駒止めブロック	ﾌﾞﾛｯｸ規格	m	1	
			舗装止め	ﾌﾞﾛｯｸ規格	m	1	
			擬石縁石	擬石縁石の規格	m	1	
			レンガ縁石	ﾚﾝｶﾞの種類、ﾚﾝｶﾞの規格	m	1	
			木縁石	木縁石の規格	m	1	
			見切材（仕切材）	見切材(仕切材)の規格、見切材(仕切材)の種類	m	1	
			石材縁石	石材の種類、石材の規格	m	1	
			縁石高さ調整	―	m	1	
		＊　区画線工	＊　溶融式区画線	施工方法区分、規格・仕様区分、塗布厚、排水性舗装の有無	m	1	
			＊　ペイント式区画線	施工方法区分、規格・仕様区分、塗料規格	m	10	ただし100m未満は1m
			＊　区画線消去	施工方法区分	m	10	ただし100m未満は1m
			＊　区画線消去(ＷＪ式日当施工量未満	―	式	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
施設整備	園路広場整備工		ロープ区画線	種類、規格	m	1	
			ロープ止め	種類、規格	本	10	ただし 100m未満は 1m
		階段工	コンクリート階段	ｺﾝｸﾘｰﾄ階段規格	箇所	1	
			コンクリートブロック階段	ｺﾝｸﾘｰﾄ階段規格、階段ﾌﾞﾛｯｸ種類、階段ﾌﾞﾛｯｸ規格	箇所	1	
			丸太階段	丸太階段規格、丸太種類、丸太規格	段	1	
			擬木階段	擬木階段規格、擬木種類、擬木規格	段	1	
			石材階段	石材階段規格、石材種類、石材規格	段	1	
			階段高さ調整	―	㎡	1	
			スロープ	―	式	1	
			手すり	手すりの規格	m	1	
		公園橋工	公園橋橋台	公園橋橋台の規格	箇所	1	
			公園橋設置	公園橋規格	基	1	
			八ッ橋	八ツ橋規格	基	1	
			石橋橋台	規格	箇所	1	
			石橋設置	規格	基	1	
			木橋橋台	規格	箇所	1	
			木橋設置	規格	基	1	
			浮き桟橋	種類、規格、材質	箇所	1	
		デッキ工	デッキ基礎	基礎材の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	式 or 基	1	
			デッキ設置	ﾃﾞｯｷの種類、ﾃﾞｯｷの規格	式 or 基	1	
		視覚障害者誘導用ブロック工	視覚障害者誘導用ブロック	視覚障害者誘導用ﾌﾞﾛｯｸ種類、視覚障害者誘導用ﾌﾞﾛｯｸ規格	㎡	1	
			視覚障害者誘導用点字シート	種類、規格	㎡	1	ただし 100 ㎡未満は 0.1 ㎡
		＊　作業土工	基盤整備＊擁壁工＊作業土工参照			1	ただし 100 ㎡未満は 0.1 ㎡
		植樹ブロック工	植樹ブロック	ﾌﾞﾛｯｸ規格	m	1	
	修景施設整備工	石組工	石組	石材の種類、石材の規格	個	1	
			景石	石材の種類、石材の規格	個	1	
		添景物工	つくばい	つくばいの種類	基	1	
			井筒	井筒の種類	基	1	
			灯篭	灯篭の種類	基	1	
			石塔	石塔の種類	基	1	
			擬岩造形	―	基	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
施設整備	修景施設整備工	袖垣・垣根工	袖垣	袖垣の種類	箇所	1	
			垣根	垣根の種類	m	1	
		花壇工	花壇	花壇の規格	箇所	1	
			プランター	ﾌﾟﾗﾝﾀｰの規格	基	1	
		トレリス工	トレリス	種類、規格	基	1	
			緑化フェンス	種類、規格	m	1	
		モニュメント工	モニュメント	ﾓﾆｭﾒﾝﾄの種類	基	1	
			記念碑	記念碑の種類	基	1	
		小規模水景施設工	流れ	―	箇所	1	
			滝	―	箇所	1	
			池	―	箇所	1	
			州浜	―	箇所	1	
			壁泉	―	箇所	1	
			カスケード	―	箇所	1	
			カナール	―	箇所	1	
		修景施設修繕工	修景施設修繕	―	式		
		＊　作業土工	基盤整備＊擁壁工＊作業土工参照			1	
		水景施設工	公園基礎材	基礎材規格、敷厚	m^3	1	
			公園均しコンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、敷厚	m^3	1	
			＊　コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	m^3	1	
			＊　鉄筋	鉄筋材料規格・径	t	1	
			＊　型枠	―	式 or m^2	0.01	
			＊　防水	防水材の種類	m^2	10	ただし 100 m^2未満は 1 m^2
			＊　シール材	―	m	1	
			塗装仕上げ	塗布面の種類	式 or m^2	1	ただし 100 m^2未満は 0.1 m^2
			加工仕上げ	加工の種類	式 or m^2	1	
			左官仕上げ	左官仕上げの種類	式 or m^2	1	
			タイル仕上げ	ﾀｲﾙ仕上げの種類	式 or m^2	1	
			石仕上げ	石仕上げの種類	式 or m^2	1	
			護岸	石積の種類	式 orm	1	
			石組	石材の種類、石材の規格	個	1	
			滝石組	石材の種類、石材の規格	個	1	
			沢飛	石材の種類、石材の規格	個	1	
			流出口	―	箇所	1	
			吐出口	―	箇所	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
施設整備	遊戯施設整備工	遊具組立設置工	ブランコ	ﾌﾞﾗﾝｺの種類	基	1	
			ジャングルジム	ｼﾞｬﾝｺﾞﾙｼﾞﾑ種類	基	1	
			滑台	滑台の種類	基	1	
			シーソー	ｼｰｿｰの種類	基	1	
			鉄棒	鉄棒の種類	基	1	
			ラダー	ﾗﾀﾞｰの種類	基	1	
			はん登棒	はん登棒の種類	基	1	
			スプリング遊具	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ遊具の種類	基	1	
			複合遊具	複合遊具の種類	基	1	
			アスレチック遊具	ｱｽﾚﾁｯｸ遊具の種類	基	1	
			健康遊具施設	健康遊具施設の種類	基	1	
			安全柵	種類、規格	基	1	
			安全マット	種類、規格	㎡	1	
		小規模現場打遊具工	砂場	砂場の規格	箇所	1	
			現場打遊具	現場打遊具の種類	箇所	1	
			徒渉池	―	箇所	1	
		遊具施設修繕工	遊具施設修繕	―	式	1	
		＊　作業土工	基盤整備＊擁壁工＊作業土工参照			1	
		現場打遊具工	公園基礎材	基礎材規格、敷厚	㎥	1	
			公園均しコンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、敷厚	㎥	1	
			＊　コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	㎥	1	
			＊　鉄筋	鉄筋材料規格・径	t	1	
			＊　型枠	―	式 or ㎡	0.01	
			＊　防水	防水材の種類	㎡	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　シール材	―	m	1	
			塗装仕上げ	塗布面の種類	式 or ㎡	1	ただし 100 ㎡未満は 0.1 ㎡
			加工仕上げ	加工の種類	式 or ㎡	1	
			左官仕上げ	左官仕上げの種類	式 or ㎡	1	
			タイル仕上げ	ﾀｲﾙ仕上げの種類	式 or ㎡	1	
			石仕上げ	石仕上げの種類	式 or ㎡	1	
			特殊仕上げ	仕上げ材の種類	式 or ㎡	1	
			砂	砂の種類	㎥	1	
			石取付	石材の種類、石材の規格	箇所	1	ただし 100 ㎥未満は 1 ㎥
			砂場枠	種類、規格	式 or㎜	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
施設整備	遊戯施設整備工		付属施設取付（鋼材・チェーン等）	付属施設の種類、付属施設の規格	式	1	
			流出口	―	箇所	1	
			吐出口	―	箇所	1	
	サービス施設整備工	時計台工	時計台	時計台の種類	基	1	
		水飲み場工	水飲み場	水飲み場の種類	基	1	
		洗い場工	手洗い場	手洗い場の種類	基	1	
			足洗い場	足洗い場の種類	基	1	
		ベンチ・テーブル工	ベンチ	ﾍﾞﾝﾁの種類、ﾍﾞﾝﾁの規格、ﾍﾞﾝﾁの材質	基	1	
			縁台	種類、規格、材質	基	1	
			テーブル	ﾃｰﾌﾞﾙの種類、ﾃｰﾌﾞﾙの規格、ﾃｰﾌﾞﾙの材質	基	1	
			スツール	ｽﾂｰﾙの材質、ｽﾂｰﾙの規格	基	1	
			野外卓	野外卓の種類、野外卓の規格、野外卓の材質	基	1	
		野外炉工	野外炉	―	基	1	
		炊事場工	炊事場	―	箇所	1	
		サイン施設工	サイン	ｻｲﾝの種類、ｻｲﾝの規格	基	1	
		サービス施設修繕工	サービス施設修繕	―	式	1	
	管理施設整備工	リサイクル施設工	リサイクル施設基礎	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、基礎材の種類、基礎材の規格	式 or 基	1	
			リサイクル施設設置	ﾘｻｲｸﾙ施設の種類	式 or 基	1	
			リサイクル施設設備	―	式	1	
		ごみ焼却施設工	ごみ焼却施設基礎	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、基礎材の種類、基礎材の規格	式 or 基	1	
			ごみ焼却施設設置	ごみ焼却施設種類	式 or 基	1	
			ごみ焼却施設設備	―	式	1	
		ごみ施設工	くず入れ	―	基	1	
			吸殻入れ	―	基	1	
			ごみ置場	―	箇所	1	
		井戸工	さく井	工法 削孔深 削孔径 ｹｰｼﾝｸﾞ種類 ｹｰｼﾝｸﾞ径	式	1	
			手押ポンプ	種類、規格	基	1	
			井戸設備	―	式	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
施設整備	管理施設整備工	門扉工	門壁	―	基	1	
			門柱	―	基	1	
			門扉	門扉の規格、門扉の種類	箇所	1	
		柵工	フェンス	ﾌｪﾝｽの種類、ﾌｪﾝｽの規格	m	1	
			柵	柵の種類、柵の規格	m	1	
			手すり	手すりの規格	m	1	
			＊　転落　(横断)　防止柵	柵高、作業区分	m	1	
			＊　ガードレール	ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ規格(標準型･土中用)、ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ規格(標準型･Co 用)、ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ規格(耐雪型･土中用)、ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ規格(耐雪型･Co 用)、施工規模、曲線補正	m	1	
			＊　ガードケーブル	ｶﾞｰﾄﾞｹｰﾌﾞﾙ規格	m	1	
			＊　ガードパイプ	ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ規格、施工規模、曲線部補正の有無	m	1	
			＊　基礎ﾌﾞﾛｯｸ、鋼管基礎	基礎種別、寸法	基	1	
			＊　金網・支柱(立入防止柵)	支柱柵高、支柱間隔	m	1	
			＊　門扉	門扉種別	基	1	
		車止め工	車止め	車止めの規格	基	1	
			＊　車止めポスト	車止めﾎﾟｽﾄ径、車止めﾎﾟｽﾄ長さ	本	1	
			車椅子ゲート	規格	基	1	
		園名板工	園名板	園名板の規格	基	1	
		掲揚ポール工	掲揚ポール	掲揚ﾎﾟｰﾙの規格	基	1	
		反射鏡工	カーブミラー	種類、規格	基	1	
		＊　境界工	＊　境界杭	境界杭規格、施工区分	本	1	
			＊　境界鋲	境界鋲規格、施工規模	枚	1	
		管理施設修繕工	管理施設修繕	―	式	1	
	建築施設組立設置工	四阿工	四阿基礎	基礎材の種類、基礎材の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	式 or 基	1	
			四阿設置	―	式 or 基	1	
			四阿設備	―	式	1	
		パーゴラ工	パーゴラ基礎	基礎材の種類、砕石の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	式 or 基	1	
			パーゴラ設置	―	式 or 基	1	
			パーゴラ設備	―	式	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
施設整備	建築施設組立設置工	シェルター工	シェルター基礎	基礎材の種類、基礎材の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	式 or 基	1	
			シェルター設置	―	式 or 基	1	
			シェルター設備	―	式	1	
		キャビン（ロッジ）工	キャビン（ロッジ）基礎	基礎材の種類、基礎材の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	式 or 基	1	
			キャビン（ロッジ）設置	―	式 or 基	1	
			キャビン（ロッジ）設備	―	式	1	
		温室工	温室基礎	基礎材の種類、基礎材の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	式 or 基	1	
			温室設置	―	式 or 基	1	
			温室設備	―	式	1	
		観察施設工	観察施設基礎	基礎材の種類、基礎材の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	式 or 基	1	
			観察施設設置	―	式 or 基	1	
			観察施設設備	―	式	1	
		売店工	売店基礎	基礎材の種類、基礎材の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	式 or 基	1	
			売店設置	―	式 or 基	1	
			売店設備	―	式	1	
		荷物預り所工	荷物預り所基礎	基礎材の種類、基礎材の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	式 or 基	1	
			荷物預り所設置	―	式 or 基	1	
			荷物預り所設備	―	式	1	
		更衣室工	更衣室基礎	基礎材の種類、基礎材の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	式 or 基	1	
			更衣室設置	―	式 or 基	1	
			更衣室設備	―	式	1	
		便所工	便所基礎	基礎材の種類、基礎材の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	式 or 基	1	
			便所設置	―	式 or 基	1	
			便所設備	―	式	1	
		倉庫工	倉庫基礎	基礎材の種類、基礎材の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	式 or 基	1	
			倉庫設置	―	式 or 基	1	
			倉庫整備	―	式	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
施設整備	建築施設組立設置	自転車置場工	自転車置場基礎	基礎材の種類、基礎材の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	式 or 基	1	
			自転車置場設置	―	式 or 基	1	
			自転車置場設備	―	式	1	
		建築施設修繕工	建築施設修繕	―	式	1	
	施設仕上げ工	塗装仕上げ工	素地ごしらえ	素地ごしらえ面の種類	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			合成樹脂調合ペイント塗り	塗布面の種類	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			溶剤形ビニル系塗料塗り	塗布面の種類	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			オイルステインワニス塗り	―	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			木部防腐剤塗り	塗材の種類	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			塗装仕上げ	塗布面の種類、塗材の種類	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
		加工仕上げ	石材加工仕上げ	石の種類、加工の種類	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			コンクリート加工仕上げ	加工の種類	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
		左官仕上げ工	化粧目地切	目地の種類	m	10	ただし 1000m未満は 1m
			コンクリート仕上げ	仕上げの種類	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			モルタル仕上げ	仕上げの種類	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			人造石仕上げ	仕上げの種類	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			擬岩仕上げ	仕上げの種類	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			タイル下地モルタル塗り	ｾﾒﾝﾄの種類、下地面の種類	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
		タイル仕上げ工	タイル張仕上げ	ﾀｲﾙの種類	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
		石仕上げ工	石張仕上げ	石張の種類	㎡	10	ただし 1000 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　平石張	平石の種類、平石の規格、張り方	㎡	10	
	公園施設等撤去・移設工	公園施設撤去工	公園施設撤去	公園施設の種類、公園施設の規格	式 or 基	1	
		移設工	遊具移設	遊具の種類、遊具の規格	基	1	
			小工作物移設	小工作物の種類、小工作物の規格	基	1	
			景石移設	景石の種類、景石の規格	個	1	
		樹木伐採・抜根工	高木伐採	幹周(C)、作業条件、人力伐採･機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類･規格	本	1	
施設整備	公園施設等撤去・移設工		中低木伐採	樹高(H)、作業条件、人力伐採･機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	本	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
			高木抜根	幹周(C)、作業条件、人力抜根・機械抜根選択、機械の種類・規格	本	1	
			中低木抜根	樹高(H)、作業条件、人力抜根・機械抜根選択、機械の種類・規格	本	1	
			掘取り穴埋戻し	人力埋戻し・機械埋戻し選択、埋戻し土材料	m³	10	
			倒木処理	幹周(C)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	本	1	
		工事支障木対策工	枝降ろし	常落針葉樹の区分、幹周(C)、作業難易度、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格	本	1	
			支障枝剪定	常落針葉樹の区分、幹周(C)、枝透かし量、作業難易度、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格	本	1	
			中低木移植	樹木の規格、支柱の規格	本	1	
			樹木運搬	樹木の規格、運搬距離	本	1	
			中木刈込	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	本	1	
			低木刈込Ａ	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	本	1	
			低木刈込Ｂ	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	m²	10	
		発生材再利用工	木チップ加工	―	m³	1	ただし 10 m³未満は 0.1 m³
ｸﾗｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄ整備	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄ舗装工	＊　舗装準備工	＊　不陸整正	補足材の有無、補足材種類・規格、補足材整正厚	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
		グラウンド・コート用舗装工	＊　下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
			＊　下層路盤(歩道部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
			＊　上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
			＊　上層路盤(歩道部)	路盤材種類、路盤材規格、仕上り厚	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
			中層	路盤材料の種類、仕上り厚	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
			＊　基層(車道・路肩部)	材料種類、材料規格、舗装厚、平均幅員	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
			＊　基層(歩道部)	材料種類、材料規格、舗装厚、平均幅員	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²
ｸﾗｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄ整備	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄ舗装工		クレー舗装	路盤材の種類、ｸﾚｰ舗装の種類、仕上り厚	m²	10	ただし 1000 m²未満は 1 m²

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
			アンツーカー舗装	路盤材の種類、ｱﾝﾂｰｶｰ舗装の種類、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			天然芝舗装	天然芝の規格、天然芝の種類、仕上り厚、路盤材の種類	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			人工芝舗装	路盤材の種類、人工芝の規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			全天候型舗装（樹脂系）	路盤材種類、全天候型舗装(樹脂系)の種類、全天候型舗装(樹脂系)の規格、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			全天候型舗装（アスファルト系）	全天候型舗装(ｱｽﾌｧﾙﾄ系)の種類、全天候型舗装(ｱｽﾌｧﾙﾄ系)の規格、路盤材の種類、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
			グラウンド・コート砂舗装	砂の種類、砂の規格、路盤材の種類、仕上り厚	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
		グラウンド・コート用舗装工	グラウンド・コートダスト舗装	仕上り厚、表層安定剤の種類、路盤材の種類	㎡	10	ただし1000㎡未満は1㎡
		グラウンド・コート縁石工	コンクリート縁石	ﾌﾞﾛｯｸ規格	m	1	
			舗装止め	ﾌﾞﾛｯｸ規格	m	1	
			見切材（仕切材）	見切材(仕切材)の規格、見切材(仕切材)の種類	m	1	
			内圏縁石	内圏縁石の規格	m	1	
	スタンド整備工	スタンド擁壁工	スタンド擁壁	ｽﾀﾝﾄﾞ擁壁規格	m	1	
		ベンチ工	スタンドベンチ	ﾍﾞﾝﾁの種類、ﾍﾞﾝﾁの規格	m	1	
			現場打ベンチ	ﾍﾞﾝﾁ規格	m	1	
		スタンド施設修繕工	スタンド施設修繕	―	式	1	
	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄ施設整備工	ダッグアウト工	ダッグアウト基礎	基礎材の種類、砕石の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	式 or 基	1	
			ダッグアウト設置	―	式 or 基	1	
			ダッグアウト設備	―	式	1	
		スコアボード工	スコアボード基礎	基礎材の種類、基礎材の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	式 or 基	1	
			スコアボード設置	―	式 or 基	1	
			スコアボード設備	―	式	1	
ｸﾗｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄ整備	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄ施設整備工	バックネット工	バックネット基礎	基礎材の種類、基礎材の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄの規格	式 or 基	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
			バックネット設置	ﾊﾞｯｸﾈｯﾄの規格	式 or 基	1	
		競技施設工	ファールポール	ﾌｧｰﾙﾎﾟｰﾙの規格	基	1	
			ポスト	ﾎﾟｽﾄの規格、ﾎﾟｽﾄの種類	基	1	
			ゴールポスト	ｺﾞｰﾙﾎﾟｽﾄの規格	基	1	
			支柱台	支柱台の種類、支柱台の規格	基	1	
			スポーツサークル	ｽﾎﾟｰﾂｻｰｸﾙの種類、ｽﾎﾟｰﾂｻｰｸﾙの規格	箇所	1	
			跳躍箱	―	箇所	1	
			踏切板	踏切板の種類、踏切板の規格	箇所	1	
			競技用砂場	―	箇所	1	
			ｾﾝﾀｰｶﾞｲﾄﾞ	規格	箇所	1	
			ピッチャープレート	―	箇所	1	
			ホームベース	規格	箇所	1	
			塁ベース	規格	箇所	1	
			塁ベース基礎	砕石の規格、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	箇所	1	
		ｽﾎﾟｰﾂﾎﾟｲﾝﾄ工	ラインマーク	ﾗｲﾝﾏｰｸの種類、ﾗｲﾝﾏｰｸの規格	m	1	
			ポイント杭	ﾎﾟｲﾝﾄ杭の種類	箇所	1	
			角石	規格	箇所	1	
			標示タイル	規格	枚	1	
		審判台工	審判台	審判台の種類	基	1	
		掲揚ポール工	掲揚ポール	掲揚ﾎﾟｰﾙの規格	基	1	
		衝撃吸収材工	衝撃吸収材	衝撃吸収材の種類、衝撃吸収材の規格	㎡	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
		グラウンド・コート柵工	高尺ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ	高尺ﾈｯﾄﾌｪﾝｽの種類、高尺ﾈｯﾄﾌｪﾝｽの規格	m	1	
			フェンス	ﾌｪﾝｽの種類、ﾌｪﾝｽの規格	m	1	
			防球ネット	防球ﾈｯﾄの種類、防球ﾈｯﾄの規格	m	1	
		ｸﾞｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄ施設修繕工	グラウンド・コート施設修繕	―	式	1	
	公園施設等撤去・移設工	公園施設撤去工	公園施設撤去	公園施設の種類、公園施設の規格	式 or 基	1	
		移設工	遊具移設	遊具の種類、遊具の規格	基	1	
			小工作物移設	小工作物の種類、小工作物の規格	基	1	
			景石移設	景石の種類、景石の規格	個	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
ｸﾗｳﾝﾄﾞ・ｺｰﾄ整備	公園施設等撤去・移設工	樹木伐採・抜根工	高木伐採	幹周(C)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格	本	1	
			中低木伐採	樹高(H)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	本	1	
			高木抜根	幹周(C)、作業条件、人力抜根・機械抜根選択、機械の種類・規格	本	1	
			中低木抜根	樹高(H)、作業条件、人力抜根・機械抜根選択、機械の種類・規格	本	1	
			掘取り穴埋戻し	人力埋戻し・機械埋戻し選択、埋戻し土材料	m^3	10	
			倒木処理	幹周(C)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	本	1	
		工事支障木対策工	枝降ろし	常落針葉樹の区分、幹周(C)、作業難易度、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格	本	1	
			支障枝剪定	常落針葉樹の区分、幹周(C)、枝透かし量、作業難易度、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格	本	1	
			中低木移植	樹木の規格、支柱の規格	本	1	
			樹木運搬	樹木の規格、運搬距離	本	1	
			中木刈込	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	本	1	
			低木刈込Ａ	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	本	1	
			低木刈込Ｂ	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	m^2	10	
		発生材再利用工	木チップ加工	―	m^3	1	ただし 10 m^3未満は 0.1 m^3
自然育成	自然育成施設工	自然育成盛土工	蒔き出し	―	m^3	1	ただし 100 m^3未満は 0.1 m^3
		自然水路工	遮水・止水シート	遮水・止水ｼｰﾄの規格	m^2	1	ただし 100 m^2未満は 0.1 m^2
			たたき粘土	たたき粘土の種類	m^2	1	ただし 100 m^2未満は 0.1 m^2
			ごろた石積	石材の種類、石材の規格	m	1	
			崩れ積	崩れ積の高さ、石材の規格、石材の種類	m	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
自然育成	自然育成施設工		砂・礫敷	砂･礫の種類、砂･礫の規格	㎡	10	ただし 100 ㎡未満は 0.1 ㎡
		水田工	遮水・止水シート	遮水･止水ｼｰﾄの規格	㎡	1	ただし 100 ㎡未満は 0.1 ㎡
			たたき粘土	たたき粘土の種類	㎡	1	ただし 100 ㎡未満は 0.1 ㎡
			水田土壌盛土	土の種類	㎥	1	ただし 100 ㎥未満は 0.1 ㎥
			流入口	―	箇所	1	
			排出口	―	箇所	1	
			角落し	規格、寸法、材質	箇所	1	
			角落し受枠	規格、材質	m	1	
		ガレ山工	ガレ山	ｶﾞﾚ山の規格	箇所	1	
		粗朶山工	粗朶山	粗朶山の種類	箇所	1	
		カントリーヘッジ工	カントリーヘッジ	ｶﾝﾄﾘｰﾍｯｼﾞの種類	箇所	1	
		石積土堰堤工	石積土堰堤	石材の種類、石材の規格	箇所	1	
		しがらみ柵工	しがらみ柵	しがらみ柵の規格	m	1	
		自然育成型護岸工	＊　現場打天端ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	㎥	1	
			＊　目地板	目地板の種類、目地板厚さ	㎡	1	
			＊　シール材	―	m	1	
			＊　現場打小口止ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	㎥	1	
			＊　ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ小口止ﾌﾞﾛｯｸ	幅、高さ	m	1	
			＊　石積	石材種類	㎡	1	
			＊　石張	構造区分、石材種類	㎡	1	
			＊　胴込・裏込ｺﾝｸﾘｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	㎥	1	
			＊　裏込材	裏込材規格	㎥	1	
			＊　木杭	杭材質	本	1	
			雑割石張	雑割石張の高さ、石材の種類、石材の規格	㎡	1	
			＊　かごﾏｯﾄ(ｽﾛｰﾌﾟ型)	かご厚さ、かご本体材質、詰石種類、詰石規格	㎡	1	
			＊　かごﾏｯﾄ(多段積型)	かご本体材質、詰石種類、詰石規格	㎡	1	
			＊　ﾌﾞﾛｯｸﾏｯﾄ	法勾配	㎡	1	
			＊　杭柵	―	m	1	
			＊　連柴柵	―	m	1	
			＊　玉石柳枝	―	㎡	1	
			＊　種子散布	種子規格、肥料の有無、施工規模	㎡	10	
			公園張芝	芝種類、肥料の有無	㎡	1	
			公園筋芝	芝種類、肥料の有無	㎡	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
自然育成	自然育成施設工		公園市松芝	芝種類、肥料の有無	㎡	1	
			＊　覆土（流用、発生、採取、購入）	―	㎥	100	ただし 1000 ㎥未満は 10 ㎥
			＊　遮水シート張	―	㎡	1	
			＊　じゃかご、	径、詰石種類、詰石規格	m	1	
			＊　ふとんかご	幅、高さ、種別、規格、詰石種類、詰石規格	m	1	
		保護柵工	保護柵	保護柵の規格	m	1	
		解説板工	解説板	材質、種類、寸法	基	1	
		自然育成施設修繕工	自然育成施設修繕	―	式	1	
		＊　作業土工	基盤整備＊擁壁工＊作業土工参照				
		自然育成型護岸基礎工	＊　現場打基礎	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格、底幅、高さ	m	1	
			＊　護岸基礎ﾌﾞﾛｯｸ据付	ﾌﾞﾛｯｸ規格	m	1	
			＊　中詰コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	式 or ㎥	1	
			＊　中詰コンクリート殻	構造物区分、工法区分、施工規模	㎥	1	
			＊　一本土台	―	m	1	
			＊　片梯子土台	―	m	1	
			＊　梯子土台	―	m	1	
			＊　止杭一本土台	―	m	1	
			＊　詰杭	―	m	1	
		＊　沈床工	＊　粗朶沈床	―	㎡	1	
			＊　袋詰玉石	袋材規格、中詰材規格	袋	1	
			＊　吸出し防止材	材質、種類、厚さ	㎡	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
			＊　粗朶単床	―	㎡	1	
		＊　捨石工	＊　捨石	石材規格	㎥	1	
			＊　表面均し	―	㎡	10	
			＊　吸出し防止材	材質、種類、厚さ	㎡	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
		＊　かご工	＊　じゃかご	~~幅、高さ、~~径、詰石種類、詰石規格	m	1	
			＊　ふとんかご	幅,高さ,種別,規格,詰石種類,詰石規格	m	1	
			＊　植生かご	幅、高さ、止杭規格、植生種類	㎡	1	
			植生かごマット	幅、高さ、植生種類	㎡	1	
		＊　元付工	＊　元付	ｺﾝｸﾘｰﾄ規格	箇所	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
自然育成	自然育成植栽工	湿地移設工	湿地移設	―	㎡	1	
		水性植物植栽工	水性植物植栽	水性植物名、水性植物の規格	鉢	1	
		林地育成工	高木伐採	【幹周(C)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格】	本	1	
			竹類伐採	幹周(C)、植生密度、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	本	1	
			除伐・つる切り	―	㎡	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
			除伐	―	㎡	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
			つる切り	―	㎡	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
			高木抜根	幹周(C)、作業条件、人力抜根・機械抜根選択、機械の種類・規格	本	1	
			中低木抜根	樹高(H)、作業条件、人力抜根・機械抜根選択、機械の種類・規格	本	1	
			竹林伐採	地形条件区分、密度区分、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	㎡	10	
			竹林地下茎駆除	薬剤の種類	㎡	10	
			竹地下茎除去	―	m	1	
			掘取り穴埋戻し	人力埋戻し・機械埋戻し選択、埋戻し土材料	㎥	10	
			倒木処理	幹周(C)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	本	1	
			切り株保護	―	㎡	10	
			株立整理	―	㎡	10	
			下刈り	占有植生区分、地形条件区分、障害の有無、回数補正、飛散防止措置の有無	㎡	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
			落葉かき	―	㎡	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
			林床整理	―	㎡	10	ただし 100 ㎡未満は 1 ㎡
			落葉樹整姿剪定	幹周(C)、枝透かし量、作業難易度、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高	本	1	
			常緑樹整姿剪定	幹周(C)、枝透かし量、作業難易度、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高	本	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
自然育成	自然育成植栽工		針葉樹整姿剪定	常・落葉樹の区分、幹周(C)、枝透かし量、作業難易度、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高	本	1	
			枝降ろし	常落針葉樹の区分、幹周(C)、作業難易度、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類･規格	本	1	
	公園施設等撤去・移設工	公園施設撤去工	公園施設撤去	公園施設の種類、公園施設の規格	式 or 基	1	
		移設工	遊具移設	遊具の種類、遊具の規格	基	1	
			小工作物移設	小工作物の種類、小工作物の規格	基	1	
			景石移設	景石の種類、景石の規格	個	1	
		樹木伐採・抜根工	高木伐採	幹周(C)、作業条件、人力伐採･機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類･規格	本	1	
			中低木伐採	樹高(H)、作業条件、人力伐採･機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	本	1	
			高木抜根	幹周(C)、作業条件、人力抜根・機械抜根選択、機械の種類・規格	本	1	
			中低木抜根	樹高(H)、作業条件、人力抜根・機械抜根選択、機械の種類・規格	本	1	
			掘取り穴埋戻し	人力埋戻し･機械埋戻し選択、埋戻し土材料	m^3	100	
			倒木処理	幹周(C)、作業条件、人力伐採・機械伐採選択、ﾁｪｰﾝｿｰの規格	本	1	
		工事支障木対策工	枝降ろし	常落針葉樹の区分、幹周(C)、作業難易度、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類･規格	本	1	

区分	工種	種別	細別	規格	単位	数位	備　　考
自然育成	公園施設等撤去・移設工		支障枝剪定	常落針葉樹の区分、幹周(C)、枝透かし量、作業難易度、ﾁｪｰﾝｿｰの規格、ﾛｰﾌﾟﾜｰｸの有無、高所作業車使用の有無、高所作業車の作業床高、ｸﾚｰﾝ使用の有無、ｸﾚｰﾝの種類・規格	本	1	
			中低木移植	樹木の規格、支柱の規格	本	1	
			樹木運搬	樹木の規格、運搬距離	本	1	
			中木刈込	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	本	1	
			低木刈込Ａ	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	本	1	
			低木刈込Ｂ	樹高(H)、刈込み量、作業難易度	m^2	10	
		発生材再利用工	木チップ加工	―	m^3	1	ただし 10 m^3未満は 0.1 m^3